芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(国語)科目：(国語総合)　単位：4単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：精選国語総合（東京書籍）

使用教材：新国語総合ガイド（京都書房）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「国語総合」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	水の東西	・評論の文章の構成や展開を学び、筆者の主張を捉えることができる。 ・対比構造を理解し、東と西の「水」に対する考え方の違いを理解できる。 ・文章中のキーワードに自ら注意を払うことができる。 ・接続詞や指示語を意識して読むことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
	古文の基礎 児のそら寝	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。 ・説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。 ・当時の時代背景などを学びながら、古文の世界を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
5月	水の東西 （３週目中間考査） 羅生門 （４週目）	水の東西 ・評論の文章の構成や展開を学び、筆者の主張を捉えることができる。 ・対比構造を理解し、東と西の「水」に対する考え方の違いを理解できる。 ・文章中のキーワードに自ら注意を払うことができる。 ・接続詞や指示語を意識して読むことができる。 ・定期考査による達成度の確認をする。 羅生門 ・優れた心理描写や表現を的確に読み取り、作品の主題について考えることができる。 ・小説の題材と場面を把握して登場人物の心情を理解し、主題を考え、作品を読み味わうことができる。 ・時間を表す描写や風景描写を通して、登場人物の心情を推察することができる。 ・比喩表現を知り、文章中の比喩表現を指摘することができる。 ・芥川龍之介の文学史について理解している。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
	児のそら寝	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。 ・説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。 ・当時の時代背景などを学びながら、古文の世界を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
6月	羅生門	・優れた心理描写や表現を的確に読み取り、作品の主題について考えることができる。 ・小説の題材と場面を把握して登場人物の心情を理解し、主題を考え、作品を読み味わうことができる。 ・時間を表す描写や風景描写を通して、登場人物の心情を推察することができる。 ・比喩表現を知り、文章中の比喩表現を指摘することができる。 ・芥川龍之介の文学史について理解している。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
	竹取物語（天の羽衣）	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の物語文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
7月	羅生門 （１週目　期末考査）	・優れた心理描写や表現を的確に読み取り、作品の主題について考えることができる。 ・小説の題材と場面を把握して登場人物の心情を理解し、主題を考え、作品を読み味わうことができる。 ・時間を表す描写や風景描写を通して、登場人物の心情を推察することができる。 ・比喩表現を知り、文章中の比喩表現を指摘することができる。 ・芥川龍之介の文学史について理解している。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4
	竹取物語（天の羽衣）	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の物語文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4
9月	広告の形而上学	・考察から導かれる筆者の主張を正確に把握し、商業高校に通う生徒として、広告の意味について考えられる。 ・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容を捉えることができる。 ・特に現代における広告のあり方について考えることができる。 ・教材の主題を読み取り、自己の意見を文章にする能力を養うことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
	芥川	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の歌文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。 ・在原業平という人物についての文学史を学び、物語を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
10月	広告の形而上学 （２週目　中間考査） 沖縄の手記から （３週目）	広告の形而上学 ・考察から導かれる筆者の主張を正確に把握し、商業高校に通う生徒として、広告の意味について考えられる。 ・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容を捉えることができる。 ・特に現代における広告のあり方について考えることができる。 ・教材の主題を読み取り、自己の意見を文章にする能力を養うことができる。 沖縄の手記から ・小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを，表現に即して読み取る。 ・生と死や極限状態における人間の姿について書かれた小説を読み，考えを深める。 ・沖縄に起こった悲劇を学び、改めて戦争や日本の現在の体制について、論を交わすことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
	芥川	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の歌文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。 ・在原業平という人物についての文学史を学び、物語を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
11月	沖縄の手記から	・小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを，表現に即して読み取る。 ・生と死や極限状態における人間の姿について書かれた小説を読み，考えを深める。 ・沖縄に起こった悲劇を学び、改めて戦争や日本の現在の体制について、論を交わすことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
	東下り	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の歌文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。 ・在原業平という人物についての文学史を学び、物語を味わう。 ・和歌の表現技法を学び、歌を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	8
12月	沖縄の手記から	・小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを，表現に即して読み取る。 ・生と死や極限状態における人間の姿について書かれた小説を読み，考えを深める。 ・沖縄に起こった悲劇を学び、改めて戦争や日本の現在の体制について、論を交わすことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4
	東下り	・古文に描かれた内容を，叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・想像力をはたらかせながら，物語の世界を読み味わうことができる。 ・日本最古の歌文学であるから、文学史上の意義や、表現の巧みさを学ぶ。 ・在原業平という人物についての文学史を学び、物語を味わう。 ・和歌の表現技法を学び、歌を味わう。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4
1月	手を見つめる	・文章の構成や展開を確かめて評論を読み，ものの見方，考え方を豊かにする。 ・身体についての問題点を論じた文章を読み，自分の考えを深めることができる。 ・論文の内容を自身にとって身近なものに例えながら、難しい文章を読解することができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
	訓読の基本	・訓読のきまりを理解し，文章の内容を的確に読み取る。 ・格言や故事成語を読んで，漢文の世界に親しむ。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
2月	手を見つめる	・文章の構成や展開を確かめて評論を読み，ものの見方，考え方を豊かにする。 ・身体についての問題点を論じた文章を読み，自分の考えを深めることができる。 ・論文の内容を自身にとって身近なものに例えながら、難しい文章を読解することができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
	漁夫之利	・話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。 ・登場人物の言動から、寓話にこめられた意図について考える。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	6
3月	珊瑚	・作者のものの見方や感じ方，表現の仕方の特色に注意しながら随筆を読むことができる。 ・推測のおもしろさや時間の過ごし方について書かれた文章を読み，視野を広げる。 ・身近な物事から題材を選んで，随筆または作文を書くことができる。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4
	漁夫之利	・話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解することができる。 ・登場人物の言動から、寓話にこめられた意図について考える。	観察（発言・発表） ノート 感想 定期考査	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(国語)科目：(現代文B) 単位数：2単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：精選現代文　大修館書店

使用教材：新国語要覧　大修館書店

	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代文Ｂ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月 ５月	随筆・評論 「可能無限」 「ミロのヴィーナス」	比較的平易な随筆の主題を捉える力を高める。 主題を自分の問題として受け止め、考えをまとめる。 対比・逆説・比喩などの表現技法を理解し、筆者の美についての発想をとらえる。 表現上の工夫を生かし、自分の発想をまとめ、考えを深める。 難解な語句を辞書等を使って自学する能力を高める。	観察（発言・発表） ノート　感想文 定期考査	10
５月 ６月	小説 「山月記」 「待つ」	中島敦・太宰治の文学史的立場について知識を身に付ける。 漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容を捉え、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。特に、本教材の主題に基づいて、自己の「自尊心」について考える。 登場人物の複雑な心境を読み取り、作者が何を訴えようとしたのかを考える。	観察（発言・発表） ノート　感想文 定期考査	12
７月	短歌 「十三首」	短歌独得の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身に付ける。 歌人個々の特色明らかにする。 修学旅行の事前学習として、松山出身の正岡子規の作品を鑑賞する。また、子規の文学史的立場についての知識を身に付ける。	観察（発言・発表） ノート　レポート	4
９月	評論 「家族化するペット」	ペットをめぐる状況から導かれる現代社会の様相について把握し、問題点や社会の変化について自分の考えをまとめる。 評論文を構成に沿って読解し、自己の意見をまとめる力を養う。	観察（発言・発表） ノート　意見文 定期考査	4
９月 １０月	小説 「坊っちゃん」	夏目漱石について、文学史的知識を身に付ける。 登場人物について性格や考え方を読み取り、作品のおもしろさを味わう。 作者の実際の人生と作品とを比較し、創作の意図を理解する。 作品の舞台となる愛媛県松山市について文化、風土などの知識を身に付ける。	観察（発言・発表） ノート　レポート 定期考査	8
１０月 １１月	小説 「こころ」	「坊っちゃん」との作風の違い読み取り、夏目漱石の人となりを理解する。 描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう力を高める。	観察（発言・発表） ノート　感想文 定期考査	12
１２月	詩 「樹下の二人」他	詩歌を音読することで、その独特のリズムを味わう。 詩歌における技法表現の特色などを理解する。 作者の思想、感情を理解する。 近代文学史における詩の流れの知識を身に付ける。	観察（発言・発表） ノート　感想文	4
１月 ２月	評論 「分かち合う社会」 「科学の現在を問う」	考察から導かれる筆者の主張を正確に把握し、人間社会の普遍性について考えるとともに、科学的に物事をとらえることの大切さやおもしろさを味わう能力を養う。 文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に現代における科学のあり方について考える。 教材の主題を読み取り、自己の意見を文章にする能力を養う。	観察（発言・発表） ノート　感想文 定期考査	8
２月 ３月	小説 「巨人の接待」	登場人物の行動や情感を読み取り、言語や文化、平和、戦争といったテーマについて筆者が何を書こうとしたのかを考える。 小説の主題や寓意を読み取り、優れた人間批評のあり方や、小説が成立する背景について考える力を高める。	観察（発言・発表） ノート　感想文 定期考査	8

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(国語)科目：(古典B)　単位：1単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：（教育出版）

使用教材：
新国語総合ガイド（京都書房）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「古典Ｂ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
四月	不思議な話 説話『古今著聞集』 橘成季 「北叟が馬」	・登場人物の言動を通して、古典の世界に生きる人のものの見方、考え方をおさえる。 ・重要古語の意味を理解し、文意を把握する。 ・話の展開を正確に把握する。 ・動詞の活用について、読解と関連させながら暗記すべきことを確認する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	4
五月 六月	感性のはばたき 随筆『方丈記』 鴨長明 「行く川の流れ」	・『方丈記』を読み、人間・社会・自然などについて、現代日本の状況と関連させながら考察することで、人間の生き方や、無常感に関する理解を深める。 ・平安から鎌倉への大きな時代の変わり目と末法の世との関連をおさえさせる。 ・比喩表現、対句表現、倒置法などさまざまな修辞法の理解を深める。 ・形容詞と形容動詞について、読解と関連させながら暗記すべきことを確認する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	4
七月	文法の復習 試験解説	・用言の活用について、読解と関連させながら暗記すべきことを確認する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	1
九月	感性のはばたき 随筆『枕草子』 清少納言 「かたはらいたきもの」	・『方丈記』と読み比べ、作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。 ・清少納言に関する基礎知識を理解する。 ・重要語句の意味や重要文法事項について理解する。 ・「かたはらいたし」がどのような気持ちをこめて用いる語であるか考える。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	4
十月	人を思う時 物語 『伊勢物語』 「身を知る雨」	・話の展開を正確に読み取るとともに、物語の中に登場する和歌に託された心情を考えることで、物語作品を鑑賞する力と態度を養う。 ・重要語や助動詞に留意して、矛盾のない読解ができるようにする。 ・当時の貴族階級にとっては、和歌が日常に必須のコミュニケーションの手段であったことを理解する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	3
十一月	戦いをめぐる人間像 『平家物語』 先帝入水	・『平家物語』を読み、登場人物の行動とその背後にある心情を読み取り、武士の生き方について考える。 ・音便などの表現の特色を理解して音読し、それを正確な解釈に結び付けることができる。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	3
十二月	文法の復習 試験解説	・助動詞について、読解と関連させながら、暗記すべきことを確認する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	1
1月	機知と笑い 此必苦李『世説新語』	・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 ・文章にこめられた機知を読み取り、漢文への興味・関心を深める。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	3
1月 2月	買履忘度『韓非子』	・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 ・文章に見られる機知やおかしみなどを理解している。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	3
2月 3月	畏饅頭『五雑組』	・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 ・「落ち」がどのように読むものを笑わせ、終わりを結んでいるのかをとらえている。 ・「すははチ」の使い分けについて理解する。	◎定期考査・授業時の質疑応答・提出物から評価	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(国語)科目：(現代文)　単位数：2単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：（第一学習社　出版）

使用教材：新国語総合ガイド（京都書房）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代文」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	評論 「誘惑する情報」 西垣通	・論理的な文章を読む、基礎的な技術に習熟させる。 ・文書の論理展開を的確に把握させ、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解させる。 ・「情報」という現代的な内容に関して、自分なりの意見を主張できるようにする。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	4
5月	評論 「テクノロジーとの付き合い方」 池内了	・筆者の問題提起を自分の問題と受け止め、主体的に読解に取り組ませる。 ・段落構成に対する意識を持ち、本文全体の論理展開を確認させる。 ・具体例を用いた文章構造や、表現の細部に注目することから、筆者の主張に迫ることができるようにさせる。 ・筆者の結論を受け、自分自身の生活をより大きな視野から考えさせる	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	8
6月	小説 「棒」 阿部公房	・虚構性の強い小説を対象に文学的文章を読解するための基本的な技術を確認すると共に、近代小説の作品世界を味わうための想像力と読解力を養う。 ・文学的な文章の性格や特徴を把握し、小説への興味や関心を深めさせる。 ・安部公房について、文学的位置づけや、生い立ちを理解する。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	8
7月	詩 「冬の日」ほか	・詩を音読させ、リズムや語感などの効果をつかませる。 ・詩独特の言い回し、詩形、イメージの連鎖などをつかませる。 ・比喩の構造や視点、展開方法を考察し、詩の豊かさを学ばせる。 ・詩から受け取れる人間観を自分たちなりに考える。 ・文学史上の位置づけや、時代状況、文化的背景を学び取る。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	6
9月	評論 「身体の個別性」 浜田寿美男	・文章全体の論理構成を把握し、筆者の主張を理解させる。 ・「自己中心性」をめぐって、筆者はピアジェの論のどこまでに依拠し、何を批判しているのかを確認させる。 ・具体例によって示される事柄が、どのような抽象概念を説明しているのかを把握させる。 ・「身体」という概念を理解させる。 ・筆者の主張する「本源的自己中心性」という概念を理解させた上で、「本源的自己中心性」が人間関係においてさまざまな弊害をもたらしてしまうことを考察させる。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	6
10月	小説 「舞姫」 森鴎外	・古典的名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学ばせる。 ・明治文語文の文体に慣れさせる。 ・語句の意味を正確にとらえ、美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがかせる。 ・明治の日本の中で生きる主人公を考え、国家と個人の関係、公と私の問題を考えさせる。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	6
	評論 「定型があってこそ面白い」 高野公彦	・評論文の特色を理解させ、文章全体の展開を正しく読み取る方法を学ばせる。 ・評論分の要旨を叙述に即して的確に把握し、筆者の考え方の特色を理解させる。 ・論理構成を正確に把握させる。 ・短歌の定型表現のメリットを理解させる。 ・短歌の提携の予定調和を崩すさまざまな手法と、それを用いる意図を理解させる。		
11月	↓ 評論 「定型があってこそ面白い」 高野公彦	同上	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	8
12月	小説 「枯野抄」 芥川龍之介	・小説の舞台設定や場面設定、人物描写や心理描写、語り手の特色や引用の効果などの表現上の効果を理解する。 ・門弟たちの心理描写から、語り手の役割など、心理や出来事に対する作品なりの解釈を読解する力を養う。 ・小説における「枯野」とは、「夢」とはを考えさせる。そのことから人生や芸術や生死や人間関係といった自己の問題と即して考えさせる。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	4
1月	↓ 小説 「枯野抄」 芥川龍之介	同上	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	3
	評論 「動物の深淵、人間の孤独」 西村清和	・概念的な表現の意味や、難解な語句を正確に把握させ、語彙力、読解力の幅を広げる。 ・抽象度の高い表現を、具体的な事柄から自身の体験と結びつけて理解すると共に、前後の文脈から正確に把握できる力を養う。 ・筆者の考える「動物園の快楽」、『企ての視線」について把握し、動物園の存在意義について考察させる。		4
2月	↓ 評論 「動物の深淵、人間の孤独」 西村清和	同上	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	10
3月	「パスポート国語必携」	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解させ、語彙を豊かにさせる。	定期考査 小テスト、提出物 授業に臨む姿勢、質疑応答	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(国語)科目：(古典)　単位：2単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：標準古典（第一学習社）

使用教材：新国語総合ガイド（京都書房）、重要古文単語３１５（桐原書店）、新修古典文法（京都書房）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「古典」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月 ５月	物語（一） ・大鏡	・老翁の昔語りという独特のスタイルをふまえて、全体が会話文の枠の中にある文章表現の特色を理解する。 ・男性作者が男性の口を通して語っていることから、登場人物たちの行動やそれを支える論理・判断の基準などに、どのような男性的視点があるかを考える。 ・歴史と人間の関わりについて、大鏡の作者がどのような認識を持っていたかについて考える。 ・大鏡は、必ずしも忠実そのままではない説話的要素もあり、史実と虚構の巧妙な調和の上に成り立っていることを理解する。	（定期考査、ノート、 発言）	11
５月 ６月 ７月	日記 ・紫式部日記 ・蜻蛉日記	・これまでの日記文学で学習した作品との類似性・相違点をふまえ、文学的な流れの中でそれぞれの作品をとらえる。 ・『紫式部日記』では、中宮彰子に仕える宮廷女房としての作者の立場を理解し、その憂愁と自負心を読み取る。 ・『蜻蛉日記』では、夫兼家との夫婦生活に苦悩する作者の心情を味わい、歌にこめられた思いを読み取る。 ・それぞれの作品の特徴をおさえ、作者の思いとその生きざまに思いを及ばせ、日記文学を鑑賞する醍醐味を味わう。	（定期考査、ノート、 発言）	17
９月 １０月	物語（二） ・源氏物語	・『源氏物語』の成立時代を把握し、長編物語の全体構成の輪郭を理解する。 ・光源氏の青年時代が、どのような女性たちとのかかわりの中で構成されているかをとらえる。 ・長編物語を構成する主人公とこれをめぐる諸人物たちの人間関係の諸相を理解する。	（定期考査、ノート、 発言）	16
１１月 １２月	歴史の群像 ・項羽と劉邦	・『史記』を読み、長い文章の漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解する。 ・『史記』の歴史書としての特質を理解し、思考力・判断力を伸ばすとともに、中国の歴史書について基礎的な知識を修得する。 ・治乱興亡の世に処する人々の姿に触れ、古代の人々のものの見方・考え方を理解する。 ・中国古代の社会状況や政治思想を知り、自己の歴史観や人生観を養う。 ・古代の人々の心情に触れ、優れた文学的表現の妙味を味わう。	（定期考査、ノート、 発言）	15
１・２・３月	評論 ・無名草子	・評論を読むことで、古典文学を創り育てた人々の、古典に寄せる真摯な思いを理解し、芸術・文化を尊重する気持ちを養う。 ・それぞれの時代の様々な分野の評論を読むことで、話題にされている文学のジャンルを越えた共通点と相違点、また、時代を越えた共通点と相違点について考えさせる。 ・ここに示された古人のものの見方、感じ方を参考に、これまで学習した古典作品を味わい直す契機とする。 ・独特な用語・文体に接し、古典の多様な表現に習熟させる。	（定期考査、ノート、 発言）	11

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(地理歴史)科目：(地理A)2単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：新編地理Ａ（二宮書店）、新詳高等学校地図（帝国書院）

使用教材：新編地理Ａワークブック（二宮書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「地理Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第Ⅰ編　現代世界の特色 第１章地球儀や地図からとらえる現代世界	〔国家間の結び付き〕		
	１－１観光による結びつき １－２地域間の結びつき	・交通・通信や観光について、様々な交通手段や通信手段の特性を知るとともに、世界の観光の動向について知る。 ・国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やＥＵ、ＡＳＥＡＮ、ＯＰＥＣ、ＷＴＯなど主要な組織とその役割を知る	知・関・思 ワークブック	1
	１－４地球儀と地図	〔位置、方位、時差〕 ・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。	知・技・思 ワークブック プリント	2
		・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。	知・技・思 ワークブック プリント	2
5月		〔地球儀、世界地図〕 ・地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことと、そのため用途に応じて様々な図法の地図が作成されていることを知る	知・技・思 ワークブック プリント	2
		〔日本の位置と領域〕 ・地球儀や世界地図などを活用して、日本の位置をとらえることができる。	知・技・思 ワークブック プリント	2
	中間考査		知・技・思	1
	第２章世界の生活･文化 ２－１人々を取りまく地形	〔自然環境と人間生活〕 世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知る。	知・技・思 ワークブック プリント	2
6月		環太平洋造山帯やアルプス=ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。	知・技・思 ワークブック プリント	1
		・小地形の代表例である扇状地や氾濫原、三角州について、その特徴と人間生活とのかかわりを知る。	知・技・思 ワークブック プリント	2
	２－２人々を取りまく気候	・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯（冷帯）、寒帯の分布を知る。	知・技・思 ワークブック プリント	1
		熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯（冷帯）、寒帯の分布を知る。	知・技・思 ワークブック プリント	3
7月	期末考査		知・技・思	1
	３－１生活と産業	〔世界の諸地域の生活･文化と多様性〕 ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活･文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	知・技・思 ワークブック	2
	３－２生活と文化	〔宗教、民族と人間生活〕 ・三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。	知・技・思 ワークブック	2
9月	４－１世界各地の生活・文化			1
	事例１．東・南･東南アジア	自然環境の特色、各地域の宗教と言語、社会と産業の特色の学習を通じて、文化の多様性、環境と生活・産業の関わり、経済発展の要因を理解させる。また、日本との文化的・経済的なかかわりを考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	3
	事例２．西・中央アジア	イスラム教、乾燥気候、石油資源の開発、民族と文化についての学習を通じて、宗教や自然環境、資源開発と人々の暮らしとの関連を理解させる。パレスチナ紛争の学習を通じて国際問題を考察する力を養う。	知・技・思 ワークブック プリント	2
10月	事例４．ヨーロッパ ①ヨーロッパ	自然環境、生活と文化、言語と宗教、ＥＵ・ロシアと経済の特色についての学習を通じて、この地域が文化的統一性をもちながらも各地の環境に根ざした多様な生活・文化を有することを理解させる。ＥＵ統合による各地域の変化を捉えさせ、問題点を考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	4
	事例４．ヨーロッパ ②ロシア	自然環境、生活と文化、言語と宗教、ＥＵ・ロシアと経済の特色についての学習を通じて、この地域が文化的統一性をもちながらも各地の環境に根ざした多様な生活・文化を有することを理解させる。ＥＵ統合による各地域の変化を捉えさせ、問題点を考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	2
	中間考査		知・技・思	1
	事例５．アングロ･ラテンアメリカ　１． アングロアメリカ ①カナダ	南北アメリカの歴史・自然環境・生活・文化・産業の学習を通じて、自然環境や資源、植民地としての歴史などが多様な文化・産業のありように結びつき、地域性をつくりだしていることを理解させる。日本の生活・文化との共通点・異質点を考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	2
11月	事例５．アングロ･ラテンアメリカ　１． アングロアメリカ ②アメリカ合衆国	南北アメリカの歴史・自然環境・生活・文化・産業の学習を通じて、自然環境や資源、植民地としての歴史などが多様な文化・産業のありように結びつき、地域性をつくりだしていることを理解させる。日本の生活・文化との共通点・異質点を考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	5
	事例５．アングロ･ラテンアメリカ　２． ラテンアメリカ	南北アメリカの歴史・自然環境・生活・文化・産業の学習を通じて、自然環境や資源、植民地としての歴史などが多様な文化・産業のありように結びつき、地域性をつくりだしていることを理解させる。日本の生活・文化との共通点・異質点を考察させる。	知・技・思 ワークブック	3
12月	期末考査		知・技・思	1
	事例６．オセアニア １．ニュージーランド	ニュージーランドとオーストラリアの生活・文化の学習を通じて，自然環境と生活との関連を理解させる。同じ海に囲まれた国である日本との違いを考察させる。	知・技・思 ワークブック	2
	事例６．オセアニア ２．オーストラリア	ニュージーランドとオーストラリアの生活・文化の学習を通じて，自然環境と生活との関連を理解させる。同じ海に囲まれた国である日本との違いを考察させる。	知・技・思 ワークブック プリント	3
1月	第３章　地球的課題の地理的考察	〔地球的課題と解決に向けた取組〕 ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。	知・技・思 ワークブック	1
	３－１資源･エネルギー問題	酸性雨・オゾン層破壊・地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化についての学習により、これらが人類が地球的視野で取り組むべき問題であることを理解させる。また、課題には地域性があることに気づかせる。	知・技・思 ワークブック	1
	３－２環境問題	資源・エネルギーの利用・消費・確保と課題についての学習を通じ、資源の偏在性、有限性、消費における地域格差を理解させ、持続可能な開発と国際協力の必要性、日本の課題について考察させる。	知・技・思 ワークブック	1
		・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。　・地球的諸課題の解決には各国の取組や国際協力が必要であることを知る。	知・技・思 ワークブック	1
2月	第Ⅱ編　生活圏の課題			1
	第１章地図は生活必需品	〔身の回りにある地図の収集と地形図の読図〕 ・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を知る。	知・技・思 ワークブック	2
		・地形図は地表の様子を描くために等高線と地図記号を用いていることを知る。	知・技・思 ワークブック	2
	第２章　自然環境と防災	〔自然災害と防災〕 ・生活圏の自然環境と過去に発生した自然災害について知るとともに、今後想定される自然災害の危険予測についてハザードマップが用意されている	知・技・思 ワークブック	2
3月	学年末考査		知・技・思	1
	第３章　生活圏の諸課題と地域調査	〔課題解決のための地域調査〕 ・地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。	知・技・思 ワークブック	2
		・調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る	知・技・思 ワークブック	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(地理歴史)科目：(世界史A)　単位数：2単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：改訂版　高等学校　世界史A（第一学習社）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「世界史Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	世界史への旅立ち	・人類史の大まかな枠組みを把握し，世界史学習への意欲を高めるとともに，初期の文明についての知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	2
	第１章　諸地域世界 １節　東アジア世界	・東アジア世界の特質に対する関心を高め，農耕社会と遊牧社会の特質と，中国の皇帝政治について理解する。 ・東アジアの国際関係にみられた冊封体制について理解し，その知識を身に付ける。 ・漢字・儒教・仏教・道教などに関する様々な資料を活用して東アジア世界の特質を理解するとともに，日本の文化とも関連付けて多角的に考察する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2
	２節　南アジア世界	・南アジア世界の多様な地域性について関心を高め，南アジアの民族・言語・宗教に関する様々な資料を活用して，その歴史的背景を理解する。 ・各宗教が南アジア世界に及ぼした影響について，具体的な事例をもとにして考察する。 ・東南アジアにおける多様な社会・文化の形成について把握し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
5月	３節　イスラーム世界	・西アジアで古くから文明が栄えた背景に関心を高め，オリエント・イラン文明について，日本への影響を考察しながら，追究する。 ・ユダヤ教・キリスト教・イスラームに関する様々な資料を収集し，３つの宗教の相違点を理解する。 ・イスラーム世界拡大の背景について，多角的に考察し，また，イスラーム世界が東西の文明や経済の交流に果たした役割について把握する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	４節　ヨーロッパ世界	・ヨーロッパの南北，東西の地域性について関心を高め，現在のヨーロッパを鑑みながら，その特質を理解する。 ・ギリシア・ローマ文明がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握し，その知識を身に付ける。 ・キリスト教がヨーロッパ文明の基調となり今日まで受け継がれていることを，思想・文学・日常の慣行や儀礼などの具体的事例をもとに考察する。 ・封建社会の成立から王権の伸長までの西ヨーロッパ世界の変動を把握し，その知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
6月	第２章　ユーラシアの交流圏 １節　海域世界の成長とユーラシア	・ムスリム商人，中国商人の活躍についての資料を活用し，海のネットワークの概要と交流の具体的様相について意欲的に追究する。 ・海のネットワークの成長と近現代の「海の時代」との関係について把握し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	1
	２節　遊牧社会の膨張とユーラシア	・騎馬遊牧民とオアシス都市民の活動に関する資料を活用して，遊牧社会の膨張によるユーラシアの一体化について考察し，意欲的に追究する。 ・内陸アジアの遊牧社会・オアシス農耕社会の特色と両者の相互依存関係，モンゴルによるユーラシアの一体化について理解し，その知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	1
	３節　地中海海域とユーラシア	・イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入に関する資料を活用し，地中海海域の交流の様相について考察し，意欲的に追究する。 ・諸文明や物資の流入による経済成長と文化変容が西ヨーロッパに与えた影響について把握し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	1
	４節　東アジア海域とユーラシア	・元の東西交流と黄海や東シナ海における交易の活性化，琉球王国の交易活動に関する資料を活用して，東アジア海域の交流の様相について考察し，意欲的に追究する。 ・モンゴル帝国の興亡や明の政策と密接に関連しながら成長をとげた東アジア海域の交流圏について把握し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2
	第３章　一体化する世界 １節　大航海時代の世界	・ルネサンスと宗教改革の特質を把握し，その歴史的背景について考察する。 ・大航海時代のヨーロッパとアメリカ大陸との接触・交流に関する資料を活用し，アメリカ大陸の先住民社会の変貌について理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2
7月	２節　アジア諸帝国の政治と社会	・16世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域世界の社会や文化の特質について考察する。 ・アジア諸帝国の政治と社会に関する資料を活用し，16～18世紀のアジア諸帝国の特質，ヨーロッパとの関係について意欲的に追究する。 ・明・清帝国と朝鮮・日本との関係，ムガル帝国・サファヴィー朝・オスマン帝国の動向に関する資料を活用し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	３節　ヨーロッパ主権国家体制の成立	・16世紀から18世紀にかけてのヨーロッパ諸国の動向と国際関係の推移を把握し，その知識を身に付ける。 ・世界の一体化とそれに伴うアフリカ・アメリカの変容について関心を高め，多角的に考察する。 ・主権国家体制の成立と大西洋貿易の展開によるヨーロッパ社会の変容について理解し，その知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
9月	４節　アメリカとフランスの革命	・アメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立の背景と影響について関心を高め，意欲的に追究する。 ・アメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意義について考察し，関連する資料を活用して基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	５節　産業革命	・産業革命の背景とその影響について関心を高め，意欲的に追究する。 ・産業革命が果たした歴史的意義について，関連する資料を活用して考察し，基本的知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
10月	６節　19世紀の欧米世界	・ウィーン体制下での自由主義・ナショナリズムの運動について意欲的に追究し，その歴史的意義を考察する。 ・ナショナリズムの高まりがドイツ，イタリアでの国民国家形成の原動力となったことを理解し，国民国家形成までの過程を把握する。 ・ロシアの対外進出の背景を理解し，その動きがもたらした影響について多角的に考察する。 ・西部開拓と先住民・黒人への抑圧，移民の流入についての資料を活用し，アメリカの国民形成の独自性について理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	7
11月	７節　アジア諸国とヨーロッパの進出	・ヨーロッパを中心とするアジアでの国際分業体制の形成について，近代世界システム論の視点から追究し，19世紀の世界の一体化とその特質を考察する。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容，その中での日本の対応に関する資料を活用し，アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌について考察する。 ・日本の明治維新とその後の近代化の動きがアジア諸国に与えた影響について考察し，その知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	８節　帝国主義と世界の変容	・帝国主義列強の世界政策によって世界がどのように変容したか，意欲的に追究する。 ・帝国主義列強の植民地支配について，民族・国境など現在まで残る問題と関連付けて考察し，理解する。 ・帝国主義列強の植民地支配，それに対する反帝国主義植民地運動の高まりや近代化の動きについての資料を活用し，帝国主義列強の侵略にさらされたアジア・アフリカの変貌と諸民族の民族的覚醒について考察する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
12月	第４章　現代の世界と日本 １節　急変する人類社会	・19世紀末から20世紀初頭にかけての社会の急激な変化についての資料を活用し，現代の社会と関連付けながら考察する。 ・19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化を意欲的に追究し，現代社会の原型が成立したことを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	２節　第一次世界大戦と民族主義の展開	・第一次世界大戦の原因について，これまでに学習したことと関連付けて，意欲的に追究する。 ・第一次世界大戦についての資料を活用し，第一次世界大戦の性格と第一次世界大戦がもたらした世界の変化について考察し，理解する。 ・ロシア革命とソ連の成立について，政治的・経済的・思想的影響について考察する。 ・国際連盟やヴェルサイユ・ワシントン体制の理念と現実，アジア諸国の民族運動について理解し，国際社会の枠組みの変化について把握する。 ・第一次世界大戦後の世界の変化について，第二次世界大戦へとつながった問題点を含め，多角的に考察する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
1月	３節　ファシズムの台頭と第二次世界大戦	・世界恐慌からファシズムの台頭，第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら，意欲的に追究する。 ・世界恐慌の原因と影響，各国の恐慌対策，ファシズム台頭の背景と経過についての資料を活用し，第二次世界大戦の原因を考察する。 ・第二次世界大戦の性格と，その過程で生じた米ソ冷戦の芽や原爆使用の意味について理解し，その知識を身に付	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	7
2月	４節　米ソ冷戦とアジア・アフリカ	・米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する関心を高め，1970年頃までの世界の政治・経済の動向について考察する。 ・米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立についての資料を活用し，1970年頃までの世界の政治・経済の動向について理解する。 ・アジア・アフリカの民族独立運動，第三勢力の形勢とその国際的役割，アジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解し，その知識を身に付ける。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2
	５節　地球社会への歩みと日本	・1960年代後半から現在までの地球社会形成に向けての諸地域世界の情勢に関する資料を活用し，その知識を身に付ける。 ・東欧諸国の民主化とソ連の社会主義体制の崩壊について，その歴史的意味を多角的に考察する。 ・新聞やインターネットなどから国際社会の新しい動きや問題点についての情報を収集し，有用な情報を選択して活用する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
3月	６節　現代の課題	・デジタル=デバイド，貧困，人権侵害，環境問題など地球共通の課題について，主体的に追究し，認識を深める。 ・科学技術の発展について，利点と課題の両側面から追究し，認識を深める。 ・デジタル=デバイド，貧困，人権侵害，科学技術の発展と生命倫理，環境問題などに関する資料を収集・選択･活用するとともに，追究し考察した過程や結果をレポートにまとめたり，発表したりする。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(地理歴史)科目：(日本史A)　単位数：2単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：日本史Ａ（実教出版）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
四月	近代日本の形成と世界	明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	6
五月	近代日本の形成と世界	国際関係の推移と立憲国家の展開条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	8
六月	近代日本の形成と世界	近代産業の発展と近代文化国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	8
七月	両大戦間期の日本と世界	近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 政党政治の発展と大衆社会の形成政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	4
九月	両大戦間期の日本と世界	第一次世界大戦と日本の経済・社会国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	8
十月	両大戦間期の日本と世界	第二次世界大戦と日本国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	8
十一月	現代の世界と日本	現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。ア 現代日本の政治と国際社会占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	8
十二月	現代の世界と日本	経済の発展と国民生活の変化戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発展、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	6
一月	現代の世界と日本	歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	6
二月	現代の世界と日本	歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	6
三月	現代の世界と日本	歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	提出物（ノート提出、小テストなど）	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(公民)科目：(現代社会)　単位数：2単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：新現代社会（第一学習社）

使用教材：クローズアップ現代社会（第一学習社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代社会」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
四月	**青年期と自己の形成**　生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。	・青年期とは、社会とかかわり合う中で自己を形成し、心理的、社会的な自立を遂げていくなど、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。また、青年期の意義について、心理的離乳、第二の誕生、境界人、第二反抗期などの言葉を使って、説明できる。・青年期の課題として、自分らしい生き方・価値観を見付け、「自分とは何者であるか」を自覚するアイデンティティ（自我同一性）の確立があることを知る。また、自己実現につながる将来の職業生活について考察し、よりよく生きることの大切さを理解する。 ・青年期の自己形成を図る上で、社会とのかかわりが重要であることを知るとともに、社会参加が自己実現の可能性を高めることについて、具体的事例などを踏まえて理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	6
五月	**現代の民主政治と政治参加の意義** 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	・社会契約説の基本的な考え方を理解し、民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係の視点から考察する。 ・日本国憲法が保障する基本的人権には、自由権、社会権、平等権などがあり、さらに自由権の内容として、人身の自由、精神の自由、経済活動の自由があることを理解する。 ・国民主権が民主政治の根幹であることを知り、現在の我が国の選挙制度の仕組みについて理解する。 ・我が国における平和主義の考え方について、日本国憲法前文や第９条を踏まえて理解する。 ・日本国憲法の条文を踏まえて、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であることや天皇が行う国事行為について理解する。 ・日本の政治制度の基本的な仕組みについて理解するとともに、内閣が国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制を採用していることなどについて説明できる。 ・民主社会における政治参加の重要性について理解し、新聞やニュースなどを通じて、現実の政治の動きについて関心を深める。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	8
六月	**個人の尊重と法の支配** 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。	・日本国憲法第13条の「個人の尊重」について正しく理解し、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを知る。 ・法や社会規範が、私たちの生活のあらゆる領域にかかわっており、私たちの権利を守っていることを理解する。 ・司法制度の基本的な仕組みについて理解し、我が国では、同じ事件について三回まで裁判を受けることができる三審制を採用していることについて説明できる。また、司法制度改革の一環として裁判員制度が導入されたことを理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	8
七月		・生命がかけがえのないものであることについて理解し、生命尊重の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが重要であることを知る。 ・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。 ・人間は尊厳をもつかけがえのない人格として平等であり、他の人々の願いを自分の場合と同様に尊重することが必要であることを考察する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	4
九月	**現代の経済社会と経済活動の在り方** 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	・現代の経済社会の変容について、産業構造や人々のライフスタイルの変化に着目して説明できる。 ・市場が需要と供給をつなぐ取引の場であり、需要と供給の均衡をもたらす「価格の自動調整機能」があることを、Ａ．スミスの「見えざる手」という言葉を使用して説明できる。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	8
十月		・財政とは、政府による経済活動であり、所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などの歳出がまかなわれていることを理解する。 ・銀行などの金融機関が資金の融通を行うことで経済が成り立っていることや、日本銀行が発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つの働きをもつことを理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	8
十一月		・戦後の我が国において実現された高度経済成長について理解し、経済成長が社会全体に与えた影響について説明できる。 ・日本国憲法に規定された勤労の義務や労働基本権について理解するとともに、非正規雇用の増加などに代表される現実の雇用・労働問題について知る。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	8
十二月		・病気やけが、加齢などによる生活不安、失業・労働災害・事故などに対して、国の責任として生活の保障する社会保障制度の意義や役割を理解する。中でも医療保険と年金保険については、それぞれ国民皆保険、国民皆年金が整備されていることを理解する。 ・個人や企業が経済活動を行う上で、法的責任と社会的責任を担っていることや、私たち個人が社会生活を営むに当たり、環境保全や社会貢献に配慮した行動をとることが重要であることを理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	6
一月	**国際社会の動向と日本の果たすべき役割** グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。	・現代のグローバル社会が、人、商品、資本、情報などが国境を越えて自由に移動し、国際的な相互依存関係が深まる中で形成されてきたことを説明できる。 ・国際社会における国際法の重要性について知るとともに、国家主権の尊重、人権や領土に関する国際的な取り決めの遵守、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合や非政府組織などの果たす役割が増大していることを理解する。 ・人種や民族の違いが、宗教や言語などの問題と結び付いて地域紛争を引き起こすことがあることを知る。また、グローバル化の進展とともに、文化や宗教などの違いを越えて、人類が共生に向けた努力を行うことが重要であることを理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	6
二月		・核兵器をめぐる現状と世界の軍縮への取組について理解するとともに、国際連合をはじめとする国際機関や非政府組織などが軍縮に取り組んでいることを知る。 ・現在の我が国の安全保障について理解するとともに、国際社会の平和と安全の維持において自衛隊が果たしている役割について知る。 ・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることや、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解する。 ・グローバル化の進展とともに、国際的な経済の相互依存関係が深まっていることを理解し、欧州連合などの事例を踏まえて地域的経済統合の動きについて知る。 ・南北問題や南南問題などの国際的な経済問題の解決のためには、国際協調が必要であることを認識し、国際機関や非政府組織などの果たす役割の重要性について理解する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	6
三月	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。	持続可能な社会の形成に参画することの重要性について理解し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに注目して現代社会の諸課題について考察できる。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（資料集の現代社会用語）	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(公民)科目：(政治経済)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択者)

使用教科書：政治･経済（東京書籍）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「政治・経済」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
四月	**現代の民主政治の基本原理**	・社会契約説の基本的な考え方を理解し、民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係の視点から考察する。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（政治・経済用語）	6
五月	**日本国憲法の基本原理、日本の政治機構、現代政治の特質と課題**	・日本国憲法における基本的人権の尊重，国民主権，天皇の地位と役割，国会，内閣，裁判所などの政治機構を概観させるとともに，政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務の関係，議会制民主主義，地方自治などについて理解させ，民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ，政党政治や選挙などに着目して，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（政治・経済用語）	8
六月	**経済社会の変容、現代経済のしくみ、日本経済の発展と課題、労働と社会保障、国民経済と国際経済**	現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め，日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化，現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに，その特質を把握させ，経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか）、小テスト（政治・経済用語）	8
七月				4
九月	**現代社会の諸課題　討論授業ディベート**	ａ．関心・意欲・態度 現代の政治，経済，国際関係に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。 ｂ．思考・判断 現代の政治，経済，国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断する。 ｃ．資料活用の技能・表現 現代の政治，経済，国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用するとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。 ｄ．知識・理解 現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質，特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。	提出物（「授業ごとの感想」レポートほか、ディベートレポート）	8
十月				8
十一月				8
十二月				6
一月				6
二月				6
三月				2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(数学)科目：(数学Ⅰ)　単位数：3単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：新編数学Ⅰ（数研出版）

使用教材：Study-Upノート 数学Ⅰ（数研出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	○式の計算 ・整式の加法と減法	整式･同類項などの言葉の意味を理解し、整式を降べきの順に整理できるようになる。そして整式の加法･　　減法ができるようになる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
	○式の計算 ・整式の乗法	指数法則と分配法則を用いて整式の展開ができるようになる。 展開公式が利用できるようになる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○式の計算 ・因数分解	因数分解の公式が利用できるようになる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○実数 ・実数	四則計算を可能にするために、自然数･整数･有理数･無理数・実数と数が拡張されてきたことを理解する。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
5月	○実数 ・根号を含む式の計算	平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法･減法･乗法ができるようになる。 分母の有理化ができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定	5
	○１次不等式 ・不等式の性質	不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 不等式の性質を理解する。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定	2
	○１次不等式 ・１次不等式	不等式を解き、その解を数直線に表示できる。連立不等式の解を数直線を用いて表示できる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定	5
6月	○１次不等式 ・絶対値を含む方程式･不等式	基本的な絶対値を含む方程式･不等式を解くことができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○集合と命題 ・集合	条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができ、要素を列挙する方法と、条件を示す方法で集合を表すことができる。 ベン図を用いて集合を視覚的に表現できる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
	○集合と命題 ・命題と条件	命題の真偽を集合の包含関係に結びつけてとらえ、考察することができる。 条件と集合の関係を理解し、必要･十分･必要十分条件を集合の関係でとらえることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○集合と命題 ・命題とその逆･裏･対偶	命題の逆･裏･対偶の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
7月	○集合と命題 ・命題と証明	対偶や背理法を用いた証明法について興味･関心を持ち、命題を証明するのにこれらを適切に用いることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
	○２次関数とグラフ ・関数とグラフ	２つの数量の関係を式で表現できる。 Y=F(x) などの表記を理解し、用いることができる。 １次関数のグラフがかける。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
9月	○２次関数とグラフ ・２次関数のグラフ	放物線の形･軸･頂点について理解している。平方完成を用いて２次関数のグラフの軸と頂点を調べ，グラフをかくことができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	5
	○２次関数の値の変化 ・２次関数の最大･最小	2次関数の最大・最小の問題を，図をかいて考察しようとする。 定義域に制限がある場合に，最大値，最小値が求められる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	5
	○２次関数の値の変化 ・２次関数の決定	与えられた条件から2次関数を決定することができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
10月	○２次方程式と２次不等式 ・２次方程式	２次方程式の解き方として，因数分解利用，解の公式利用を理解している。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
	○２次方程式と２次不等式 ・２次関数のグラフとＸ軸の位置関係	2次関数のグラフとx軸の共有点の座標や個数が求められ、その位置関係を，判別式の符号から考察することができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
	○２次方程式と２次不等式 ・２次不等式	2次不等式の解法が、2次関数のグラフとx軸との位置関係に関連することを理解し、２次不等式を解くことができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
11月	○三角比 ・三角比	直角三角形において，正弦・余弦・正接が求められる。三角比の定義から，辺の長さを求める関係式を考えることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	5
	○三角比 ・三角比の相互関係	三角比の相互関係を利用して，1つの値から残りの値が求められる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○三角比 ・三角比の拡張	拡張された三角比を，座標平面に図示して考えることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
12月	○三角形への応用 ・正弦定理	正弦定理を利用して，三角形の外接円の半径，辺の長さや角の大きさが求められる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○三角形への応用 ・余弦定理	余弦定理を利用して，三角形の辺の長さ，角の大きさが求められる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	4
1月	○三角形への応用 ・正弦定理と余弦定理の応用	余弦定理や正弦定理を用いて，三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○三角形への応用 ・三角形の面積	三角形の面積を，2辺と間の角から求めることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
	○三角形への応用 ・空間図形への応用	正弦定理，余弦定理を空間図形の計量に応用できる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
2月	○データの分析 ・データの整理と代表値	データを度数分布表に整理し，それをヒストグラムで表すことができる。 平均値や中央値，最頻値の定義や意味を理解し，それらを求めることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	2
	○データの分析 ・データの散らばりと四分位数	四分位範囲の定義やその意味を理解し，それを求め，データの散らばりを比較することができる。箱ひげ図をかき，データの分布を比較することができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
	○データの分析 ・分散と標準偏差	分散，標準偏差の定義とその意味を理解し，それらに関する公式を用いて，分散，標準偏差を求めることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト　　定期考査	3
3月	○データの分析 ・データの相関	散布図を作成し，２つの変量の間の相関を考察することができる。 相関係数の定義とその意味を理解し，それを求めることができる。	問題演習時の机間巡視　小テスト	3
	○データの分析 ・表計算ソフトによるデータの分析	平均値，分散，標準偏差，相関係数の定義に従った式を表計算ソフトに入力し，それらを計算することが　　できる。	実習時の机間巡視	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(数学)科目：(数学Ⅱ)　単位数：2単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：新編数学Ⅱ（数研出版）

使用教材：Study-Upノート数学Ⅱ（数研出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月 5月	式と証明「式と計算」 ・整式の割り算 ・分数式とその計算	２次の乗法公式および因数分解の公式については、中学校および数学Ⅰで学習している。数学Ⅱでは、３次の乗法公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることを学習する。整式の割り算には、整数の割り算が関係する。「割られる＝割る×商＋余り」という関係式を用いて、整式を求める。	観察、ノート、提出物、課題テスト	12
6月 7月	複素数と方程式「複素数と２次方程式の解」 ・複素数とその計算 ・２次方程式の解 ・解と係数の関係	複素数では、負の数の平方根を扱うが、平方根の定義は数学Ⅰで述べたものと同じであることに留意する。２次方程式の解の公式は平方根の中が正または０になる場合だけを数学Ⅰで扱っているが、負の場合は負の数の平方根から示せばよい。	観察、ノート、提出物、定期考査	8
	複素数と方程式「高次方程式」 ・剰余の定理と因数分解 ・組立除法 ・高次方程式	方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようになる。	観察、ノート、提出物、定期考査	8
9月 10月	図形と方程式「点と直線」 ・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式 ・２直線の関係	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。図形は、その上の点の座標が満足する方程式あるいは不等式で表せる。したがって、図形の性質や特徴、あるいはそれらの関係は、方程式や不等式を調べることによって明らかにされる。このように、図形を解析幾何学的な方法で扱う考え方とその有用性について指導し、理解を深めさせる。	観察、ノート、提出物、定期考査	12
11月 12月	図形と方程式「円」 ・円の方程式 ・円と直線 ・２つの円	１点から等しい距離にある点の集合であるという図形的意味から、円の方程式を求める。また、円と直線の位置関係や２つの円の位置関係を求めるには２次方程式の判別式を利用する。	観察、ノート、提出物、定期考査	16
1月 2月 3月	図形と方程式「軌跡と領域」 ・軌跡と方程式 ・不等式の現す領域	軌跡については、中学でも概念的なことは学習されているので、簡単なものについては、座標平面で考えるより考えやすいといえる。方程式が座標平面状の直線や曲線を表すのに対して、不等式は座標平面上のある範囲を表すことを理解させる。	観察、ノート、提出物、定期考査	14

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(数学)科目：(数学A)　単位数：2単位　対象：(第2学年選択生徒)

使用教科書：新編数学Ａ（数研出版）

使用教材：なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	数と式 ア　集合と命題 (ア)　集合	集合に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	4
５月 ６月	場合の数と確率 ア　場合の数 (ア)　集合の要素の個数 (イ)　場合の数 (ウ)　順列 (エ)　組合せ	場合の数を求めるときの基本的な考え方について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	22
７月	イ　確率 (ア)　事象と確率	確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	2
９月 １０月	(イ)　確率の基本性質 (ウ)　独立な試行と確率 (エ)　条件付き確率	確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	15
１１月 １２月	図形の性質 ア　平面図形 (ア)　三角形の辺の比 (イ)　三角形の外心・内心・重心 (ウ)　チェバの定理・メネラウスの定理	平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	13
１月 ２月	(エ)　円に内接する四角形 (オ)　円と直線 (カ)　２つの円 (キ)　作図	平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7
２月 ３月	イ　空間図形 (ア)　直線と平面 (イ)　空間図形と多面体	空間における直線や平面の位置関係やなす角についての理解を深める。また、多面体などに関する基本的な性質について理解しそれらを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(数学)科目：(数学Ⅱ)　単位数：2単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：（数研出版）

使用教材：（新編 数学Ⅱ）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	指数関数と対数関数 ア　指数関数 (ア)　指数の拡張	指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7
５月	(イ)指数関数	指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7
６月 ７月	指数関数と対数関数 イ　対数関数 (ア)　対数とその性質 (イ)　対数関数 (ウ)　常用対数	対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算ができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	14
９月	就職対策問題	高校数学の学習に関連のあるものを中心に、社会生活に欠かせない計算の練習を行い、数や計算に関する感覚を養う。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	3
１０月	ア　微分係数と導関数 (ア)　微分係数 (イ)　導関数とその計算 (ウ)　接線の方程式	微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	11
１１月	イ　関数の値の変化 (ア)　関数の増減と増大・極小 (イ)　関数の増減・グラフの応用	導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができるようになる。また、微分の考えを事象の考察に活用することができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	9
１２月	ウ　積分法 (ア)　不定積分 (イ)　定積分	不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めることができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	5
１月	(ウ)　定積分と図形の面積	定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	5
２月	三角関数 ア　三角関数 (ア)　角の拡張 (イ)　三角関数 (ウ)　三角関数のグラフ (エ)　三角関数の性質 (オ)　三角関数を含む方程式、不等式	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数にていて理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	5
３月	イ　加法定理 (ア)　三角関数の加法定理 (イ)　加法定理の応用	三角関数の加法定理を理解し、それを用いて２倍角の公式を導くことができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(数学)科目：(数学A)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：新編数学Ａ（数研出版）

使用教材：なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	数と式 ア　集合と命題 (ア)　集合	集合に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	4
５月 ６月	場合の数と確率 ア　場合の数 (ア)　集合の要素の個数 (イ)　場合の数 (ウ)　順列 (エ)　組合せ	場合の数を求めるときの基本的な考え方について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	22
７月	イ　確率 (ア)　事象と確率	確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	2
９月 １０月	(イ)　確率の基本性質 (ウ)　独立な試行と確率 (エ)　条件付き確率	確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	15
１１月 １２月	図形の性質 ア　平面図形 (ア)　三角形の辺の比 (イ)　三角形の外心・内心・重心 (ウ)　チェバの定理・メネラウスの定理	平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	13
１月 ２月	(エ)　円に内接する四角形 (オ)　円と直線 (カ)　２つの円 (キ)　作図	平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7
２月 ３月	イ　空間図形 (ア)　直線と平面 (イ)　空間図形と多面体	空間における直線や平面の位置関係やなす角についての理解を深める。また、多面体などに関する基本的な性質について理解しそれらを事象の考察に活用できるようになる。	学習活動への参加の仕方や態度、発表の仕方や内容、小テスト、定期考査	7

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(理科)科目：(生物基礎)　単位数：2単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：新生物基礎（第一学習社出版）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「生物基礎」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	（1）生物と遺伝子 ア　生物の特徴 （ア）生物の共通性と多様性	・地球上の生物が細胞を最小単位として生命活動を行っていることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
		・多種多様の生物も細胞から成り、ＤＮＡを遺伝子として用い、同じ４種の塩基を遺伝情報の記録を行い、その情報を元に生命が作られることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【知識・理解】	3
5月	（1）生物と遺伝子 ア　生物の特徴 （ア）生物の共通性と多様性	・　多様な生物の中から進化が生じ、単一の生命は様々な環境変化で絶滅する可能性が高いことも理解する。	【関心・意欲・態度】 【知識・理解】	4
	（イ）細胞とエネルギー	・　生命活動にはエネルギーが必要であり、多くの生物は炭水化物や脂質をエネルギー源として利用し、細胞内ではＡＴＰとＡＤＰ間での変化が化学エネルギーの出入りとして利用されていることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【知識・理解】	4
6月	（イ）細胞とエネルギー	・　物質代謝として光合成が光のエネルギーを用いて高分子の合成による化学エネルギーの蓄積であり、呼吸がグルコースの分解による化学エネルギーの放出であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【知識・理解】	4
	（ウ）遺伝情報とタンパク質の合成	・　ＤＮＡの情報がＲＮＡに転写されて必要な遺伝情報がリボソームによって翻訳され、タンパク質合成が行われることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	5
7月	（ウ）遺伝情報とタンパク質の合成	・　生体を構成する物質の主な物質としてタンパク質があり、タンパク質がアミノ酸２０種類の組み合わせでできている高分子であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	5
9月	（2）生物の体内環境の維持 ア　生物の体内環境 （ア）体内環境	・　生命は外界と体内を細胞膜で仕切ることで、体内環境を自己にとって最適に保ち、生命活動を行うことで、生命を維持し、進化してきたことを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	4
		・　単細胞生物から多細胞生物へ進化することで各細胞の分化と専門性が生じ、個々の細胞が行う仕事が分かれていくことを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
		・　多細胞生物は個々の細胞を結びつける循環器系や神経系が発達し、体内環境を能動的に一定に保つ恒常性（ホメオスタシス）という能力を持っていることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
10月	（イ）体内環境の維持の仕組み	・　体内環境はそれを満たす体液とその成分が重要な働きをすること、血液やリンパ液内の液体成分に含まれる無機塩類や血糖量が各細胞や臓器、個体の生命維持に生命維持に不可欠であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	4
		・　これらを即応的に調節する機能が自律神経系であり、体液循環により順次調整するのがホルモン分泌系であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	4
11月	（ウ）免疫	・　免疫の主役が白血球を中心とする各食作用とそれらが生産する免疫抗体であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	4
		・　体液性免疫においては抗原抗体反応とヘルパーＴ細胞の抗原情報の伝達と免疫記憶細胞としての働きを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
12月	（ウ）免疫	・　細胞性免疫においてはヘルパーＴ細胞から抗原情報を得たキラーＴ細胞の働きを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
1月	（3）生物の多様性と生態系 ア　植生の多様性と分布 （ア）植生と遷移	・　植生は陸上生物の生態系を支える植物相であるがその姿も長い年月で変化していくことを学ぶ。火山噴火等で全滅した大地にも植生は生まれ、極相へと変化していくことを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
		・　植生の遷移にも乾性遷移と湿性遷移があり、植物相にも違いがあることを学ぶ。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
2月	（イ）気候とバイオーム	・　生物は単独で生活するものより植物群落や生物環境の中で相互に関係を持ちながら適応している生物群が中心であり、この生物群系がバイオームであることを学ぶ。またこのバイオームが気温と降水量によって変化していくことを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	イ　生態系とその保全 (ア)生態系と物質循環	・　生態系が持続可能になるためには物質循環とエネルギー移動が必要であり、地球環境まで範囲を拡大することも可能であることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
3月	（イ）生態系のバランスと保全	・　我々の地球環境が様々な生物的環境や非生物的環境の相互作用によってバランスが取られており、一つの生態系がバランスを崩すと他の環境へと影響を及ぼしていくことを学び、生態系の保全が我々の生活や未来に深く関わることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(理科)科目：(生物基礎)　単位数：3単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：新生物基礎（第一学習社）

使用教材：スクエア最新図説生物ｎｅｏ（第一学習社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「生物基礎」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４ 月	生物の特徴 生物の共通性と多様性	地球上の生物が細胞を最小単位として生命活動を行っていることを理解する。 多種多様の生物も細胞から成り、ＤＮＡを遺伝子として用い、４種の塩基を遺伝情報の記録を行い、その情報を元に生命が作られることを理解する。 多様な生物の中から進化が生じ、環境に適応したものが生き残り適応できなかった種は絶滅する可能性が高いことも理解する。	ノート、実験レポート 、観察、小テスト	12
５ 月	細胞とエネルギー	生命活動にはエネルギーが必要であり、多くの生物は炭水化物や脂質をエネルギー源として利用し、細胞内ではＡＴＰとＡＤＰ間での変化がエネルギーの出入りとして利用されていることを理解する 物質代謝として光合成が光のエネルギーを用いて高分子の合成による化学エネルギーの蓄積であり、呼吸がグルコースの分解による化学エネルギーの放出であることを理解する。	ノート、実験レポート観察、定期考査	12
６ 月	遺伝子とその働き 遺伝情報の分配	生物の遺伝を司る遺伝子がＤＮＡという化学物質であることを理解する。 ＤＮＡはリン酸、糖、塩基を一組とするヌクレオチドが鎖のようにつながった二重らせん構造をしていることを理解する。 塩基は４種あり、この並び方が遺伝情報になっていることを理解する。 ＤＮＡの塩基はアデニンがチミンと、グアニンとシトシンが結合し他の組み合わせでは結合が生じない。この相補性がＤＮＡが複製される基本原理であることを理解する。	ノート、実験レポート、観察、小テスト	12
７ 月	遺伝情報とタンパク質の合成	ＤＮＡの情報がＲＮＡに転写されて必要な遺伝情報がリボソームによって翻訳され、タンパク質合成 が行われることを理解する。 生体を構成する物質の主な物質としてタンパク質があり、タンパク質がアミノ酸２０種類の組み合わせでできている高分子であることを理解する。	ノート、実験レポート 観察、定期考査、小テスト	9
９ 月	生物の体内環境	生命は外界と体内を細胞膜で仕切ることで、体内環境を自己にとって最適に保ち、生命活動を行うことで、生命を維持し、進化してきたことを理解する。 単細胞生物から多細胞生物へ進化することで各細胞の分化と専門性が生じ、個々の細胞が行う仕事が分かれていくことを理解する。 多細胞生物は個々の細胞を結びつける循環器系や神経系が発達し、体内環境を能動的に一定に保つ恒常性（ホメオスタシス）という能力を持っていることを理解する。	ノート、実験レポート 観察、小テスト	12
１０ 月	体内環境の維持の仕組み	体内環境はそれを満たす体液とその成分が重要な働きをすること、血液等の液体成分に含まれる無機塩類や血糖量が各細胞や臓器、個体の生命維持に生命維持に不可欠であることを理解する。 これらを即応的に調節する機能が自律神経系であり、体液循環により順次調整するのがホルモン分泌系であることを理解する。	ノート、実験レポート 観察、定期考査、小テスト	12
１１ 月	免疫	免疫の主役が白血球を中心とする各食作用とそれらが生産する免疫抗体であることを理解 体液性免疫においては抗原抗体反応とヘルパーＴ細胞の抗原情報の伝達と免疫記憶細胞としての働きを理解する。 細胞性免疫においてはヘルパーＴ細胞から抗原情報を得たキラーＴ細胞の働きを理解する。	ノート、実験レポー 観察、小テスト	9
１２ 月	植生の多様性と分布	植生は陸上生物の生態系を支える植物相であるがその姿も長い年月で変化していくことを学ぶ。火山噴火等で全滅した大地にも植生は生まれ、極相へと変化していくことを理解する。 植生の遷移にも乾性遷移と湿性遷移があり、植物相にも違いがあることを学ぶ。	ノート、実験レポート、観察、定期考査 小テスト	9
１ 月	気候とバイオーム	生物は単独で生活するものより植物群落や生物環境の中で相互に関係を持ちながら適応している生物群が中心であり、この生物群系がバイオームであることを学ぶ。またこのバイオームが気温と降水量によって変化していくことを理解する。	ノート、実験レポート 観察、定期考査、小テスト	9
２ 月	生態系とその保全	生態系が持続可能になるためには物質循環とエネルギー移動が必要であり、地球環境まで範囲を拡大することも可能であることを理解する。	ノート、実験レポート、観察、定期考査、小テスト	6
３ 月	人間活動と生態系	人間の生活活動が生態系に与える影響を理解し、水質汚染や酸性雨、地球温暖化などの問題を理解させる。	観察、小テスト	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：（理科）科目：（生物）　単位数：4単位　対象：（第3学年選択生徒）

使用教科書：高等学校　生物（第一学習社）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「生物」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第1章　細胞と分子 1．生体物質と細胞 ①生命の基本単位 - 細胞 ②生物を構成する物質 ③細胞内での生命活動を担う細胞小器官	・生物を構成する元素や物質に関心をもち，意欲的に学習する態度を示す。 ・水分子の特徴から，生物における水の働きを理論的に推定する。 ・さまざまな細胞小器官について関心をもち，その働きと構造を理解しようとする。 ・脂質分子の性質から，細胞膜の構造とその特徴を理論的に考察する。 ・各細胞小器官の働きから，細胞内でさまざまな反応が行われていることを理解する。 ・いろいろな細胞小器官の働きや構造の知識を身につける。 ・細胞内でのタンパク質の輸送から，細胞小器官どうしの相互作用を考察する。 ・タンパク質の輸送を例に，細胞小器官は相互に関わりあいがあることを理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	7
	2．細胞膜を介した物質の移動 ①細胞膜の性質と物質の透過性 ②細胞膜を介した物質の通過 観察1　植物細胞と浸透	・　細胞膜を透過する物質の大きさと透過性の関係に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　分子の大きさと膜の透過性との関係に関心をもち，理論的に考察する。 ・　分子の大きさと膜の透過性の関係を理解している。 ・　ナトリウムポンプのしくみに関心をもち，能動輸送について意欲的に学習しようとする。 ・　受動輸送と能動輸送の違いを理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	7
5月	3．生命現象とタンパク質 ①タンパク質の構造と性質 ②酵素とその働き 実験1　カタラーゼの働き ③細胞間の相互作用とタンパク質	・　アミノ酸の構造とペプチド結合について意欲的に学習しようとする。 ・　タンパク質の立体構造に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　タンパク質の一次構造，二次構造，三次構造，四次構造について理解している。 ・　酵素の基本的な性質に関心をもち，その性質が生じるしくみを理解しようとする。 ・　タンパク質の構造と自己・非自己の認識のしくみについて説明できる。 ・　細胞接着に関与するタンパク質や細胞接着の構造について興味をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　タンパク質は，情報の伝達や物質の輸送，免疫，細胞接着などさまざまな生命現象に関与していることを理解している。 ・　動物の肝臓片を用いて，酵素の特性を調べる実験を行うことができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	10
	探究活動1　酵素反応速度と温度との関係	・酵素反応の速度と温度との関係に関心を示し，意欲的に探究活動を行う。 ・得られた結果から，アミラーゼの最適温度や，反応があまり進まなかった理由を科学的に推測する。 ・対照実験として適切な温度を設定することができる。 ・分解されたデンプンの量の違いによって，ヨウ素反応の色に違いがあることを理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
6月	第2章　代謝 1．代謝とエネルギー代謝 ①代謝	・　代謝の流れに興味を示し，意欲的に学習しようとする。 ・　代謝とエネルギーの出入りについて科学的に理解する。 ・　エネルギー代謝について理解している。 ・　生物は有機物を得る方法によって，独立栄養生物と従属栄養生物に分けられること理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	
	2．同化 ①光合成と葉緑体 実験2　緑葉に含まれる色素 ②光合成の過程 ③細菌類による炭酸同化	・光合成色素と吸収する光の関係に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・葉緑体の構造を理解している。 ・光合成色素の種類と吸収スペクトルの特徴を理解している。 ・チラコイドで起こる光化学反応，電子伝達系，ATP合成に関心をもち，科学的に理解しようとする。 ・光化学系Ⅱ，電子伝達系，光化学系Ⅰで起こる反応と，ATP合成の関係について科学的に理解する。 ・チラコイドで起こる反応の過程と，消費される物質と生じる物質を理解している。 ・薄層クロマトグラフィーの方法を習得する。 ・[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	3．窒素同化 ①窒素同化 観察2　根粒菌の観察	・窒素固定の反応とこれに関与する酵素に興味をもち，意欲的に学習しようとする。 ・植物の窒素同化の反応を科学的に理解する。 ・窒素固定と窒素同化の違いを理解している。 ・植物の窒素同化の流れを理解している。 ・生態系における窒素固定や窒素同化，脱窒の役割を考察する。 ・脱窒の反応を理解している。 ・根粒菌を染色して顕微鏡観察することができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	4．異化 ①異化によるエネルギーの獲得 ②発酵 実験3　アルコール発酵 ③呼吸	・呼吸と発酵の違いについて意欲的に学習しようとする。 ・いろいろな発酵の過程の共通点や相違点に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・アルコール発酵と乳酸発酵，解糖の過程を理解している。 ・グルコースが呼吸基質として用いられた場合，アルコール発酵，乳酸発酵，解糖の各反応で生じる物質の量を理解している。 ・アルコール発酵において，温度と反応速度の関係を定量的に測定できるようになる。 ・光合成速度と光の波長との関係に関心を示し，意欲的に探究活動を行う。 ・得られた結果から，光合成に有効な色の光を科学的に推測する。 ・設定した仮説から想定される結果が得られなかった場合に，どのような問題があったのか考察することができる。 ・光合成色素について，[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
7月	第3章　遺伝情報の発現 1．遺伝情報とその発現 ①DNAの構造 ②DNAの複製のしくみ ③遺伝情報の発現 実験4　細胞内のDNAとRNAの分布 ④DNAの塩基配列の変化と形質の対応	・DNAの複製のしくみに関心をもち，積極的に理解しようとする。 ・DNAのヌクレオチドの構造から，DNA分子の方向性について科学的に理解する。 ・半保存的複製を証明した実験について，科学的に考察し説明することができる。 ・DNA合成酵素が作用するためにはプライマーが必要であることを理解している。 ・真核生物の転写開始には，基本転写因子が必要であることを理解している。 ・スプライシングのしくみや選択的スプライシングに関心をもち，積極的に理解しようとする。 ・真核生物では，スプライシングを経てmRNAがつくられることを理解している。 ・遺伝情報とその[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
	2．遺伝子の発現調節 ①真核生物における遺伝子の発現調節 ②原核生物における遺伝子の発現調節 実験5　ラクトースオペロンにおける遺伝子の発現調節	・　染色体の構造と遺伝子発現の関係に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　クロマチン繊維の高次構造と転写開始に必要なタンパク質の結合の可否について科学的に考察し理解する。 ・　真核生物の遺伝子発現調節のしくみに関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　遺伝子発現の調節と細胞の分化との関係を理解しようとする。 ・　調節遺伝子などの働きによって，関連する複数の遺伝子の発現が調節されることで細胞が分化することを理解する。 ・　異なる遺伝子が一定の順序で発現し，その生物に特有な形態や機能が現れていることを理解する。 ・　原核生物におけるオペロンによる遺伝子発現調節のしくみに関心をもち，意欲的に学習しようとする。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	3．バイオテクノロジー ①遺伝子を扱う技術 実験6　λDNAの制限酵素による切断と電気泳動 ②バイオテクノロジーの応用 ③バイオテクノロジーの課題	・遺伝子組み換えの方法に関心をもち理解する。 ・遺伝子組み換えの方法や用いる酵素などを理解している。 ・PCR法や電気泳動法，塩基配列の解析法のしくみに興味をもち，科学的に理解しようとする。 ・電気泳動法の原理を理解している。 ・塩基配列解析の原理や用いる酵素などを理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	第4章　有性生殖 1．減数分裂と受精 ①無性生殖と有性生殖 ②染色体と遺伝子 ③減数分裂と生殖細胞の形成 観察3　減数分裂	・無性生殖と有性生殖の違いに関心を示し，積極的に理解しようとする。 ・生殖法には無性生殖と有性生殖があること，およびそれぞれの生殖法の特徴を理解している。 ・生物の種によって染色体の数や形が決まっていることに関心をもち，理解しようとする。 ・体細胞には対になった相同染色体や性染色体が含まれることを理解している。 ・遺伝子座と遺伝子の関係に関心をもち，理解しようとする。 ・減数分裂によって染色体構成の異なる多様な配偶子が形成されることに興味をもち，理解しようとする。 ・配偶子が合体することによって子の染色体の組み合わせが多様化することを論理的に理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
	2．遺伝子と染色体 ①遺伝子の連鎖と組換え 実験7　ショウジョウバエの交雑実験	・遺伝子には連鎖しているものがあることや，組換えによって連鎖している遺伝子の組み合わせが変化することに関心を示し，理解しようとする。 ・組換えが生じることによって，配偶子の染色体構成がさらに多様化することを論理的に理解する。 ・同じ染色体にある遺伝子は連鎖していること，これらは組換えによって組み合わせが変化することがあることを理解している。 ・組換え価の求め方に関心を示し，理解しようとする。 ・検定交雑によって組換え価を求めることができることを科学的に理解し，説明することができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
9月	第5章　動物の発生 1．配偶子形成と受精 ①配偶子形成 観察4　二枚貝の精子の観察 ②受精	・　精子や卵の構造について関心をもち，理解しようとする。 ・　精子と卵の形成過程の違いを理解している。 ・　受精の際に起こるさまざまな反応に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・　ウニの精子が卵のゼリー層に接触してから卵に進入するまでの反応を理解している。 ・　多精拒否のしくみについて関心をもち，理解しようとする。 ・　[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	2．初期発生の過程 ①卵割 ②原腸の形成と胚葉の分化 ③胚葉からの器官形成 観察5　アフリカツメガエルの発生 ④母性因子による体軸の決定	・卵割の様式と卵黄の分布の関係について関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・ウニの発生過程に関心をもち，理解しようとする。 ・カエルの発生過程に興味をもち，理解しようとする。 ・各胚葉から分化する器官に関心をもち，理解しようとする。 ・多くの器官は，内胚葉，中胚葉，外胚葉から分化した組織が集まって形成されていることを科学的に理解する。 ・ショウジョウバエの卵におけるビコイドmRNAやナノスmRNA，カエルの卵におけるディシェベルドタンパク質などの濃度勾配が体軸の方向を決定していることを科学的に理解する。 ・アフリカツメガエルを産卵・受精させ，発生段階に応じて胚を固定し，発生のようすを観察することができるようになる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	3
	3．細胞の分化と形態形成 ①胚の区画化と調節遺伝子の働き ②胚葉の誘導 ③器官形成における反応能と誘導の連鎖	・いくつかの調節遺伝子群が段階的に発現することで発生が進むことに関心を示し，理解しようとする。 ・発生過程において，調節遺伝子が段階的に発現することによって胚の区画化が起こることを科学的に理解する。 ・胚の区画化は，調節遺伝子が連鎖的に発現することによって起こっていることを理解している。 ・ショウジョウバエの体節の分化は，ホメオティック遺伝子によって決定されることに関心を示し，理解しようとする。 ・中胚葉誘導と神経誘導における物質の濃度勾配に関心を示し，理解しようとする。 ・発生過程の研究の歴史に関心を示し，理解しようとする。 ・誘導を受ける部位に反応能があることに関心を示し，理解しようとする。 ・反応能をもつ時期が限られていることを実験結果から科学的に考察し，理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
	4．器官の形成と細胞の死 ①プログラム細胞死 ②アポトーシス 観察6　ニワトリの肢の観察	・プログラム細胞死が起こることで正常な器官が形成されることに関心を示し，意欲的に学習しようとする。 ・発生の過程では，プログラム細胞死が起こって形成される器官があることを理解している。 ・細胞の全能性に関心を示し，理解しようとする。 ・ES細胞やiPS細胞の特徴に関心を示し，再生医療について意欲的に学習しようとする。 ・再生の現象に関心を示し，位置情報の再構成について意欲的に学習しようとする。 ・プラナリアの再生における位置情報の再編成を科学的に考察し理解する。 ・再生における位置情報の再編成について理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
10月	第6章　植物の発生 1．配偶子形成と胚発生 ①植物の体制と発生の特徴 ②配偶子形成と胚発生 観察7　ナズナの胚発生の観察 ③植物の器官の分化 観察8　茎頂の観察	・　動物の発生と植物の発生との違いに関心を示し，植物の発生の特徴を理解しようとする。 ・　被子植物の配偶子形成と重複受精に関心をもち，理解しようとする。 ・　重複受精の過程を理解している。 ・　自家不和合性の現象が起こるしくみを科学的に理解する。 ・　茎頂分裂組織を維持するしくみに関心をもち，理解しようとする。 ・　葉の向背軸決定のしくみ関心をもち，理解しようとする。 ・　遺伝子が相互に作用しあって分裂組織が維持されたり軸が決定されたりしていることを理解している。 ・　花の形成における遺伝子発現の制御に興味をもち，理解しようとする。 ・　シロイヌナズナの花の形成は，遺伝子発現のABCモデルによって説明されていることを理解している。 ・　ナズナの胚を観察することができる。 ・　[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
	第7章　植物の環境応答 1．植物の環境応答と植物ホルモン ①環境に応じた植物の成長 ②植物の成長に関与する植物ホルモンの種類と働き 実験8　エチレンの作用	・種子の発芽や休眠に関与する植物ホルモンについて関心をもち，理解しようとする。 ・ジベレリンが遺伝子発現を調節するしくみを科学的に理解する。 ・アブシシン酸が種子の休眠を維持していることを理解している。 ・ジベレリンが調節タンパク質を介して遺伝子発現を調節し，発芽を促進することを理解している。 ・頂芽優勢と植物ホルモンの関係に関心を示し，理解しようとする。 ・果実の成熟や落葉，落果と植物ホルモンの関係に関心を示し，理解しようとする。 ・植物ホルモンの作用によって，頂芽優勢，果実の成熟，落葉・落果が起こることを理解している。 ・オーキシンの研究史に関心をもち，理解しようとする。 ・光屈性の研究の歴史において，どのような実験で何が解明されたのかを科学的に考察し，理解する。 ・エチレンの作用を明確に知ることができる材料を選び，適切な実験系を設定することができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	5
	2．植物の環境応答とそのしくみ ①光に対する環境応答 ②花芽形成における環境応答 ③その他の環境応答	・光受容体の性質と光形態形成の関係について関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・フィトクロムの光吸収の変化と光発芽の関係を科学的に理解し，林床などの環境での応答を説明することができる。 ・植物には特定の波長の光を吸収する光受容体が存在することを理解している。 ・光発芽や光屈性に光受容体が関与していることを理解している。 ・花芽形成と日長の関係に関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・与える日長を変化させる実験から，花芽形成には連続した暗期が必要であることを科学的に理解する。 ・コムギなどは春化処理によって花芽が形成されることを理解している。 ・乾燥や食害，病原菌に対する応答のしくみに関心をもち，理解しようとする。 ・植物は，乾燥や食害，病原菌などに対して[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	5
11月	第8章　動物の反応と行動 1．刺激の受容と反応 ①刺激の受容 実験9　ヒトの眼の盲斑 ②神経系 ③効果器と反応	・　受容器は特定の刺激のみを受容して感覚が生じることに関心をもち，積極的に理解しようとする。 ・　ヒトの各受容器に対する適刺激を理解している。 ・　耳の構造と聴覚の生じるしくみについて関心をもち，理解しようとする。 ・　聴覚が生じるしくみについて科学的に理解する。 ・　音の高低を識別するしくみを科学的に理解する。 ・　耳の構造と聴覚が生じる経路を理解している。 ・　平衡覚が生じるしくみに関心をもち，積極的に理解しようとする。 ・　活動電位が生じるしくみを科学的に理解し，興奮の伝導をチャネルとイオンの動きから説明することができる。 ・　跳躍伝導のしくみを科学的に理解する。 ・　興奮の伝導・伝達のしくみを理解している。 ・　無髄神経と有髄神経の特徴を理解している。 ・　ニューロンに生じる興奮は，全か無かの法則に従うことを科学的に理解する。 ・　全か無かの法則を理解している。 ・　シナプスによって興奮が伝達されるしくみについて関心を示し，理解しようとする。 ・　滑り説による筋肉の収縮のしくみに関心を示し，理解しようとする。 ・　筋収縮の滑り説を科学的に理解し，説明することができる。 ・　滑り説による筋収縮のしくみを理解している。 ・　神経による筋収縮の制御について関心を示し，理解しようとする。 ・　刺激の頻度と筋肉の収縮曲線の関係を理解している。 ・　[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	14
12月	第9章　個体群と生物群集 1．個体群 ①個体群動態 実験10　植物個体群における密度効果の影響 ②個体群内の相互作用 ③個体群間の相互作用 観察10　アブラムシをめぐる種間の相互作用	・　動物や植物の個体群にみられる密度効果について関心をもち，理解しようとする。 ・　最終収量一定の法則を探究的に理解する。 ・　個体群密度が，個体や個体群の成長，個体の生理や形態に影響を与えることを理解している。 ・　生存曲線の型は，生物の産卵・産子数，親の保護の程度が関係していることを理解している。 ・　メタ個体群の動態に関心をもち，理解しようとする。 ・　環境と個体群の変動性に関心をもち，理解しようとする。 ・　最適な縄張りの大きさが利益と労力から推定できることに関心を示し，理解しようとする。 ・　縄張りの大きさが決まるしくみや縄張りを形成することで個体数が安定することを理解している。 ・　社会性昆虫などのワーカーの存在は，包括適応度によって説明できることを理解しようとする。 ・　血縁度と包括適応度の考え方を科学的に理解し，ワーカー個体の存在理由を説明できる。 ・　包括適応度の考え方から，ワーカーの存在を理解している。 ・　最適な群れの大きさが個体間の競争と警戒の時間から推定できることを理解しようとする。 ・　ニッチの類似の度合いと競争の程度の関係を理解している。 ・　被食者と捕食者の個体数変動に関心を示し，理解しようとする。 ・　共生や寄生，間接効果などの関係を理解しようとする。 ・　間接効果を論理的に説明することができる。 ・　共生や寄生の関係を理解している。 ・　2種の生物間の相互作用は他の種にも影響を与えることを理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	10
	2．生物群集 ①多様な種が共存するしくみ ②環境形成作用と多種の共存	・ニッチの分割と種の共存の関係を理解しようとする。 ・形質置換に関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・基本ニッチと実現ニッチの違いから，競争の有無や程度を論理的に説明することができる。 ・ニッチの分割による多様な種の共存を理解している。 ・基本ニッチと実現ニッチの比較から，競争の有無や程度がわかることを理解している。 ・撹乱による多様な種の共存に関心をもち，理解しようとする。 ・撹乱による多様な種の共存について理解している。 ・環境形成作用によって多様な種が共存する環境が提供されることを理解しようとする。 ・環境形成作用と多様な種の共存の関係を理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	4
1月	第10章　生態系 1．生態系の物質生産 ①生態系における物質生産 実験11　栄養塩類が物質生産に及ぼす影響 ②生態系におけるエネルギーの移動	・　生態系における物質生産の関係に関心をもち，理解しようとする。 ・　さまざまな生態系における物質生産の特徴に関心をもち，理解しようとする。 ・　各種生態系の物質生産の特徴を科学的に説明することができる。 ・　生態系によって物質生産のようすが異なっていることを理解している。 ・　生態系におけるエネルギー効率に関心をもち，理解しようとする。 ・　ある栄養段階におけるエネルギー効率を求めることができる。 ・　栄養段階が上がるごとに個体数が減少することを，利用できるエネルギー量から論理的に考察する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	9
	2．生態系と生物多様性 ①生物多様性の3つのとらえ方 ②生態系の攪乱と生物多様性 観察11　身近な地域に侵入した外来生物の調査 ③生物多様性保全の意義	・生物多様性の3つのとらえ方を理解しようとする。 ・撹乱が生態系に与える影響に関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・人為撹乱が生態系に与える影響に関心をもち，意欲的に理解しようとする。 ・個体群の大きさの減少が絶滅の原因に与える影響を科学的に考察し理解する。 ・生物多様性保全の意義について意欲的に理解しようとする。 ・生物多様性保全の重要性を理解している。 ・インターネットなどを用いて，外来生物の情報を入手することができる。 ・[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	9
2月	第11章　生物の進化 1．進化のしくみ ①進化の証拠 ②進化のしくみ 実験12　新しい集団の大きさと遺伝子頻度の変化	・　ウマを例に，生息環境に適応して進化することを理解している。 ・　塩基配列や染色体の構造や数に変化が生じることで形質に変化が現れることに関心をもち，積極的に理解しようとする。 ・　染色体の構造変化には，欠失，逆位，転座，重複があり，数の変化には倍数性と異数性があることを理解している。 ・　遺伝子プールにおいて遺伝子頻度が変化することが進化と考えられることを理解しようとする。 ・　一定の条件を満たす集団の遺伝子頻度は変化しないことを，ハーディー・ワインベルグの法則から理解する。また，自然界の集団では，遺伝子頻度が変化していることを考察する。 ・　ハーディー・ワインベルグの法則を理解している。 ・　自然選択の要因に関心をもち，自然選択と適応進化について理解しようとする。 ・　さまざまな要因が選択圧となることを理解している。 ・　擬態，工業暗化，共進化，性選択，適応放散と収束進化に関心をもち，理解しようとする。 ・　自然選択が起こるしくみを科学的に理解し，擬態，工業暗化，共進化，性選択，適応放散と収束進化を論理的に説明することができる。 ・　擬態，工業暗化，共進化，性選択，適応放散と収束進化は，適応進化の例であることを理解している。 ・　分子時計が種間の類縁関係や分岐時期の推定に用いることができることに関心を示し，理解しようとする。 ・　隔離と種分化の関係に関心を示し，理解しようとする。 ・　種分化における隔離の重要性を理解している。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	8
	2．生物の起源と生物の変遷 ①生命の誕生 観察13　コアセルベートの作成 ②原核生物から真核生物へ ③地球環境の変化と生物界の変遷 ④地質時代と生物界の変遷	・原始地球の環境や化学進化に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 ・始原生物や真核生物の誕生について関心をもち，理解しようとする。 ・RNAワールドからDNAワールドへの変遷を科学的に理解する。 ・共生説について理解している。 ・光合成生物の活動によって地球環境が変化し，地球環境の変化が生物の進化に影響を与えたことに関心を示し，理解しようとする。 ・大気中の酸素濃度の上昇やこれに伴うオゾン層の形成が生物の進化に与えた影響を論理的に理解し，説明することができる。 ・エディアカラ生物群やバージェス動物群の生物の特徴に関心を示し，意欲的に理解しようとする。 ・カンブリア紀には，多様な無脊椎動物が爆発的に出現したことを理解している。 ・植物や動物の陸上進出と環境への適応に関心を示し，理解する。 ・化石や現生の生物にみられる進化の証拠に関心を示し，理解しようとする。。 ・コアセルベートの作成を行うことができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	8
3月	第12章　生物の系統 1．生物の分類の変遷と系統 ①生物の分類と系統	・　分類の階級に関心をもち，理解しようとする。 ・　生物の分類の階級を理解している。 ・　二名法による種の表し方を理解している。 ・　系統樹は生物が進化してきた経路を現していることを理解している。 ・　生物は大きく界やドメインに分けられることに関心をもち，理解しようとする。 ・　五界説における各界や各ドメインの特徴を説明することができる。 ・　生物は，その共通性からいくつかの界やドメインに分けられることを理解している。 ・　遺伝子や[illegible]	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2
	2．生物の系統関係 ①真核生物ドメインにおける系統関係 観察12　維管束の観察	・原生生物界，植物界，菌界，動物界の系統関係を理解しようとする。 ・モネラ界，原生生物界，植物界，菌界，動物界に属する生物の特徴を意欲的に理解しようとする。 ・モネラ界，原生生物界，植物界，菌界，動物界の特徴を理解している。 ・各界に属する生物は，さらに他の共通性によって分けられることを理解する。 ・植物の茎のプレパラートを作成することができる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(体育)　単位数：2単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「体育」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	女子器械運動 （マット運動）	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるようにする。 ・器械運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
5月	女子器械運動 （マット運動）	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるようにする。 ・器械運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
6月	女子器械運動 （マット運動）	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるようにする。 ・器械運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
7月	女子器械運動 （マット運動）	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるようにする。 ・器械運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	2
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	2
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
9月	女子ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
10月	女子ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
11月	女子ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
12月	女子ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	女子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	2
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
1月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
2月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
3月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	男子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(保健)　単位数：1単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「保健」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	・健康の考え方が変化していることを、例をあげて説明できるようにする。 ・健康を成り立たせている要因をあげることができるようにする。	・健康の考え方が変化していることを理解できたか。 ・わが国の健康水準の変化を理解し、自らの健康問題を考え、健康を維持増進していったらよい説明できるか。 ・ヘルスプロモーションの考え方について説明できるか。 ・生活習慣病の病名をあげられるようになり、生活習慣病の原因や予防法を理解できたか。	1
		・わが国の健康水準の変化とその背景を理解し説明できるようにする。 ・わが国の現在の健康問題をあげることができ、自らの問題としても考えることができる。		1
	現代社会と健康 ・健康に関する意思決定・行動選択　と環境つくり	・健康に関する意思決定、行動選択には何が重要かを説明でき、自ら実践できるようにする。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの特徴を説明できるようにする。		1
	現代社会と健康 ・生活習慣病と健康	・生活習慣病の例をあげなぜその病気が生活習慣病と言われるようになったかを説明できるようにする。 ・生活習慣病を予防方法を理解し、自らの生活に実践できるようにする。		2
5月	現代社会と健康 ・食事と健康	・健康にとっての食事の意味について説明できるようになり、健康に生きていくための摂取方法を理解する。エネルギーを摂取する量だけでなく、食品の質や取る時間なども自らの食生活と関連付けてられるようにする。同時に今の食生活が将来の健康を左右することも理解させる。	・健康の保持増進に必要な食事のとり方、質や量、栄養バランスを理解できたか。 ・運動と休養が健康維持に関係していることを理解し、自らの生活に取り入れることの大切さを理解できたか。	2
	現代社会と健康 ・運動・休養と健康	・運動と休養が健康増進や維持に密接に関係していることを理解し、運動や休養の必要性を自覚させる。運動不足による悪影響を意識させ、自ら進んで運動が実践できるような知識を身につけさせる。　・睡眠のとり方、休養のとり方も健康を保つ上で重要であることを理解させる。		2
6月	現代社会と健康 ・喫煙と健康	・喫煙が身体に与える害の大きさや未成年の喫煙が禁止されている理由について理解し、日本国内、世界における禁煙への社会的な取り組みも理解させる。また喫煙に誘われても断るコミュニケーションスキルを身につける。	・喫煙の身体への有害性を理解できたか。 ・喫煙に誘われたときに断るすべを身に着ける。 ・飲酒による身体への悪影響を理解できたか。 ・飲酒が及ぼす死亡事故を起こさないために将来どのような行動選択をしたら良いか判断できたか。	3
	現代社会と健康 ・飲酒と健康	・飲酒が及ぼす身体への悪影響を知り、未成年における飲酒が禁止されている理由を理解する。飲酒による死亡事故、飲酒運転による交通事故などと関連付け、将来において自分の意思決定、行動選択ができるようにさせる。		2
7月	1学期期末考査			
	答案返却			
9月	現代社会と健康 ・薬物乱用と健康	・薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解し、自己の心身だけでなく家族や身近な友人、社会の安全や秩序も脅かす問題であることを理解させる。	・薬物の身体的社会的な害や影響について理解できたか。 ・正しい知識を持ち、誘いをきっぱり断ることのできる判断力を身につけられたか。 ・個人がおこなう対策と社会的な対策を理解でき、適切な行動が取れるような正しい知識を身につけられたか。	2
	現代社会と健康 ・感染症とその予防	・感染症の病名や問題に関して説明できるようにし、個人および社会においての予防対策を学ぶ。近年流行している感染症についても理解し、個人の判断ではなく、正しい知識で予防や流行を防ぐことができるようにする。		3
	人類と感染症の終わりなき戦い ～新型インフルエンザに備えよう～	・新興感染症や再興感染症の現状を捉え、自分たちにできる対策や社会的におこなわれている予防対策を理解する。		
10月	現代社会と健康 ・性感染症・エイズとその予防	・性感染症、エイズに関しての正しい知識を学び、自らの行動選択を明確にできるようにする。社会での取り組みを理解する。エイズ感染者に対する偏見などがない環境作りをできるようにする。	・個人がおこなう対策と社会的な対策を理解でき、適切な行動が取れるような正しい知識を身につけられたか。 ・適応規制について、その種類と働きについて理解できたか。 ・心と身体の密接な関係が理解でき、心や体に現れる変化を自ら自覚できたか。	2
	・欲求と適応規制	・人間の欲求と適応規制には、様々な種類があることを理解し、その種類と特性を学ぶ。実際に自らの行動を振り返り、適応規制で自己を表現することがあるか確認する。		2
				1
11月	・心身相関とストレス	・精神の健康を保持増進するｓには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解する。	・心と身体の密接な関係が理解でき、心や体に現れる変化を自ら自覚できたか。 ・個人がおこなう対策が理解でき、適切な行動が取れるような正しい知識を身につけられたか。	2
	・心の健康のために	・精神と身体には密接な関係があることを理解し、各自のストレスの解消方法をあげられるようになる。		2
12月	2学期期末考査　・　答案返却	2学期の範囲から出題		
	現代社会と健康 ・交通事故の現状と要因	・交通事故の現状と要因を理解し、高校生における二輪車の事故が多いことを踏まえ、交通ルール守ることの重要性と正しい交通ルールを理解し交通事故を起こさない、巻き込まれないようにする。	・交通事故の現状と要因が理解でき、実際に交通ルールを守る規範意識が高まったか。	1
1月	現代社会と健康 ・交通事故を防ぐためには	・交通事故を防止するに、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などが関わってくることを理解する。また、交通事故には責任や補償問題が生じることを学ぶ。	・交通事故を防止するための正しい知識が身についたか。軽率な行動が、大切な生命を奪うことを理解できたか。 ・自然災害や犯罪から身を守るために、実際に行動できるか。	2
	～安全な生活を送るために私たちがすべきこと～	・自然災害や犯罪から私たちの生活を守るために、法律や条例の整備、施設設備の充実、情報の伝達、共有などさまざまな対策が講じられていることを知る。		1
	現代社会と健康 ・応急手当の意義とその基本	・適切な応急手当の意義が説明できるようになり、傷病者を発見した際に、確認観察を行うことができるようにする。		2
2月	現代社会と健康 ・日常的な応急手当	・日常的な怪我の応急手当の手順や方法を説明できるようになり、傷病者の症状の悪化を軽減できる技術を覚える。応急手当には正しい手順や方法があることを理解する。	・日常的な応急手当の手順と方法を覚えることができたか。応急手当の技能が理解できたか。 ・心肺蘇生法の手順と方法を覚え、技能が実践できるようになったか。	2
	現代社会と健康 ・心肺蘇生法の原理とおこない方	・胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理が説明できるようにする。心肺蘇生法の手順を覚え、速やかに行うことができるようにダミー人形を使って実践する。		2
3月	学年末考査	3学期間の範囲から出題		

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(体育)　単位数：2単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「体育」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	女子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
5月	女子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
6月	女子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	4
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	4
	男子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	4
7月	女子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	男子球技 （バレーボール）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
9月	女子ダンス	・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したりイメージを強調した作品にまとめたりして踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
10月	女子ダンス	・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したりイメージを強調した作品にまとめたりして踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
11月	女子ダンス	・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したりイメージを強調した作品にまとめたりして踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子陸上 （競走・跳躍）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
12月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	女子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
1月	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	男子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
2月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	3
	女子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	3
	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	3
	男子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
3月	女子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	女子縄跳び	回し方に応じた縄の操作と連携した跳び方よって記録の向上を楽しみ、技能を高めることができるようにする。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	男子陸上 （持久走）	・ペースの変化に対応するなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続す	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見	2
	男子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(保健)　単位数：1単位　対象：(第2学年A組～F組)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「保健」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	・生涯を通じる健康 ・思春期と健康	・思春期における体の変化について説明できるようにする。思春期の心の発達に関わる健康問題が説明でき、自己の体の変化と照らし合わせながら考えることができるようにする。	・思春期における体の変化について説明できるか。 ・性意識の違いを理解し、相手の気持ちを考えた言動ができるようになったか。	2
	・性への関心・欲求と性行動	・性意識の男女差があることを理解し、お互いに相手の気持ち考えて言動できるようにする。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげ、正しい知識を選択できるようにする。		2
５月	・妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できるようになり、妊娠における母体の変化を理解し、生命を尊重する態度を身につけさせる。妊娠出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができるようにする。	・妊娠、出産の過程が理解でき健康問題について、説明できるようになったか。生命を尊重する態度が身についたか。 ・家族計画の意義と適切な否認について理解できたか。	2
	・避妊法と人工妊娠中絶 ・避妊法について考えてみよう	・家族計画の意義と適切な避妊について学び、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について考え、間違った情報に惑わされず正しい知識を身につける。		2
６月	・結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できるようにし、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができるようにする。	・心身の発達と結婚生活についての関係性を理解できたか。 ・結婚生活を健康的に送るためにはコミュニケーションが重要となることが理解できたか。 ・中高年を健康的に過ごすための社会的な取り組みについて理解できたか。	2
	・中高年期と健康	・年をとることに伴う心身の変化にはどのようなものがあるか説明できるようにする。中高年を健やかにすごすための社会的な取り組みについて理解する。		2
７月	1学期期末考査	1学期の範囲から出題		
	答案返却			
９月	・医薬品とその活用	・医薬品の正しい使用方法について説明できるようになり、医薬品の安全性を守る取り組みについて正しい知識を身につける。	・医薬品の正しい使用法が説明できるようになり、安全性を守る取り組みについて理解できたか。　・医療サービスや保健行政について理解できたか。	2
	・医療サービスとその活用	・様々な医療機関の役割について理解し、医療サービスを受けるときの留意点を挙げることができるようになる。病院の選び方について考えお互いの意見を交換し合う。		2
	・保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できるようになるとともに、現在自分が活用している保健サービスにはどのようなものがあるかを調べる。		1
１０月	・さまざまな保健活動や対策	・民間機関、国際機関などさまざまな保健活動や対策について説明できるようにする。これらの活動はヘルスプロモーションの考え方にもとづいていることを理解する。	・まなざまな保健活動がヘルスプロモーションの考え方に基づいていることを理解できたか。 ・大気汚染の原因について理解し、地球規模の問題に発展していること理解できたか。	2
	・社会生活と健康 ・大気汚染と健康	・大気汚染の原因とその健康影響を身の回りから考え、地球規模での環境問題に広がっていることを学ぶ。		3
１１月	・水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁と土壌汚染の原因とその健康影響を説明することができるようになる。公害である水俣病とイタイイタイ病を学び、環境がおよぼす健康への影響を考えられるようになる。	・水質汚濁と土壌汚染について理解し、健康被害を二度と出してはいけないことを実感できたか。　・健康被害への対策を説明できるようになったか。	
	・健康被害の防止と環境対策	・現在問題となっている環境汚染の特徴やその原因について説明できるようにし、取り組まれている様々な対策について説明できるようにする。		
１２月	2学期期末考査	2学期の範囲から出題		
	答案返却			
	・ごみ処理と上下水道の整備	・ごみ処理の現状やその課題について調べ、ごみの分別や処理場の問題について考えることができるようにする。安全で質の良い水を確保するしくみと課題を考えられるようにする。	・ごみ処理の現状を理解し、自らの問題としてごみ問題をや水の処理の問題を捉えられるようになったか。	1
１月	・食品の安全を守る活動	・行政や生産・製造業者による食品の安全のための対策について学ぶ。食品の安全のために消費者が行うべきことを考え、説明できるようになる。	・食品の安全な提供についてりかいできたか。 ・広告や表示が及ぼす影響について理解できたか。	2
	・食品やサプリメントについての味方を調べる	・食品として販売されているものの表示や広告に著しく事実に相違するものや、誤認するものは健康増進法において規制の対象になっていることをまなぶ。		2
２月	・働くことと健康	・働く人の健康問題がどのように変化してきたかを説明できるようにする。労働災害を防ぐための取り組みにはどのようなものがあるかを理解する。	・働くことについて理解し、働くことによる健康問題がどのように変化してきたかが理解できたか。　・労働と余暇の関係について理解できたか。	1
	・働く人の健康づくり	・職場が行う健康増進対策についてどのようなものがあるか考え、余暇の大切さと活用方法について説明できるようにする。		2
				2
３月	学年末考査	3学期間の範囲から出題		
	答案返却			

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(体育)　単位数：3単位　対象：(第3学年A組～F組)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「体育」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	3
	男子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	6
5月	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
6月	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	男子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
7月	女子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	3
	男子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	6
9月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
10月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
11月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
12月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子水泳	・各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ・水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性）	4
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
1月	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
2月	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
3月	女子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	1
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	1
	選択球技 （バドミントン） （テニス） （卓球）	・状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(スポーツⅠ)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「スポーツⅠ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
5月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
6月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
7月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
9月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
10月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
11月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
12月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
1月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
2月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	6
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・体つくり運動の行い方、、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、高め方、自己や仲間の課題	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	3
3月	ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊るようにする。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	体つくり運動	・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2
	陸上 （競走）	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(体育)科目：(スポーツⅡ)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

使用教材：ステップアップスポーツ（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「スポーツⅡ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
5月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
6月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
7月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
9月	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
月	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
10	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	8
11	男子球技 （バスケットボール）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
月	女子球技 （サッカー）	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
12				
1月	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
2月	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	6
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	6
3月	女子球技 （バドミントン）	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4
	男子球技 （ソフトボール）	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	運動技能・技術の習得 授業態度（意欲・協力・積極性） 出欠席・遅刻・見学	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(コミュニケーション英語Ⅰ)　単位：3単位　対象：(第1学年A組～B組)

使用教科書：BIG DIPPER English Communication Ⅰ（数研出版）

使用教材：BIG DIPPER English Communication Ⅰベーシックノート（数研出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「コミュニケーション英語Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	Lesson 1 コミュニケーション PART 1	高校入学に伴う学習者の悩み「友達の作り方」をテーマに、コミュニケーションのあり方について考える。本文内容を評価しながら読む習慣も指導する。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
		現在形・過去形 未来を表す表現 現在進行形・過去進行形の確認と理解 音節とアクセント	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 2		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
5月			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	Lesson 2 生活・異文化理解 PART 1	誕生日の祝い方や成人の儀式など、世界の事例を通して異文化理解を体験させる。 この課を通してインタラクティブな英語活動を展開する。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
		名詞・代名詞 動名詞の理解と確認 フレーズ読み	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 2		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
6月	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	Lesson 3 PART 1	紀行文を模した英文をモデルに、人の体験を読む上で知っておきたい描写表現、自身の体験を書く上で有用な描写表現を学習する。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	受動態 五文型理解と確認 英語のリズム	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
7月	Lesson 4 PART 1	漫画家手塚治虫が描きたかった「生命の尊厳」を、様々なエピソードを通して考える。また、手塚自身による高校生へのメッセージを通して、職業選択について考える。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	不定詞の形容詞、副詞の用法 分詞の用法の理解と確認 文のアクセント	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
9月	Lesson 5 PART 1	身の回りのデザインについて、多様な人々に対応するための工夫を考える。また、デザインを通して、よりよい社会について議論する。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	比較について 現在完了の理解と確認 弱く発音される語の変化	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	Lesson 6 PART 1	日本初の盲導犬・チャンピィが誕生するまでのエピソードを通して、盲導犬の必要性を考える。また、初めてのことに挑戦することの困難さと、それを乗り越えることの重要性について考える。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
10月	PART 2	関係代名詞　who、which、that 過去完了の理解と確認	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	Lesson 7 PART 1	脳は間違って結論に飛躍することがある。この事実の学習を通して、自身の思い当たるエピソード等を表現させる。また、読解指導に際してはつなぎ表現などに注目し、論理的展開を意識させる。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	不定詞を含む文型 文と文をつなぐ語句の理解と確認	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
11月	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	Lesson 8 PART 1	物語の筆者"I"と手紙の筆者JIM。2人の語りで展開するストーリーから、平和の尊さや、人と人との心の交流を読み取りさせたい。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	現在・過去完了進行形 助動詞を含む受動態 関係代名詞what　分詞構文の理解と確認	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
12月	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	FUNCTION１－２	コミュニケーションのための知識練習。「誘う」、「同意する」、「断る」の表現演習 「依頼する」、「許可を求める」の表現演習	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	3
	FUNCTION３－４	「興味・関心を示す」、「ほめる・感謝する」の表現演習 「感情を表す」、「同情すす」の表現演習	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	3
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	
1月	Lesson 9 PART 1	どのスポーツにも起源があり、興味深いエピソードがある。本課では、駅伝・マラソンについて取り上げる。情報を整理しながら読み進める習慣を身につけさせたい。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	関係副詞　where、when 形式主語　It　is～that 強調構文　It　is～that LとRの音	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
2月	Lesson１０ PART 1	フードマイルズを通して、日本、そして世界が抱える食糧・環境問題について考える。グローバルな視点を踏まえ、身近に始められるローカルな活動について発表させたい。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 2	仮定法過去 関係副詞　why、how 間接疑問文のまとめの理解と確認	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 3		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
	PART 4		観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	1
3月	READING	大津波で孤児となったカバの赤ちゃん・オウエンと、ゾウガメ・ムゼンの不思議な絆。友人の存在のありがたさについて考えさせたい。	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
		英語のイントネーションまとめ	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2
			観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(コミュニケーション英語Ⅱ)　単位：4単位　対象：(第2学年A組～B組)

使用教科書：（○○出版）

使用教材：（△□社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「コミュニケーション英語Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	Lesson 1　Sakura	・桜にまつわる意外な事実について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	13
		・SVC(C=現在分詞・過去分詞)，5文型，現在完了・過去完了を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
5月	Lesson 1　Sakura	・自分が知っている桜にまつわる意外な事実をクラスメイトに説明することができる. ・桜守の仕事内容が理解できる.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	15
	Lesson 2 How good is Your Memory? Sakura	・ 暗記法について，またその効果について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.		
		・ 受動態，関係代名詞，関係副詞を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
6月	Lesson 3 When East Met West in the Kitchen	・ 海外から導入され，日本の食卓に定着した料理について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	16
		・ 関係代名詞の継続用法，SVO102(that-節)，SVO(wh-節)を用いて，正しい文を書くことができる.		
	Lesson 4 Space Elevator	・ 宇宙エレベーターについて，また宇宙開発全般について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.		
		・ 関係副詞whereの継続用法，未来進行形，仮定法過去を用いて，正しい文を書くことができる ・ 宇宙エレベーターの可能性について，クラスメイトと意見を交換することができる.		
7月	lesson5 Ueno Takahiro	・世界の舞台で活躍する日本人について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	12
		・ SVOC(C=過去分詞)，仮定法過去完了，分詞構文(現在分詞，過去分詞)を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 自分が知っている世界的に活躍する日本人について，説明することができる.		
9月	lesson5 Ueno Takahiro	・ 筆者が夢を実現するまでに味わったさまざまな感情が理解できる. ・ 筆者がダンスを始めるきっかけとなった出来事が理解できる.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	15
	Lesson 6 Speaking of Fashion	・ ファッションに関するトリビアについて，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする		
		・ 動名詞の意味上の主語，関係代名詞の継続用法，完了不定詞，助動詞+have+過去分詞を用いて，正しい文を書くことができる.		
10月	Lesson 6 Speaking of Fashion	・女性のズボン着用が一般的になった経緯が理解できる. ・ 男性のスカート[キルト]着用が見られるスコットランドの風習が理解できる.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	14
	Lesson 7 The Whimsical Robot	・ 星新一氏の作品について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.		
		・ 仮定法 as if，仮定法 if S’ were to ～ を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
11月	Lesson 7 The Whimsical Robot	・ エヌ氏がロボットを購入した目的が理解できる. ・ ロボットにより，エヌ氏の休暇がどのようにものになったかが理解できる.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	14
	Lesson 8 The Psychology of Shopping	・ 販売員がよく使うセールスの手法について，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする		
		・ 進行形の受動態，形式目的語(to-不定詞/that-節)，省略を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
12月	Lesson 8 The Psychology of Shopping	・ 本文中で紹介される4つ手法がそれぞれどのようなものかが理解できる. ・ 買い物が，売り手と買い手の駆け引きで成り立っていることが理解できる.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考	13
		・既習の事項を使って、協力して言語活動を楽しむことができる。		
1月	Lesson 9 A Bridge to the Future for Orangutans	・ 絶滅の危機に瀕した動物を保護する活動について，知っていることを発言できる。 ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	10
		・ used to，関係副詞whenの継続用法，同格を表すof/thatを用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
2月	Lesson 10 Floating Education	・ 環境や教育の問題について，知っていることを発言しようとする. ・感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	12
		・未来完了，SVC(C=that-節)，無生物主語を用いて，正しい文を書くことができる. ・ 各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる.		
3月	Reading Annemarie’s Basket	・ 第二次世界大戦中のヨーロッパについて，知っていることを発言しようとする. ・ 本文を読んだ後に，感想を発表しようとしたり，人の発表をしっかり聞こうとしたりする.	観察(発言・発表) ノート、ベーシックノート 単語テスト、定期考査	6
		・第二次世界大戦について，また当時のナチス迫害の悲劇について知っている. ・ 戦争や平和についての基本的な知識をもち，平和の重要性を理解している.		

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(英語Ⅱ)　単位：2単位　対象：(第3学年選択者)

使用教科書：

使用教材：（スーパー英文読解　英語を自動化するトレーニング　基礎編　アルク）（英字新聞　Catch a Wave 浜島書店）
（フレーズで英単語3000　浜島書店）（大学入試センター試験問題）（その他ワークシート教材）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「英語Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	長文読解	英和辞書を使いながら、150～300語程度の長文を読んで、概要や要点をとらえることができる。	ワークシート	2
	自動化するトレーニング	発音の特徴や基本的な文章のリズムやイントネーションをとらえて聞き、話すことができる。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
5月	長文読解	接続詞や言い換えの表現等に注意しながら英文の論理展開を理解することができる。	ワークシート	2
	自動化するトレーニング	英文をフレーズ毎に適切な速度と音量で音読することができる。また、既習事項をディクテーションして正しく書ける。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
6月	長文読解	英文を聞いて場面設定が分かる。既習語句や表現、文法事項を活用して最も正しい答えを選ぶことができる。	ワークシート	2
	自動化するトレーニング	英文をフレーズ毎に適切な速度と音量で音読することができる。また、既習事項をディクテーションして正しく書ける。	ノート提出 発問	2
	自動化するトレーニング	300語程度の英文を読んで、概要や要点をとらえることができる。またその英文についてワークシートを活用して要約文が書ける。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
7月	長文読解	英文を聞いて場面設定が分かる。既習語句や表現、文法事項を活用して最も正しい答えを選ぶことができる。	ワークシート	2
	自動化するトレーニング	300語程度の英文を理解し、登場人物の感情を表現しながら音読することができる。英文についてワークシートを活用して要約文が書ける。	ノート提出 発問	2
	自動化するトレーニング	物語の展開を理解し、単語の発音に気をつけてペアで音読することができる。またその英文についてワークシートを活用して要約文が書ける。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
9月	リスニング	アナウンス放送や対話を聴いて、未知の語句等があっても推測をしながら要点をメモすることができる。	ワークシート 発音練習	2
	自動化するトレーニング	英文を読んで、単語の発音や文章のリズム、イントネーションに気をつけて音読することができる。読んだ英文について内容を的確にとらえ、書くことができる。	ノート提出 発問	2
	自動化するトレーニング	筆者のように感情をこめて音読することができる。また既習の語句や表現、文法事項を活用して英文の要約文を書くことができる。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
10月	リスニング	アナウンス放送や対話を聴いて、未知の語句等があっても推測をしながら要点をメモすることができる。	ワークシート 発音練習	2
	自動化するトレーニング	英文を読んで、単語の発音や文章のリズム、イントネーションに気をつけて音読することができる。読んだ英文について内容を的確にとらえ、書くことができる。	ノート提出 発問	2
	自動化するトレーニング	500語程度の英文を読み、キーワードを用いて概要を述べたり、要約文が書ける。未知の単語があっても、前後の文脈を考えて内容を推測することができる。	ノート提出 発問	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
11月	ライティング	ある主題について既習の語句や表現を活用し、考えをまとめて書くことができる。		2
	自動化するトレーニング	500語程度の英文を読み、キーワードを用いて概要を述べたり、要約文が書ける。未知の単語があっても、前後の文脈を考えて内容を推測することができる。		2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。		2
12月	ライティング	ある主題に対して、ペアやグループで意見の交換をすることができる。論理的に考えをまとめて200～300語程度の英文で表現することができる。	ワークシート	2
	長文読解	英和辞書を活用しながら時事ニュースを英語で読み、概要をとらえることができる。読んだ記事について自分の言葉で説明したり、ペアやグループで考えを述べ合うことができる。	ワークシート	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
1月	ライティング	ある主題に対して、ペアやグループで意見の交換をすることができる。論理的に考えをまとめて200～300語程度の英文で表現することができる。	ワークシート	2
	長文読解	英和辞書を活用しながら時事ニュースを英語で読み、概要をとらえることができる。読んだ記事について自分の言葉で説明したり、ペアやグループで考えを述べ合うことができる。	ワークシート	2
	長文読解	英文の論理展開を理解し内容をとらえることができる。未知の語句等にとらわれずに推測しながら英文を聞き、質問に正しく答える。	ワークシート	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2
2月	ライティング	ある主題に対して、ペアやグループで意見の交換をすることができる。論理的に考えをまとめて200～300語程度の英文で表現することができる。	ワークシート	2
	長文読解	英和辞書を活用しながら時事ニュースを英語で読み、概要をとらえることができる。読んだ記事について自分の言葉で説明したり、ペアやグループで考えを述べ合うことができる。	ワークシート	2
	英単語力強化	単語の発音をよく聞いて正しく発音することができる。また、それぞれの語句や表現を身につけている。	単語テスト 発音練習	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(英語会話) 単位数:2　対象：(第1学年A組～B組)

使用教科書：Hello there! 東京書籍

使用教材：Hello there! Work book. 東京書籍

	指導内容 【年間授業計画】	科目「英語会話」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	Unit1/Lesson1 Nice to meet you.	・自分を紹介する ・聞き返す ・あいさつをする ・意味を尋ねる、説明する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	6
	Unit1/Lesson2 Hello, friends!	・許可を求める、与える ・相手について尋ねる、答える ・リストアップする	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
5月	Unit1/ sakura's adventure episode	・入国審査の表現を覚える	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	4
	Listening Pilot Lesson1～3	・説明を聞き取る ・家族の紹介を聞きとる ・スケジュールを聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
	Unit2/lesson3 My favorite music	・意見をいう ・リストアップする	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
6月	Unit2/Lesson4 We are you crazy about?	・リストアップする ・興味、関心を伝える ・誘う、誘いを断る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	8
	Listen up 2	・説明を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
	sakura's asventure episode 2	・買い物の表現を覚える	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
7月	Listening Pilot Lesson4～5	・スケジュールを聞き取る ・ビデオレターを聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	3
	Listening Pilot Lesson6～7	・コマーシャルを聞き取る ・状況描写を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
	Listning Pilot Lesson8	話し手の気持ちを聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
9月	Unit3/ lesson5 A friendly potluck dinner.	・許可を求める、許可する、許可しない ・説明する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	9
	Unit3/ lesson6 Are you all right?	.・同情する ・事情を理解する ・助言する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
10月	Unit3 salura's adventure episode3	・レストランの注文を覚える	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	4
	Lisning Pilot 8～10	・話し手の気持ちを聞きとる ・スピーチを聞き取る ・説明文を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
	Unit4/Lesson7 Talking about our town	.・描写する ・距離、方角、場所の特徴を説明する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
11月	Unit4/Lesson7 Talking about our town	・描写する ・距離、方角、場所を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	7
	Unit4/Lesson7 Traditional culture	・予定を尋ねる ・予定を答える ・習慣を尋ねる ・説明する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
12月	sakura's asventure episode 4	・道案内をする	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	5
	Listening Pilot11～14	・対話の流れを聞き取る ・対話を聞き取る ・対話の要点を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
1月	Unit5/Lesson9 Equal Roles	・感想、感情を述べる	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	6
	Listning Pilot 15	・電話の対応を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
2月	Unit5 / Lesson 10 Helping each other	・推測する ・描写する	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	7
	Listen up 5	・対話の流れを聞き取る ・対話を聞き取る ・対話の要点を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	
3月	Listenig Pilot16～１７	・対話の流れを聞き取る ・対話を聞き取る ・対話の要点を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	3
	Listening Pilot 18～20	・留守番電話の内容を聞き取る ・発言を聞き取る	定期考査 観察（発言・発表など） 小テスト 提出物	

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(英語表現Ⅰ)　単位：2単位　対象：(第2学年選択者)

使用教科書：New Favorite　English Expression（東京書籍）

使用教材：なし　適宜プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目「英語表現Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	L.1　動詞と文構造（1）	SV,SVC,SVOの文型が理解でき、シンプルな文で自己紹介ができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
	L.2　動詞と文構造（2）	SVOO, SVOCの文型が理解でき、電話での特有の言い回しが表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
	L.3　動詞と時制（1）	現在形、現在進行形の用法が理解でき、手紙での特有の言い回しが表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
5月	L.4　動詞と時制（2）	過去形、過去進行形の用法が理解でき、インタビューでの定型の言い回しが表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.5　動詞と時制（3）	willとbe going toの違いが理解できる。近い未来の予定や確定した未来を表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.6　完了形（1）	現在完了形と現在完了進行形の用法の違いが理解できる。スピーチに特有の言い回しを表現できる。	中間テスト	2
	L.7　完了形（2）	過去完了形と過去完了進行形の用法の違いが理解できる。Eメールに特有の言い回しを表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
6月	L.8　助動詞（1）	いろいろな助動詞が使われている文の意味が正確に理解できる。ブログの書き方や文章構成の工夫を表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
	L.9　助動詞（2）	（1）よりも微妙なニュアンスで助動詞が使われていることが理解できる。実況中継に特有の言い回しを表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
	L.10 受け身	受け身と受け身を用いた慣用表現が理解できる。日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を表現できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	1.11 不定詞	to不定詞を使って文を作ることができる。広告を読み商品の特徴を読み取ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
7月	L.12 動名詞	動名詞を使った文を正しく理解することができる。４コマ漫画を読みオチを読み取ることができる。	期末テスト	2
9月	L.13 分詞（1）	現在分詞と過去分詞を使い分け正しく名詞を修飾することができる。レシピから料理の作り方を正しく理解することができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.14 分詞（2）	分詞構文の文を理解し作ることができるできる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.15 知覚動詞・使役動詞	知覚動詞・使役動詞を使ったSVOCの文を理解することができる。新聞記事から情報を読み取ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
10月	L.16 関係代名詞	関係代名詞を使った文を正確に理解できる。取扱説明書を読んで使い方や注意事項を正確に読み取ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	1.17 関係副詞	関係副詞を正確に使い分けることができる。ガイドブックから必要な情報を読み取ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.18 関係代名詞・関係副詞	関係詞の制限用法と継続用法の違いを理解できる。関係代名詞と関係副詞の違いを理解し使い分けることができる。	中間テスト	3
11月	L.19 接続語句（1）	それぞれの接続詞の意味や効果を理解できる。調べたことの内容をまとめて発表することができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	L.20 接続語句（2）	それぞれの接続詞の意味や効果を理解できる。関心のあるニュースについて原稿を書き発表することができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
12月	L.21 仮定法（1）	仮定法過去と仮定法過去完了の違いを正確に理解できる。環境問題について関心を持つ。	期末テスト	3
1月	L.22 仮定法（2）	as if ～ と I wish ～ の表現の使い方を理解できる。インタビューを聞き大切な情報を聞き取ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
	1.23 比較（1）	比較表現（同等比較・比較級・最上級）を理解し、それを使って文を作ることができる。発表原稿から主題の特徴を理解できる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	3
2月	L.24 比較（2）	倍数表現が理解できる。最上級の内容を原級や比較級を用いて書き換えることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	4
	1.25 時制の一致と話法	時制の一致に注意して話法を含んだ文を理解し作ることができる。	小テスト 指名して黒板に書かせる	2
3月	1.25 時制の一致と話法	直接話法と間接話法の違いを理解し正しく書き換えることができる。	学年末テスト	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(外国語)科目：(リーディング)　単位：3単位　対象：(第3学年A組～B組)

使用教科書：（○○出版）

使用教材：（△□社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「リーディング」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	STAGE1　READING1 Confusion between Languages	［主語＋動詞］ 過去完了、finish ～ingとtry to ～	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING2　A Misspelled Letter	「理由」を示す表現 接触節（または目的格関係代名詞の省略）、命令文	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING3　″People Watching″ on Tokyo Trains	［時間」や［頻度」についての表現 have passed…～（過去形）、現在分詞の形容詞用法（前置）	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
5月	READING4　The Bear and the Travelers	文中の［重要な語」を探す 過去進行形、代名詞oneとthe other	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING5　Pet's Effect on Health	［話題文」と「支持文」 Some … Others ～およびwithとwithoutによる対比表現	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING6 One Swallow Does not Make a Summer	［話題文」とその「具体例」 助動詞を用いた文の受動態、形式主語it	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
6月	READING7 Record Breaking Birds	「つなぎ表現」 関係代名詞（主格）、比較表現	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING8　Test Your Limits! - The Bob Wieland Story -	２つ以上［主部＋述部］がある文 副詞節中の〈主語＋be動詞〉の省略、付帯状況を表すwith	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING9 Why Do Cats Play?	文中の「問いかけ」と「答え」 知覚（感覚）動詞＋O＋原形不定詞、付帯状況を表すwith	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
7月	READING10　An Appointment with Death	「事柄の起きた順」に書く構成法 分詞構文（付帯状況）、〈as＋形容詞・副詞＋as＋主語＋can〉	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
9月	STAGE2　READING11 The King and His Soldier	「原因」と「結果」の関係 関係代名詞の制限用法、〈either A or B〉	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING12　Why did Something Strange Happen?	比較・対照を示す表現 接続詞としてのasの用法、関係代名詞の非制限的用法	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING13　Cashier Defeats Gunman	命令文 過去完了、結果を表す〈so A that B〉	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
月	READING14 Deep Impact	「倒置」の表現 分詞の限定（形容詞）用法、婉曲的なwouldの用法	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING15　Food Shortage: What do you think?	「原因」と「結果」の関係 ディスカッションでよく用いられる基本的な表現	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
10	READING16 Doctors Without Borders	ことばを定義していく表現 時制の復習、間接疑問文	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING17 The Capricious Robot	「時間を表す語句」 動名詞表現、仮定法過去	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
11月	READING18 A Real Superman	出来事や行動を列挙する表現 不定詞の副詞用法（目的）、受動態	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	STAGE3　READING19 I Have Never Seen You Before	［物語］ 同格の名詞相当語句、分詞構文	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
12月	READING20　Fine Arts of the East and the West	［評論・ホームページ］ 疑問詞を使った疑問文へのdo you thinkの挿入	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING21 Mottainai - A Speech by Wangari Maathai -	［人物伝・環境問題］ 等位接続詞	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
1月	READING22 The Cornerstones of Peace	［評論］ 感情をこめた表現	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING23 The Day I Met My Mother	［物語］ 時の経過を表す表現	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
	READING24 The Oldest Refrigerators	［評論］ 関係代名詞の非制限的用法	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4
2月	READING25 The Last Fan	［物語］ 時の経過を表す表現 過去完了、find oneself -ing	観察（発言等） ノート提出 小テスト 定期考査	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(家庭)科目：(家庭基礎)　単位：2単位　対象:(第2学年A組～F組)

使用教科書：家庭基礎（開隆堂出版）

使用教材：生活ハンドブック（一橋出版社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月 5月	家庭基礎の学習について	①家庭基礎を学習するにあたって、学習の意義や・内容・方法・評価につてい理解する。②生活事象や総合的・多面的にとらえ、自分の家庭環境と他者のを交流しながら学び、比較し、自分の意見や将来の家庭像を築く力を養う。		2
	食事と健康 ①栄養と食事 ②食品と調理	①青年期と各ライフステージの栄養的な特徴について理解する。②食生活に関心を持ち、食事の重要性について考える。③現代の食生活の問題を理解して、自分のこととととらえる。④食品の栄養的特徴と調理上の性質理解し、目的を明確にした調理実習を通して、調理技術を習得する。⑤食品の選択と衛生につてい関心を持ち必要な知識を身に付ける。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	14
6月	青年期の自立と家族・家庭 ①これからの人生 ②青年期の自立 ③人生の課題と意思決定	①生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。② 長い人生の中，青年期にある自分を見つめなおすことを通じて，これからの人生をどう生きていくかを考える③生涯を見通した中で，青年期の具体的な生き方や自分自身を見つめ直すことを通じ，これからの生き方や方向性について考える。④ 家族の機能は時代とともに変化していく現状を理解し，これから求められる家族の機能について考える。⑤ 生涯を見通して，生活課題に対応した意思決定をし，責任をもって行動することが重要であることを理解する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	7
7月	高齢期を見通す	①身のまわりの人びとに視野を広げ，高齢期の身体的および心理的特徴について理解し，現状の課題について考えさせる。② 超高齢社会を迎えている現状と課題について理解し，対策を考える力を養う。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	3
9月	被服の管理と着装 ①被服の機能と着装	①被服の起源をひもとき、被服の社会的習慣への適応などの社会的機能を理解する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	2
	被服の管理と着装 ②被服の管理と計画	①被服の材料の性能や構成などを理解し、被服の手入れ、洗濯、保管の技術を習得する。 ②被服実習を通して、高校生の着装に興味を持ち自分らしい着装につて考える。　③組成表示や取り扱い絵表示を理解し、快適な衣生活を送る態度を育てる。		10
10月	消費者としての自立と社会参加	①消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する知識を身に付ける。 ②適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることを理解する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	6
11月	生涯の経済計画	生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済の関わりにつてい理解する。 ②誰にでもリスクが発生する可能性があることを認識し、それに備える方法を考える。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	4
12月	ライフスタイルと環境	環境問題や資源エネルギー問題が生じていることを理解し、生徒自らの行動によって環境負荷の少ない生活を送ることができ、地球規模の環境問題に主体的に取り組む姿勢を養う。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	2
1月	次世代を育む ①子供と関わる②子供の育つ環境	①子供の健全な発達を支える親や周りの大人の役割について考える。 ②家庭生活が果たす重要性について理解する。 ③子育てに関する社会的支援や社会の一員として身近な子供の関わりにつてい考える。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	8
2月	住居と住環境 ①ライフステージと住まい ②快適で安全な住まい ③住まいの環境	①住まいや家族の生活を各ライフステージに応じて考える。特に高校生が直面する住生活に関する問題を理解し、対応する力を養う。 ②地域コミニティーと共生できる住生活を考える。 ③安全で快適な住生活を送るための知識を習得する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	8
3月	共生社会と福祉 ①家族・家庭と社会的支援 ②共生とコミニュティ	①生涯を通して家族・家庭の生活を支える仕組みについて特に福祉や社会的支援につてい理解する。 ②ノーマライゼイションの理念を土台とした社会を作ることが重要であると理解する。	①プリント課題②観察（発言、授業に取り組む態度）③実習に取り組む姿勢④期末考査	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(家庭)科目：(生活文化)　単位：2単位　対象:(第3学年選択者)

使用教科書：新家庭基礎（教育図書出版）

使用教材：生活ハンドブック（第一学習社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「生活文化」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	食生活	①５大栄養素である炭水化物の働きと、それを多く含む食品について、その特徴を理解する。 ②食事摂取基準につてい理解し、望ましい食生活について考える。 ②調理実習を通して基礎的な調理技術について習得するとともに、安全な食生活を考える。	ワークプリント、調理実習実技、定期考査	7
5月	食生活	①５大栄養素である脂質の働きと、それを多く含む食品について、その特徴を理解する。 ②食中毒につて正しく理解し、調理実習を通じて基礎的な調理技術を高める。	ワークプリント、調理実習実技、定期考査	7
6月	食生活	①５大栄養素であるたんぱく質の働きと、それを多く含む食品について、その特徴を理解する。　②消化吸収の仕組みを理解し、調理実習を通して安全に配慮した調理をする姿勢を育てる。	ワークプリント、調理実習実技、定期考査	9
7月	青年期の自立と家族・家庭	①生涯を見通した中で、青年期の具体的な生き方や自分自身を見つめ直すことを通じて、これからの生き方や方向性を考える。②個々の生活課題に対して、意思決定の重要性を理解し責任を持った行動する姿勢を養い、人生における大きな意思決定の一つである職業選択を考察する。	ワークプリント、感想文、定期考査	6
9月	衣生活	①被服実習をとおして、ファッション産業の概略や、その仕組みを理解するとともに基礎的な被服技術を習得する。	ワークプリント、被服実習実技、作品提出	7
10月	消費者としての自立と社会参加	①生活の中での意思決定の重要性を理解し、現代社会の様々な悪徳商法に対応する知識を深め、現実に対応できる対応能力を育成する。	ワークプリント、感想文	9
11月	子供の発達と保育	①子供の心身の特徴や発達、遊びの意義などをとらえ、子供にとって良い環境につてい考え、生徒が自分なりの意見を持つ姿勢を養う。　②親の役割や子供を生み育てることの意義を学ぶ。	ワークプリント、感想文、作品提出	8
月	子育てを支える社会の仕組み	子供をとりまく環境の変化や、子育てに関わる問題点を学び、子育てを支援する仕組みを理解する。	ワークプリント、感想文	4
1月	高齢者と共生社会	①『高齢者』を自分の将来像として考えることを通して、高齢者福祉の仕組みやあり方を理解する。	ワークプリント、感想文	6
2月	課題研究	今までに学んだ家庭生活の学習の中から自分が興味のある、テーマを一つ選び、多面的に調べ自分の意見を持つ。	プレゼンテーション	6
3月	課題研究	自分の選んだテーマについて発表する。他の人の発表を聞き、自分の意見を持つ。	プレゼンテーション	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(芸術)科目：(音楽Ⅰ)　単位：2単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：高校生の音楽１（友社）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「音楽Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	青春と音楽 翼をください 春への憧れ 少年時代 風になりたい ・歌うことの楽しさを感じ取らせる ・呼吸法，口形，共鳴など発声の基本を学習する ・読譜力の伸張を図る ・ポピュラー音楽の概要を学習する 言葉を生かしたメロディーをつ	・歌唱や創作の諸活動を通して，歌唱技能の基本や，簡単なリズムのつくり方を学び，音楽の楽しさを味わう。 ・歌唱することに喜びを感じ，正確な読譜や適切な発声に努めることに主体的に取り組ませる。 ･言葉のリズムや抑揚に関心をもち，意欲的にメロディーを創作できる。 ・楽譜を見て音程，リズム，テンポ，表情等を把握し，しっかりとした発声で，より楽しく歌唱する表現の工夫できる。 ・言葉のリズムや抑揚の特徴や雰囲気を知覚し，それを表現に生かそうとする。 ・しっかりとした発声で，楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付ける。 ・言葉のリズムや抑揚を生かして創作する技能を身に付ける。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】	7
5月	民族と音楽（1）日本の音楽 小さな空 風の子守歌 ソーラン節 南部牛追歌 ・曲種に応じた発声の特徴を生かし，表現を工夫して歌う ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取って鑑賞する ・わが国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞する。	・歌唱・器楽・鑑賞の諸活動を通して，日本の様々な音楽に触れ，その良さや美しさを感じ取る。 ･曲想と歌詞の内容や文化的背景，及び民謡の発声の特徴に関心をもち，イメージをもって歌唱しようとする。 ・声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらのつくり出す雰囲気を歌詞の内容や文化的背景と関連付けながら，発声の特徴を生かして表現しようと工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するために必要な発声を含めた技能を身に付けてる。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り，わが国や郷土の音楽の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
6・7月	人間と音楽 夏の思い出 フィンランディア So ben mi ch'à bon tempo ふるさと ・曲種に応じた発声の特徴を生かし，表現を工夫して歌う ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取って鑑賞する ・わが国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞する。	・歌唱や鑑賞を通して様々な合唱音楽を体験し，その表現方法や良さを味わう。 ･様々な形態の合唱がもつ，それぞれの良さや持ち味に関心をもちながら歌う学習に，主体的に取り組む。 ･楽曲の文化的･歴史的な背景や声の音色と表現上の効果に関心をもって主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きを感受し，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連付けながら，表現しようと工夫できる。 ･様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現するための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，楽曲の文化的･歴史的背景を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	14
9月	器楽 トリスタンの嘆き 愛のあいさつ シチリアーナ ・ギター，リコーダーの基礎的な奏法の実習 ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・簡単な器楽曲の創作 ･楽器の音色や奏法と楽曲の背景をとらえた鑑賞	・器楽の実習を通して楽器の表現に親しみ，技能の伸長をはかるとともに，その特長を生かした表現の良さを味わう。 ・楽器の音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組む。 ・様々な方法によるメロディー創作に主体的に取り組む。 ・声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫できる。 ・モティーフや和音の働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら，表現意図をもって創作できる ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素の働きをとらえ，それを生かして創作する技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，楽曲の文化的･歴史的背景を理解し，作曲者･演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
10月	民族と音楽（2）世界の音楽 花まつり 'O sole mio He's got the whole world in His hands ・曲種に応じた発声法の工夫 ・楽曲の背景と曲想とのかかわりを意識した表現の工夫 ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・歌唱や鑑賞を通して，世界の音楽の種類や特徴を理解し，その良さを味わう。 ･地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち，意欲的に歌唱しようとする。 ・声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようする。 ・地域や民族による特徴的な音楽的要素（音階･リズム等）を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって歌唱する工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，楽曲の文化的･歴史的背景を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
11月	芸術と音楽（1）劇音楽 I Could Have Danced All Night Tonight ホール・ニュー・ワールド Oh Happy Day ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ･劇や物語と音楽とのかかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞 ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・声や楽器を組み合わせて演奏したり，様々な音素材を用いた創作を通して，それらに必要な技能を身に付けイメージをもって表現する。 ･劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち，意欲的に歌唱したり，演奏したり，鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって歌唱する工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，作曲者･演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，良さや美しさを味わうことができる。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
12月	アンサンブルを楽しもう Football Canon 野菜の気持ち ･声や楽器の音色，奏法，それらの組み合わせを生かしたアンサンブル活動 ･様々な音素材による音楽づくり ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・声や楽器を組み合わせて演奏したり，様々な音素材を用いた創作を通して，それらに必要な技能を身に付けイメージをもって表現する。 ・楽器の音色や奏法および，それらの組み合わせの面白さに関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫をしている。 ･音素材の特徴を生かして，反復，変化，対照などの構成を考え，表現したい音楽をイメージし，表現を工夫して音楽を作ろうとしている。 ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 ･音素材の特徴，反復，変化，対照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。　　･音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
1・2月	芸術と音楽（2）独唱 Heidenröslein Heidenröslein 喜びの歌 Caro mio ben ･芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ･芸術歌曲の鑑賞と批評	・歌詞の内容や楽曲の背景を研究し，必要な技能を身に付け，イメージをもって表現したり，楽曲の価値を感じ取る。 ･曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち，イメージをもって歌唱したり，鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り，音楽表現を工夫できる。 ･曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り，イメージをもって音楽表現するために必要な発声，発語，読譜等を身に付け，創造的に表現できる。 ･音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わうことができる。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	14

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：（芸術）科目：（書道Ⅰ）　単位：2単位　対象：（第1学年A組～F組）

使用教科書：書１（光村）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「書道Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	書道の世界にふれよう（p2-5） ・ 小・中学校の国語科書写で学習した内容や，基本的な点画の種類を確認する。 ・ 文字を書くときの姿勢・執筆を確認し，目的に応じて幾つかの方法があることを知る。 ・ 筆・墨・硯・紙の特徴を知る。	・ 中学校までに学習した基本的な事項を確認させる。 ・ 基本的な姿勢・執筆や用具・用材を理解させる。	【技】中学校までに学習した姿勢・執筆や基本点画等を確認し，身につけている。 【技】用具・用材の特徴を確認し，理解している。 【関】文房四宝に関心をもっている。	1
	表現の違いを知ろう ・ 用具・用材や用筆，書く速さの変化等による表現の広がりを知り，その効果の違いを理解する。	**・用具・用材や用筆を変えることによる表現の違いを感じ取らせる。**	【関】多様な表現に関心をもっている。 【想】用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り，表現を工夫しようとしている。	2
	自分の表現につなげよう ・ 古典の臨書や鑑賞によって表現の基礎を学ぶことができ，それによって創造性豊かな表現が生まれることを理解する。	**・古典の鑑賞および臨書を表現に生かすことの大切さを理解させる。**	【関】古典の鑑賞と臨書に関心をもっている。 【鑑】鑑賞と表現が相互に関連し合うことを理解している。	2
	漢字の書体の変遷を知ろう。 ・ 漢字の五書体が登場する時代について知り，書体の特徴と変遷を理解する。	**・漢字の書体の変遷について理解させる。**	【関】漢字の書体の特徴に関心をもち，意欲的，主体的に理解しようとしている。 【鑑】漢字の書体の変遷を理解している。	2
5月	楷書を学ぼう ・ 楷書の特徴を理解する。 ・ 楷書の成立過程を確認する。 ・ 楷書の中にもさまざまな用筆や味わい（書風）があることを理解する。	・ 楷書の成立過程やさまざまな用筆による味わいについて理解させる。	【関】書風の変化に関心をもち，意欲的，主体的に味わおうとしている。 【技】用筆や字形の違いから書風が変化することを理解している。	1
	「孔子廟堂碑」 ・ 書道史における唐の位置づけを確認する。 ・ 「孔子廟堂碑」と筆者・虞世南について知る。 ・ 拓本について知る。 ・ 「孔子廟堂碑」を鑑賞し，全体的に丸みを帯びた字形やゆるやかな転折，伸びやかな払い等の書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 用筆と字形の特徴を理解し，臨書する。	**・書道史における唐の位置づけと筆者・虞世南について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「孔子廟堂碑」の特徴を理解させる。**	【関】「孔子廟堂碑」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「孔子廟堂碑」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「孔子廟堂碑」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「九成宮醴泉銘」 ・ 「九成宮醴泉銘」と筆者・欧陽詢について知る。 ・ 「九成宮醴泉銘」を鑑賞し，背勢で縦長の字形や，端正で引き締まった結構等の書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 用筆と字形の特徴を理解し，臨書する。	**・筆者・欧陽詢について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「九成宮醴泉銘」の特徴を理解させる。**	【関】「九成宮醴泉銘」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「九成宮醴泉銘」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「九成宮醴泉銘」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「雁塔聖教序」 ・ 「雁塔聖教序」と筆者・褚遂良について知る。 ・ 「雁塔聖教序」を鑑賞し，運筆速度の変化による抑揚に富んだ書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 用筆と字形の特徴を理解し，臨書する。	**・筆者・褚遂良について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「雁塔聖教序」の特徴を理解させる。**	【関】「雁塔聖教序」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「雁塔聖教序」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「雁塔聖教序」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
6月	「顔氏家廟碑」 ・ 「顔氏家廟碑」と筆者・顔真卿について知る。 ・ 「顔氏家廟碑」を鑑賞し，速度や筆圧の変化に富んだ肉太で重量感のある書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 「蚕頭燕尾」の筆使いを確認し，教科書ｐ27の右払い・縦画のはねを毛筆で書く。	・ 筆者・顔真卿について理解させる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「顔氏家廟碑」の特徴を理解させる。	【関】「顔氏家廟碑」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「顔氏家廟碑」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「顔氏家廟碑」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「牛橛造像記」 ・ 書道史における北魏の位置づけを確認する。 ・ 「牛橛造像記」を鑑賞し，鋭い起筆や収筆，筆圧をかけた素早い運筆による力強い点画（方勢）等の書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 初唐の三大家の書風と比較して，「牛橛造像記」の特徴を話し合う。 ・ 用筆と字形の特徴を理解し，臨書する。	**・書道史における北魏の位置づけやその特徴を理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「牛橛造像記」の特徴を理解させる。**	【関】「牛橛造像記」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「牛橛造像記」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「牛橛造像記」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「鄭羲下碑」 ・ 「鄭羲下碑」を鑑賞し，ゆったりとした字形や円勢といわれる用筆等の書風を捉え，ノートにまとめる。 ・ 初唐の三大家の書風と比較して，「鄭羲下碑」の特徴を話し合う。 ・ 用筆と字形の特徴を理解し，臨書する。	**・鑑賞・臨書を通して「鄭羲下碑」の特徴を理解させる。**	【関】「鄭羲下碑」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「鄭羲下碑」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「鄭羲下碑」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「隅寺心経」 ・ 「隅寺心経」を鑑賞し，「般若心経」の概要や，通常の楷書体と比較した写経体独特の字形や筆順について知る。	**・鑑賞・臨書を通して「隅寺心経」の特徴を理解させる。**	【関】「隅寺心経」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「隅寺心経」の特徴を理解し，表現を工夫している。 【技】「隅寺心経」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	行書を学ぼう ・ 行書の成立過程を確認する。 ・ 楷書と比較して，用筆や運筆，造形の違いを確認する。 ・ 行書の成立と王羲之の関係や，「蘭亭序」が尊重され，受け継がれてきた経緯を知る。	**・行書の特徴とその成立過程を理解させる。** **・「蘭亭序」が尊重され，受け継がれてきた経緯を理解させる。**	【関】行書の成立や主な特徴に関心をもち，意欲的，主体的に味わおうとしている。 【鑑】王羲之「蘭亭序」が尊重されてきた経緯を理解している。	1
7月	「蘭亭序」 ・ 「蘭亭序」が書かれた背景と文章の概要を知る。 ・ 「蘭亭序」を鑑賞し，おおらかな運筆や点画の連続を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	・ 筆者・王羲之について理解させる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「蘭亭序」の特徴を理解させる。	【関】「蘭亭序」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「蘭亭序」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「蘭亭序」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「風信帖」 ・ 「風信帖」と筆者・空海について知る。 ・ 「風信帖」を鑑賞し，王羲之や顔真卿の用筆や造形を基調とした重厚感のある書風を捉え，ワークシートに書き込む。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・筆者・空海について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「風信帖」の特徴を理解させる。**	【関】「風信帖」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「風信帖」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「風信帖」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	・「祭姪文稿」 ・「争坐位文稿」 ・「祭伯文稿」 ・ 「祭姪文稿」「争坐位文稿」「祭伯文稿」と筆者・顔真卿について知る。 ・ 「三稿」の文章の概要を知り，筆意に表れた筆者の感情を感じ取る。 ・ 「三稿」を鑑賞し，文字の連綿，文字の大小や線の太細，抑揚のある運筆等の書	**・筆者・顔真卿について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「三稿」の特徴を理解させる。**	【関】「三稿」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「三稿」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「三稿」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「蜀素帖」 ・ 書道史における北宋の位置づけを確認する。 ・ 「蜀素帖」と筆者・米芾について知る。 ・ 「蜀素帖」を鑑賞し，王羲之の書を基調にしつつ，線の太細，運筆の抑揚などにより個性と情感を醸し出す書風を捉え，ノートにまとめる。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・書道史における北宋の位置づけやその特徴を理解させる。** **・筆者・米芾について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「蜀素帖」の特徴を理解させる。**	【関】「蜀素帖」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「蜀素帖」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「蜀素帖」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	1
	「赤壁賦」 ・ 書道史における元の位置づけを確認する。 ・ 「赤壁賦」と筆者・趙孟頫について知る。 ・ 「赤壁賦」を鑑賞し，一字一字丁寧に書かれた明快な筆画や滑らかな運筆，端正な書風を捉え，ノートにまとめる。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・書道史における元の位置づけやその特徴を理解させる。** **・筆者・趙孟頫について理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「赤壁賦」の特徴を理解させる。**	【関】「赤壁賦」の表現技法に関心をもち，その美しさを味わおうとしている。 【想】「赤壁賦」の特徴を理解し，字形や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「赤壁賦」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	1
9月	鑑賞しよう ・ 近・現代の著名な書作品から受ける印象や作品構成を分析し，筆者が表現しようとする美を構成する要素について話し合う。 ・ それぞれの作品を鑑賞し，これまでに学んできた古典の美の要素がどのように生かされているかを確認する。	・ 近・現代の書作品から筆者の表現意図を感じ取らせる。 ・ 作品に古典の要素が生かされていることを理解させる。	【関】近・現代の書作品に関心をもち，表現効果を味わっている。 【鑑】近・現代の書作品から個性や美しさを感じ取り，筆者の意図を理解している。	3
	創作しよう ・ 創作の手順を理解し，作品の構想を練る。 ・ 創作例を参考にして，表現したいイメージを古典から見つけ出し，紙面構成等に配慮して創作する。 ・ 創作を通して，これまでに学習してきた楷書・行書への関心を高める。	**・古典の学習を生かして，楷書・行書の作品を創作させる。** **・創作を通して充実感や喜びを味わわせる。**	【関】作品の創作に関心をもっている。 【想】自己の表現のねらいを達成するために，古典を参考に構想を工夫している。 【技】用筆・運筆を理解して表現している。 【技】字形や全体の構成に配慮して表現している。	4
10月	草・隷・篆書を学ぼう ・「書譜」 ・ 「書譜」と筆者・孫過庭について知る。 ・ 草書の成立過程を確認する。 ・ 楷書・行書と比較して，用筆・造形の共通点と相違点を理解する。 ・ 草書の特徴である点画の省略や連続について確認し，用筆に配慮して臨書する。	・ 草書の特徴とその成立過程を理解させる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「書譜」の特徴を理解させる。	【関】「書譜」の表現技法に関心をもち，草書の美しさを味わおうとしている。 【想】「書譜」の特徴を理解し，書体や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「書譜」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「曹全碑」 ・ 隷書の成立過程を確認する。 ・ 楷・行・草書との比較から，用筆・造形の共通点と相違点を理解する。 ・ 隷書の特徴である蔵鋒による起筆や水平垂直の構成，波磔・波勢，転折の特徴を確認し，臨書する。	**・隷書の特徴とその成立過程を理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「曹全碑」の特徴を理解させる。**	【関】「曹全碑」の表現技法に関心をもち，隷書の美しさを味わおうとしている。 【想】「曹全碑」の特徴を理解し，書体や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「曹全碑」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「泰山刻石」 ・ 篆書の種類と，成立過程を確認する。 ・ 楷・行・草・隷書との比較から，用筆・造形の共通点と相違点を理解する。 ・ 篆書の特徴である蔵鋒による起筆，水平垂直，左右相称の構成などを確認し，臨書する。	**・篆書の特徴とその成立過程を理解させる。** **・鑑賞・臨書を通して「泰山刻石」の特徴を理解させる。**	【関】「泰山刻石」の表現技法に関心をもち，篆書の美しさを味わおうとしている。 【想】「泰山刻石」の特徴を理解し，書体や書風を捉え，表現を工夫している。 【技】「泰山刻石」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	仮名を知ろう ・ 仮名の成立過程を知り，それぞれの時代の仮名の特徴を捉える。 ・ 片仮名の字源について理解する。	**・仮名の特徴とその成立過程を理解させる。**	【関】仮名の特徴に関心をもち，意欲的，主体的に理解しようとしている。 【鑑】仮名の成立等について理解している。	1
11月	仮名の基本を学ぼう ・ 小筆の種類や筆の構え方について知り，使い方に慣れる。 ・ 仮名に適した用材を知る。 ・ 仮名の基本線（直線・曲線・転折）について，それぞれの特徴を理解して書く。	・ 基本的な執筆法，用具・用材について理解させる。 ・ 仮名の基本的な用筆で書かせる。	【関】仮名の基礎・基本の表現技法に関心をもっている。 【想】用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り，表現を工夫している。 【技】表現技法を高めるために，基本的な執筆法を身につけている。	1
	平仮名 ・ 現在の仮名表記の由来と，仮名表現の特徴を理解して書く。	**・平仮名の特徴を理解させる。**	【関】平仮名の表現方法に関心をもっている。 【想】平仮名の美しさを感受している。 【技】仮名の基本的な線質と用筆・運筆を理解し，表現に生かしている。	2
	変体仮名 ・ 変体仮名の使われ方や効果について理解し，平仮名と組み合わせるなどして書く。	**・変体仮名の特徴を理解させる。**	【関】変体仮名の表現方法に関心をもっている。 【想】変体仮名の美しさを感受している。 【技】変体仮名の基本的な線質と用筆・運筆を理解し，表現に生かしている。	2
	連綿 ・ 仮名の流動美に連綿の法則（形連・意連）があることを知る。 ・ 連綿の法則や筆脈，腕の動かし方に配慮して書く。	**・連綿の基本を理解させる。**	【関】連綿の表現方法に関心をもっている。 【想】連綿の美しさを感受している。 【技】連綿の基本的な法則を理解し，表現に生かしている。	2
12月	「蓬萊切」 ・「蓬萊切」のおおらかな書風や，単体で連綿の少ない字形を理解し，臨書する。	・ 鑑賞・臨書を通して「蓬萊切」の特徴を理解させる。	【関】「蓬萊切」の表現技法に関心をもっている。 【想】「蓬萊切」の特徴を理解し，字形や線質を捉え，表現を工夫している。 【技】「蓬萊切」の用筆・運筆の技法を習得	2
	古筆から学ぼう ・「高野切第三種」を鑑賞し，端正な字形と落ち着いた運筆による，流れるような美しさを捉え，ノートにまとめる。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・鑑賞・臨書を通して「高野切第三種」の特徴を理解させる。**	【関】「高野切第三種」の表現技法に関心をもっている。 【想】「高野切第三種」の特徴を理解し，字形や線質を捉え，表現を工夫している。 【技】「高野切第三種」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	「関戸本古今和歌集」 ・「元永本古今和歌集」の同歌と比較して，「関戸本古今和歌集」の筆圧の変化に富んだ運筆と左右への展開による躍動感を捉え，ノートにまとめる。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・鑑賞・臨書を通して「関戸本古今和歌集」の特徴を理解させる。**	【関】「関戸本古今和歌集」の表現技法に関心をもっている。 【想】「関戸本古今和歌集」の特徴を理解し，字形や線質を捉え，表現を工夫している。 【技】「関戸本古今和歌集」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	3
1月	構成の美を学ぼう ・ 古筆には，紙面構成（文字の大小，墨の濃淡，行間の変化，行の傾き・長短・高低）による独特の美があることを知る。	・ 紙面構成による美しさを理解させる。	【関】色紙の紙面構成に関心をもっている。 【想】散らし書きを理解し，紙面構成を捉え，表現を工夫している。	2
	「寸松庵色紙」 ・ 「寸松庵色紙」を鑑賞し，行の高さや傾きの変化による余白の美を捉え，ノートにまとめる。 ・ 用筆や筆順，字形の特徴を理解し，臨書する。	**・鑑賞・臨書を通して「寸松庵色紙」の特徴を理解させる。**	【関】「寸松庵色紙」の表現技法に関心をもっている。 【想】「寸松庵色紙」の特徴を理解し，字形や構成を捉え，表現を工夫している。 【技】「寸松庵色紙」の用筆・運筆の技法を習得し，表現に生かしている。	2
	創作しよう ・ 創作の手順を理解し，作品の構想を練る。 ・ 創作例を参考にして，表現したいイメージを古典から見つけ出し，紙面構成等に配慮して創作する。 ・ 創作を通して，これまでに学習してきた仮名の書への関心を高める。	**・古筆の学習を生かして，仮名の作品を創作させる。** **・創作を通して充実感や喜びを味わわせる。**	【関】作品の創作に関心をもっている。 【想】自己の表現のねらいを達成するために，古筆を参考に構想を練っている。 【技】用筆・運筆を理解して表現している。 【技】字形や全体の構成に配慮して表現してい	2
	漢字仮名交じりの書を知ろう ・ 漢字仮名交じりの書にはさまざまな表現と美があることを知り，それぞれの時代（平安・江戸・明治・現代）の作品を鑑賞する。	**・漢字仮名交じりの書の表現と美について考えさせる。**	【関】漢字と仮名の字形や線質に関心をもち，意欲的・主体的に取り組もうとしている。	1
2月	漢字仮名交じりの書を学ぼう ・ 言葉が人の心を動かすことを理解し，創作への関心・意欲を高める。 ・ 著作権について知る。 ・ 題材とする言葉のイメージをもとに，漢字と仮名を調和させて書く方法を知る。 ・ 配置構成の変化により表現の幅が広がることを知る。	・ 言葉と表現の関係や，古典を生かした漢字と仮名の調和，構成の工夫について理解させる。	【関】漢字仮名交じりの書表現に関心をもち，意欲的に理解しようとしている。 【想】漢字と仮名の調和や，構成の変化による書表現の広がりを理解している。	2
	鑑賞しよう ・ 漢字仮名交じりの書から受ける印象や，表現・構成の効果を具体的に分析し，筆者が表現しようとする美と，それを支える要素について話し合う。	**・近・現代の作品を鑑賞させ，筆者の表現意図を感じ取らせる。**	【関】それぞれの作品に関心をもち，表現効果を味わっている。 【鑑】それぞれの書作品から個性や美しさを感じ取り，筆者の意図を理解している。	2
	創作しよう ・ 創作の手順を理解し，作品の構想を練る。 ・ 創作例を参考にして，表現したいイメージを見つけ出し，紙面構成等に配慮して制作する。 ・ 創作を通して，これまでに学習してきた漢字の書，仮名の書，漢字仮名交じりの書への関心を高める。	**・漢字仮名交じりの書の作品を創作させる。** **・創作を通して充実感や喜びを味わわせる。**	【関】表現の構想から完成に至るまで主体的に取り組もうとしている。 【想】表現に応じた用具・用材を選択し表現を工夫している。 【想】漢字と仮名の字形や文字の大きさなど，全体構成を工夫している。 【技】文字群や余白の関係を理解し，全体構成を考えた表現をしている。 【技】古典の特徴を生かし，漢字と仮名の線質を調和させて表現している。	2
3月	書を生活に取り入れよう ・ 日常生活における多様な書の在り方を知り，自らの生活に取り入れる意識を高める。 ・ 手書きのよさや楽しさについて話し合い，自分なりの表現について考える。 ・ 実用的な書の大切さを理解し，これまでに学習してきた技能を生かして書く。	・ 書を日常生活に生かす充実感や喜びを味わわせる。	【関】実用的な表現について基礎的な事項を理解し，楽しんで表現活動を行っている。 【想】表現に応じた用具・用材を選択し表現を工夫している。 【想】漢字と仮名の字形や文字の大きさなど，全体構成を工夫している。 【技】創造的な表現をするために全体構成を意識した表現をしている。	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(芸術)科目：(音楽Ⅱ)　単位：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：高校生の音楽２（友社）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「音楽Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	青春と音楽 歌の翼に And I Love Her 涙そうそう Love's Old Sweet Song 唱歌の四季 ・曲種に応じた発声法，発語や表現方法を理解する ・ポピュラー音楽の概要を学習する ・つくった旋律に歌詞を当てはめて歌をつくる ･好きな楽曲のコード進行を抽出し，そこに新たな旋律をつくる。	・歌唱や創作の諸活動を通して，音楽の楽しさを味わうとともに技能を高め，個性豊かな表現を目指す。 ・歌唱することに喜びを感じ，正確な読譜や適切な発声に努めることに主体的に取り組む。 ･歌の作曲に関し，様々な方法を理解し，意欲的に創作できる。 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し，表現を工夫できる。 ・言葉のリズムやアクセントと旋律の動きとの調和や，コードと旋律の関係を理解し創作表現を工夫できる。 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連させた表現のための技能を身に付ける。 ・言葉と旋律やコードと旋律とをかかわらせて創作する技能を身に付ける。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】	7
５月	民族と音楽（1） 日本のこころ 初恋 平城山 斎太郎節 谷茶前 ・曲種に応じた発声の特徴を生かして歌唱したり，楽器の特徴を理解して表現を工夫して演奏する ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を理解して鑑賞する ･わが国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞したり，その音楽をさらに効果を高めるような音楽をつくって表現する。	・音楽の諸活動を通して，日本の様々な音楽に触れ，その良さや美しさを理解する。 ･曲想と歌詞の内容や文化的背景，及び民謡の発声の特徴に関心をもち，イメージをもって歌唱しようとする。 ･楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し，意欲的に演奏する。 ･民謡を素材にしたつくって表現する活動に意欲的に取り組む。 ･声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素を理解し，それらの作り出す雰囲気を歌詞の内容や文化的背景と関連付け，発声や楽器の特徴を生かしながら表現を工夫できる。 ･素材の要素をよく理解し，より創造的な創作のために工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解し，わが国や郷土の音楽の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
６・７月	人間と音楽 別れの歌 わたりどり 河口 ･簡単な輪唱や様々な形態の合唱をしたり，合唱曲をリコーダーで演奏する ･2部合唱曲の創作 ･西洋の合唱音楽の鑑賞	・音楽の諸活動を通して，様々な合唱音楽を体験し，その表現方法や良さを理解する。 ･様々な形態の合唱の持つそれぞれの良さや持ち味に関心をもち，歌ったり演奏したりつくったりする学習に主体的に取り組む。 ･楽曲の文化的･歴史的な背景や声の音色と表現上の効果に関心をもって主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連付けながら，表現しようと工夫できる。 ･様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら，楽曲の文化的･歴史的背景を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	14
９月	器楽 ブラジルの女 主よ，人の望みの喜びよ ･ギター，リコーダーの奏法の実習 ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・一つの旋律をもとにしたピアノ曲の編曲 ･楽器の音色や奏法と楽曲の背景をとらえた鑑賞	・器楽の諸活動を通して，楽器の表現に親しみ，技能や鑑賞の能力の伸長をはかるとともに，その特長を生かした表現の良さを味わう。 ・楽器の音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組む。 ・一つの旋律をもとにした編曲に主体的に取り組む。 ・楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す雰囲気を理解し，表現意図をもって演奏する工夫できる。 ･旋律を生かし，イメージをもってより創造的な編曲をするために表現を工夫できる。 ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 ・イメージをもって創作するための技能を身に付けている。 ･音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら，楽曲の文化的･歴史的背景への理解を深め，作曲者･演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
１０月	民族と音楽（2） 世界の旅 El Condor Pasa ウィーンわが夢の街 アリラン ･曲種に応じた発声法の工夫 ・楽曲の背景と曲想とのかかわりを意識した表現の工夫 ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・歌唱や鑑賞を通して，世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかかわらせて理解し，その良さを味わう。 ･地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち，意欲的に歌唱しようとする。 ・楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようする。 ・地域や民族による特徴的な音楽的要素（音階･リズム等）とそれらの働きが生み出す雰囲気を文化的背景と関連付けながら理解し，表現意図をもって歌唱する工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら，楽曲の文化的･歴史的背景を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
１１月	芸術と音楽（1） 劇と音楽 Ombra mai fù メリー・ウィドウ・ワルツ Memory 美女と野獣 ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ･劇や物語と音楽とのかかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞 ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・劇や物語と音楽の結びつきを理解し，イメージをもって表現したり鑑賞したりする。 ･劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち，意欲的に歌唱したり，鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す雰囲気を理解しながら表現意図をもって歌う工夫できる。 ･曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら，作曲者･演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，良さや美しさを味わうことができる。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
１２月	アンサンブルを楽しもう 八木節パラフレーズ Don't Mind みんなでアンサンブルをしよう ･声や楽器の音色，奏法，それらの組み合わせを生かしてつくったり演奏したりするアンサンブル活動 ・文化的･歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	・声や楽器を組み合わせて演奏したり，創作を通して，それらに必要な技能を高め，イメージをもって創造的に表現する。 ・楽器の音色や奏法及び，それらの組み合わせの面白さに関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組む。 ・声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す雰囲気を理解し，表現意図をもって演奏する工夫できる。 ･楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素やその働きを生かして創作する技能を身に付ける。 ･音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを理解し，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わうことができる。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	7
１・２月	芸術と音楽（2）言葉と音楽 Wiegenlied Ich liebe dich Torna a Surriento ･芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ･芸術歌曲の鑑賞と批評	・歌詞の内容や楽曲の背景を研究し，必要な技能を身に付け，イメージをもって表現したり，楽曲の価値を理解する。 ･曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち，イメージをもって歌唱したり，鑑賞しようとする。 ･音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解し，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し，音楽表現を工夫できる。 ･曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し，イメージをもって音楽表現をするために必要な発声，発語，読譜等を身に付け，創造的に表現できる。 ･音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを理解し，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わうことができる。	【音楽への関心・意欲・態度】 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【鑑賞の能力】	14

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(ビジネス基礎)　対象:(第1学年A組～F組)

使用教科書：（７実教３０１「ビジネス基礎」）

使用教材：（「ビジネス基礎問題集」実教出版、「珠算・電卓実務検定模擬試験問題集３級」実教出版、「商業経済検定模擬試験問題集3級」実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	（１）商業の学習ガイダンス ア．商業を学ぶ目的と知り方	・ビジネスの理解力と実践力を身につけることの必要性を理解させ、のぞましい人間関係、倫理観や責任感、豊かな人間性、創造性、主体性、自己責任など抽象的な概念を具体的に説明する。	関心・意欲・態度	1
	イ．商業の学習分野と職業	・商業の学習分野の内容や目指す能力，科目と資格取得及び学習分野と進路のかかわりをふまえた学び方について、基礎的・基本的な知識を身につけ、学習と進路の結びつきの大切さを理解させる。	知識・理解	1
	（２）売買に関する計算 ア．売買に関する計算の基礎	・数の表示の方法と売買に関する各種の計算に関する基礎的な知識と技術を、電卓の様々な機能を活用しながら体得させ、各種の計算を迅速かつ的確に処理する能力を身に付けさせる。	関心・意欲・態度、 技能	2
５月	イ．「珠算・電卓実務検定３級」（全国商業高等学校協会主催）に関する学習 ・普通計算部門	・円や外貨に関する６けたから８けたの被乗数・乗数の計算方法、５けたから７けたの除数・商の計算方法や、小計と合計から構成比率を計算するための電卓の操作方法を理解させる。 ・円に関する３けたから７けたの加減算（字数110字以内）や納品伝票の計算方法や、小計と合計から構成比率を正確かつ迅速に計算する技術を身に付けさせる。	知識・理解、 技能	2
	ウ．売買に関する計算の応用 ・割合に関する計算、貨幣換算、度量衡の換算、売買・損益の計	・度量衡の意味を理解させ、換算に関する問題演習に取組ませる。 ・貨幣換算の意味を理解させ，換算に関する問題演習に取組ませる。 ・単利と複利，利息と元利合計，利息の日数計算について理解させる。	関心・意欲・態度、 技能	3
６月	エ．「珠算・電卓実務検定３級」（全国商業高等学校協会主催）に関する学習 ・ビジネス計算部門	・度量衡の計算、外国貨幣の計算、割合に関する計算、割増に関する計算、割引に関する計算、商品の数量と代金の計算、仕入原価の計算、販売価格の計算、売買損益の計算、利息の計算の意味と、実務的で合理的な計算方法を理解させ、的確に処理する技術を身に付けさせる。	知識・理解、 技能	3
	（３）ビジネスと売買取引 ア．売買取引の手順	・売買契約における品質・数量・価格、受け渡し条件、代金決済について理解させる。 ・見積もりと注文の方法について説明する。とくに各種書類の意味について理解させる。 ・商品の受け渡し、商品代金の受け払いの方法を説明し、各種書類の意味について理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	3
	イ．代金決済 ・通貨、小切手、約束手形、為替手形、その他の支払い手段 ・電子商取引と代金決済	・現金通貨の意味、小切手振り出し・受け取り・不渡り・線引小切手について理解させる。 ・約束手形の意味，振り出し、受け取り，不渡りなどについて理解させる。 ・為替手形の意味，振り出し、引き受け，受け取り，不渡りなどについて理解させる。 ・預金の振替，クレジットカード、デビットカード、電子マネーについて紹介する。	知識・理解、 技能	3
７月	（４）経済の基礎 ア．経済生活と経済のしくみ イ．市場と価格	・経済活動の仕組みや、土地、資本及び労働力といった生産要素についても理解させる。 ・企業、家計及び政府（財政）といった経済主体の役割と、経済の循環について理解する。 ・需用と供給の関係による市場における価格形成を、身近な例を用いて説明する。 ・ビジネスの場面におけるトレード・オフと機会費用について理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
９月	（５）ビジネスの役割と発展 ア．ビジネスの発展	・ビジネスの諸活動が経済の発展に寄与する役割を理解させ、具体例を挙げて説明させる。 ・サービス経済化や情報化、グローバル化など、ビジネスの発展について考察させる。 ・今日のビジネスが直面する諸課題と、課題解決に向けた在り方について理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
	（６）経済活動と流通 ア．流通の意義と役割	・生産と消費の隔たりについて理解させ、その隔たりを解消するための流通の意義や機能を説明させる。 ・生産から消費に至る流通の役割分担の変化、小売商や卸売商などの役割について理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
	イ．流通活動とマーケティング	・今日の商品流通の仕組みと機能を知り、マーケティングの意義、内容、考え方、役割について理解させる。	関心・意欲・態度	2
	（７）ビジネスの担い手 ア．売買業者のビジネス ・小売商のビジネス	・一般小売商の役割や現状、業種、業態、分類（最寄品店・買回品店・専門品店）について理解させる。 ・百貨店、総合スーパー、スーパーマーケット、専門店、ホームセンター（ＤＩＹ店）、コンビニエンスストア、ディスカウントストア、ドラッグストアの特徴や店舗展開について理解させる。	知識・理解、 関心・意欲・態度	2
	・小売商の組織化	・集団立地の例として、商店街、ショッピングセンターがあることを理解させる。 ・無店舗小売商には、通信販売、インターネット販売、訪問販売、自動販売があることや、販売方法の特徴を説明し、無店舗のメリット・デメリットを考えさせる。	知識・理解、 思考・判断・表現	1
１０月	・卸売商のビジネス	・生産者、卸売業、小売業、金融業、保険業、運輸業、情報通信業など、生産から消費の過程にかかわるビジネスの担い手の概要や役割について理解させる。 ・ビジネスの担い手である企業の役割や現在の動向について理解させ、企業に求められる社会的責任や倫理について説明させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	1
	（８）企業の形態と経営組織 ア．経営の理念 イ．企業の種類と出資者	・企業は利益だけでなく、常に社会への貢献という経営理念を忘れてはならないことを理解させる。 ・ビジネスにかかわる様々な企業の形態と経営組織の種類と特徴について説明する。 ・企業の種類には、私企業、公企業および公私合同企業があることを理解させる。 ・企業の出資者は、企業に対して一定の権利を有し、義務（責任）も負うということを理解させる。	知識・理解、 関心・意欲・態度	2
	ウ．企業の経営組織	・新たなビジネスの創造や起業家精神、企業経営の指針となる経営理念について、またその重要性について具体例をあげて理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	1
	（９）資金調達 ア．資金の概念 イ．資金調達に有利な会社形態 ウ．資金調達の源泉別分類	・ビジネスに必要な資金には、運転資金と設備資金があることを説明し、それぞれの資金の意味を理解させる。 ・企業活動に必要な資金の調達方法とその特徴について理解させ、とくに社債の発行と株式の発行による資金調達について理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
１１月	（10）企業活動と税 ア．企業活動にかかわる税 イ．申告と納付	・企業活動にかかる税の意味と法人税・住民税・事業税・固定資産税・消費税の概略を理解させる。 ・申告と納付の概要について理解させる。	知識・理解、 関心・意欲・態度	2
	（11）雇用 ア．雇用の意義 イ．我が国の雇用の特徴 ウ．雇用形態と企業の責任	・雇用の意義について、資金・雇用契約・失業率などのキーワードを用いて説明する。 ・我が国における企業の雇用形態の特徴について理解する。 ・正規雇用と非正規雇用について説明し、とくに後者の雇用の現状を紹介し。問題点を考えさせる。 ・雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について理解する。	知識・理解、 関心・意欲・態度、 思考・判断・表現	2
	（12）ビジネスとコミュニケーション	・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を理解させ、話し相手や時と場所をわきまえた態度、言葉遣いや身だしなみなどを実践させる。	関心・意欲・態度、 思考・判断・表現、 技能	2
	イ．ビジネスマナー	・社会人として必要なビジネスマナーや遵法精神の意義を理解し、挨拶、礼の仕方、電話応対など基本的な所作を身に付けさせる。 ・協調性や倫理観、自己責任など、ビジネスに対する心構えや考え方について理解する。	思考・判断・表現、 技能	2
１２月	（13）情報の入手と活用 ア．ビジネス情報入手の注意点 イ．ビジネス情報を活用する方法	・ビジネスに必要な情報を様々なメディアや公的機関から入手する方法や、文字、数値、画像、図表などの情報を、利用できるデータとして適切に整理・活用する方法を理解させる。 ・情報の中には古い情報や誤った内容が含まれている可能性があることを説明し、データの信頼性について確認することの重要性を理解させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
	（14）ビジネス基礎の総合的学習「商業経済検定３級」（全国商業高等学校協会主催）に関する学習	・「ビジネスとコミュニケーション」「ビジネスと売買取引」「経済と流通の基礎」「企業活動の基礎」について総合的に復習させ、ビジネスに関する基礎力を定着させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	2
１月	（14）ビジネス基礎の総合的学習「商業経済検定３級」（全国商業高等学校協会主催）に関する学習	・「ビジネスとコミュニケーション」「ビジネスと売買取引」「経済と流通の基礎」「企業活動の基礎」について総合的に復習させ、ビジネスに関する基礎力を定着させる。	知識・理解、 思考・判断・表現	6
２月	（15）「珠算・電卓実務検定２級」（全国商業高等学校協会主催）に関する学習 ア．普通計算部門	・円・ドル・ユーロに関する６けたから８けたの被乗数・乗数の計算方法、５けたから７けたの除数・商の計算方法や、小計と合計から構成比率を計算するための電卓の操作方法を理解させる。 ・円に関する３けたから７けたの加減算（字数110字以内）や納品伝票の計算方法や、小計と合計から構成比率を正確かつ迅速に計算する技術を身に付けさせる。	知識・理解、 技能	4
	イ．ビジネス計算部門	・度量衡の計算、外国貨幣の計算、割合に関する計算、割増に関する計算、割引に関する計算、商品の数量と代金の計算、仕入原価の計算、販売価格の計算、売買損益の計算、利息の計算の意味と、実務的で合理的な計算方法を理解させ、的確に処理する技術を身に付けさせる。		4
３月	（16）調査・研究 ア．ビジネス基礎に関する調査・研究	・物流業者、金融業者、情報通信業者、サービス業者について調査し、それぞれに求められている職業倫理について自分の考えをまとめさせる。	関心・意欲・態度、 思考・判断・表現、 技能	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(簿記)　単位 ： 5単位　対象：(第1学年A組～F組)

使用教科書：(実教出版 『新簿記』)

使用教材：(実教出版 『反復式　学習と検定　簿記問題集)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「簿記」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	簿記の基礎 資産・負債・純資産と貸借対照表	・簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解させる。 ・簿記の種類、前提条件など簿記における記帳の流れを理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	4
	資産・負債・純資産と貸借対照表	・資産・資本・純資産の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解させる。 ・貸借対照表の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 ・純損益を計算する方法（財産法）を理解させる。 ・各種の等式を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
5月	収益・費用と損益計算書	・収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解させる。 ・損益計算書の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 ・等式を覚えさせる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	2
	取引と勘定	・取引により、資産・負債・資本が増減することを理解させる。 ・勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 ・勘定の記入法に習熟させる。 ・貸借平均の原理を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	2
	仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳	・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳に習熟させる。 ・仕訳を勘定口座に転記する方法を理解させ、習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	現金・預金などの記帳	・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解させる。 ・現金過不足の処理法を理解させる。 ・当座預金・当座借越勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法について理解させる。 ・小口現金のシステムを理解させ、その記帳方法と記帳の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
6月	商品売買の取引	・3分法の商品売買の記帳法を理解させる。 ・商品に関する補助簿の記帳方法を明らかにし、その記帳方法を習熟させる。 ・商品有高帳の先入先出法と移動平均法を理解させる。 ・売上計算を計算し、商品売買損益を計算させる方法を明らかにする。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	2
	掛け取引	・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解させる。 ・人名勘定の意味を明らかにする。 ・売掛金元帳と買掛金元帳の役割を明らかにし、その記帳に習熟させる。 ・貸し倒れの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	手形の取引	・手形の種類を明らかにする。 ・約束手形・為替手形の仕組みと記帳の方法を理解させ、各種取引の記帳方法について習熟させる。 ・手形記入帳の役割と記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	有価証券の取引	・有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
7月	その他の債権債務の取引	・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解させる。 ・各種の債権・債務の記帳に習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	3
	固定資産の取引	・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解させる。 ・固定資産台帳の役割を明らかにする。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	4
9月	個人企業の資本金の取引 販売費および一般管理費と税金の取引	・個人企業における資本金の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解させる。 ・引き出し金勘定を用いた場合の記帳方法を理解させる。 ・所得税と住民税の納付は資本の引き出しにあたることを説明し、その記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	決算整理 （決算整理の意味） （繰越商品の計上）	・決算整理の意味とその必要性を理解させる。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もりの処理法を理解させ、その記帳に習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	決算整理 （費用・収益の見越しと繰り延べ） （減価償却） （有価証券の評価）	・費用・収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。 ・減価償却の処理法、有価証券の評価替えなどの記帳方法をを理解・習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	財務諸表の作成 （8桁清算表）	・清算表の残高試算表欄、整理記入欄、損益計算書欄、貸借対照表欄の記帳方法を理解させ、習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	3
	財務諸表の作成 （貸借対照表） （損益計算書）	・費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成に習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	2
10月	特殊な売買の取引	・割賦販売・委託販売・未着商品売買・試用販売・予約販売の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解させて習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	3
	特殊な手形の取引	・自己受為替手形の手形関係を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・手形の書き換えの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解させる。 ・煮付為替手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・手形の保証債務の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	仕訳帳の分割	・特殊仕訳帳・仕訳帳分割の意味を明らかにし、複合仕訳帳制度の仕組みとその長所を理解させる。 ・現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を、それぞれの特殊仕訳帳として用いた場合の記帳方法、転記のしかたを十分に理解させ、習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	3
	5伝票による記帳	・入金伝票・出金伝票・売上伝票・仕入伝票・振替伝票の起票のしかたを理解させる。 ・5伝票の集計・転記のしかたを理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
11月	本支店の取引	・支店会計の独立の意味を理解させる。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	3
	本支店の財務諸表の合併	・本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	株式会社の取引 （株式の発行） （純利益の計上） （剰余金の配当と処分）	・株式会社の設立と株式発行時の記帳方法を理解させる。 ・純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	株式会社の取引 （社債の発行） （社債の償還） （株式会社の税金）	・社債の意味と発行、利払い、決算における記帳方法を理解させる。 ・社債の償還時における記帳方法を理解させる。 ・法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
12月	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	4
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	5
1月	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	2
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	5
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	5
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	3
2月	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	5
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	2
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	5
	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	3
3月	総合練習問題	・これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 簿記の総合的な活用能力を習得できたか。	2
	株式会社の設立・開業・株式発行	・これまで学習した株式会社の設立と開業時にかかる諸経費のより専門的な記帳方法を理解させる。 ・増資による株式発行の記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	株式会社の剰余金の配当と処分	・これまで学習した株式会社の利益計上と利益処分のより専門的な記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	5
	株式会社の社債と税金	・これまで学習した社債の意味と発行、利払い、決算におけるより専門的な記帳方法を理解させる。 ・これまで学習した社債の償還時におけるより専門的な記帳方法を理解させる。 ・これまで学習した法人税・住民税・事業税のより専門的な記帳方法を理解させる。	知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 当該単元の内容を理解したか。	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(情報処理)　単位数：3単位　対象:(第1学年A組～F組)

使用教科書：実教出版

使用教材：実教出版

	指導内容 【年間授業計画】	科目「情報処理」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1章　情報の活用と情報モラル	コンピュータなどの情報機器を用いて情報を活用するための基本的な知識を身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
5月	2章　情報通信ネットワークとセキュリティ管理	適切なセキュリティ管理の方法や情報通信ネットワークを活用するための基本的な知識や技術を身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	10
6月	4章　ビジネス文書の作成 ・ビジネス文書と表現	ビジネス文書の役割や分類、基本的な構成要素、正確でわかりやすい文書の表現方法を身につけさせる	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	2
	4章　ビジネス文書の作成 ・図形と画像の活用	画像処理ソフトウエアとディジタルカメラやイメージスキャナなどを活用し、図形や画像の作成・編集方法を身につけさせる	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	2
	4章　ビジネス文書の作成 ・基本文書の作成	ワープロソフトウエアの編集機能を利用して、基本的な通信文書を作成させるための方法を身につけさせる	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	4
	4章　ビジネス文書の作成 ・応用文書の作成	ワープロソフトウエアのさまざまな機能を利用して、報告書や提案書、リーフレットなどを作成し、いろいろな印刷・編集機能を身につけさせる	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	4
7月	課題練習	これまで学習したワープロソフトウエアの機能をもとに、さまざまな速度問題・文書問題を、与えられた時間内に早く正確に作成できる能力を身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
9月	3章　ビジネス情報の処理と分析 ・基本的な表の作成	表計算ソフトウエアの基本的な操作や特徴について理解させる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
	3章　ビジネス情報の処理と分析 ・関数を利用した表の作成	ビジネスに役立つ表を作成するため、表計算ソフトウエアの関数について理解させる	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
月	3章　ビジネス情報の処理と分析 ・グラフの作成	表計算ソフトウエアのグラフ作成機能を利用して、表からいおいろなグラフを作成する方法について理解させる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	8
	3章　ビジネス情報の処理と分析 ・情報の整理、検索、抽出	データの整列や検索、必要な情報の抽出など表計算ソフトウエアのデータベース機能について理解させる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
11月	3章　ビジネス情報の処理と分析 ・ビジネスと統計	目的に応じた適切な計算およびビジネスにおける需要予測などの傾向をとらえる力を実につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	6
	課題演習	コンピュータなどの情報機器を用いて情報を活用するための基本的な知識を身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	10
月	課題演習	これまで学習した表計算ソフトウエアの機能をもとに、さまざまな表計算・グラフ問題を、与えられた時間内に早く正確に作成できる能力を身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	4
1月	5章　プレゼンテーション ・プレゼンテーションの技法	ビジネスの諸活動におけるプレゼンテーションのたいせつさと、プレゼンテーションを行う際の話し方や進め方の基礎を理解させす。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	8
2月	5章　プレゼンテーション ・ビジネスとプレゼンテーション	プレゼンテーションソフトウエアを利用して、スライドや配賦資料を作成し、効果的で説得力のあるプレゼンテーションを行わせる。		10
3月	プレゼンテーション演習	これまで学習したプレゼンテーションソフトウエアの機能をもとにレポートを作成し、プレゼンテーションを行うための技法ををを身につけさせる。	・授業への取り組み ・課題等の進度状況	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：（商業）科目：（財務会計Ⅰ）　単位数：４単位　対象：（第２学年Ａ組～Ｆ組）

使用教科書：新財務会計Ⅰ（実教出版）

使用教材：新検定用　反復式学習と検定　会計問題集全商１級会計（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「財務会計Ⅰ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第１編　財務会計の基礎 第１章　企業と会計	○　企業会計の意味と役割を理解させる。 ○　財務会計の機能と会計公準の内容について理解させる。 ○　企業会計の発達の歴史について，その概略を明らかにする。 ○　企業会計制度の意味を理解させる。	◇財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけ，財務会計の意義や制度について理解している。	4
	第２章　企業会計制度と会計法規	○　会計法規の必要性を理解させ，その種類と内容について，概略を理解させる。 ○　企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし，一般原則の内容について理解させる。 ○　財務諸表の種類を明らかにする。	◇企業会計の基礎的内容を理解し，企業会計制度と会計法規に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	4
	第２編　貸借対照表 第３章　貸借対照表のあらまし	○　これから学ぶ貸借対照表の役割や区分表示，様式など，その概略について理解させる。 ○　貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。	◇資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第４章　資産の意味・分類・評価	○　資産の意味・分類を理解させる。 ○　資産評価の意味・基準を明らかにし，その重要性を理解させる。		2
	第５章　流動資産 （PART１）当座資産	○　当座資産の意味と種類を明らかにする。 ○　現金預金・受取手形・売掛金・有価証券の評価と記帳方法について理解させる。		8
5月	第６章　流動資産 （PART２）棚卸資産・その他の流動資産	○　棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 ○　棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 ○　棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を理解させる。		10
6月	第７章　固定資産 （PART１）有形固定資産	○　有形固定資産の意味・種類を明らかにし，取得原価の計算について理解させる。 ○　資本的支出と収益的支出の意味を理解させる。 ○　有形固定資産の期末評価を理解させる。 ○　減価償却の意味を明らかにし，計算方法に習熟させる。 ○　固定資産の除却と買い換えの記帳方法に習熟させる。		8
	第８章　固定資産 （PART２）無形固定資産	○　無形固定資産の意味と種類を明らかにする。 ○　無形固定資産の取得原価に触れ，特にのれんに関する計算と記帳に習熟させる。 ○　無形固定資産の期末評価について理解させる。		8
7月	第９章　固定資産 （PART３）投資その他の資産	○　投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。 ○　投資有価証券の期末評価について理解させ，その記帳に習熟させる。 ○　子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解させる。		6
	第10章　負債の意味と分類	○　負債の意味と分類を明らかにし，分類基準を理解させる。	◇負債に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第11章　流動負債	○　流動負債の意味と種類を明らかにする。 ○　引当金の意味を明らかにし，役員賞与引当金の記帳について理解をはかる。 ○　保証債務の記帳法を理解させる。		4
9月	第12章　固定負債	○　固定負債の意味を明らかにし，その記帳に習熟させる。 ○　社債の発行・利払い・期末評価・償還の記帳方法を理解させる。 ○　長期借入金・退職給付引当金の記帳に習熟させる。 ○　偶発債務の意味とその記帳法を理解させる。		6
	第13章　純資産の意味と分類	○　純資産の意味と分類を明らかにする。 ○　株主資本とそれ以外の区分の概要を理解させる。		2
	第14章　資本金	○　株式会社の資本金について理解させる。 ○　資本金の増加・減少の処理方法に習熟させる。	◇純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第15章　資本剰余金	○　資本剰余金の意味と分類を明らかにする。 ○　資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法に習熟させる。 ○　会社の合併の意味と記帳法に習熟させる。		4
10月	第16章　利益剰余金	○　利益剰余金の意味と分類を明らかにする。 ○　利益準備金，任意積立金に関する基本的な記帳法を理解させる。 ○　剰余金の配当の意味と記帳法について理解させる。		4
	第17章　自己株式	○　自己株式の意味を理解させる。 ○　自己株式の取得・処分・消却の意味を明らかにし，それぞれの記帳に習熟させる。		2
	第18章　貸借対照表の作成	○　棚卸法と誘導法を理解させる。 ○　貸借対照表作成上の原則や注記などについて理解させる。 ○　貸借対照表の作成について，会社計算規則による場合を中心に習熟させる。	◇資産・負債・純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけ，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することがで	4
11月	第３編　損益計算書 第19章　損益計算書のあらまし	○　損益計算書の役割・区分・様式など，その概略を明らかにする。	◇収益・費用に関する処理法や損益計算書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく損益計算書を作成することができる。 また，損益計算書に関する基本的な会計理論についても，理解している。 ◇収益・費用に関する処理法や損益計算書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく損益計算書を作成することができる。 また，損益計算書に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第20章　損益計算の意味と基準	○　損益計算の意味を明らかにし，収益・費用の認識および測定基準，さらに，費用収益対応の原則について理解させる。		4
	第21章　売上高	○　売上高を計上する基準について理解させ，記帳や計算などに習熟させる。 ○　工事収益の計算と記帳に習熟させる。		6
12月	第22章　売上原価，販売費及び一般管理費	○　売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。		2
	第23章　営業外収益・営業外費用	○　営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。 ○　経常利益・経常損失の意味を明らかにする。		4
	第24章　特別利益・特別損失	○　特別利益・特別損失の意味・種類を理解させる。 ○　損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解させる。		2
	第25章　損益計算書の作成	○　損益計算書作成上の原則や注記などを理解させる。 ○　損益計算書の作成について，会社計算規則による場合を中心に習熟させる。		4
1月	第26章　その他の財務諸表	○　株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 ○　注記表・附属明細書の記載内容に触れる。		2
	第４編　財務諸表の活用 第27章　財務諸表のディスクロージャー	○　企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。	◇ディスクロージャーのあり方について理解するとともに，財務諸表分析に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また，財務諸表の活用の仕方を理解している。	2
	第28章　財務諸表分析	○　財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 ○　関係比率法・実数法による分析の種類を明らかにし，それぞれの計算方法について理解させる。		6
	５編　連結財務諸表 第29章　連結財務諸表のあらまし	○　連結財務諸表の意味や目的を明らかにし，連結財務諸表の概略を理解させる。 ○　親会社と子会社の意味，さらに連結財務諸表の重要性を理解させる。	◇連結財務諸表に関する各種の仕訳の意味を理解し，連結貸借対照表・連結損益計算書・連結株主資本等変動計算書作成のための知識を身につけている。 また，有価証券報告書を見て，連結財務諸表を有効に利用する基礎的・基本的な知識も身につけている。	2
2月	第30章　連結財務諸表の作成 PART１	○　連結貸借対照表の作成手続きを理解させる。 ○　子会社の資産・負債の時価評価による評価替えのための連結仕訳を理解させる。 ○　投資と資本の相殺消去の手続きについて，持株比率が100%の場合と100%未満の場合に分けて理解させる。 ○　連結精算表の作成手順について理解させる。		6
	第31章　連結財務諸表の作成 PART２	○　支配獲得日から１年経過後における連結貸借対照表作成について，その手続きの概略を理解させる。 ○　開始仕訳の必要性と意味について理解させる。 ○　当期分の連結仕訳として，のれんの償却，支配獲得日後に生じた子会社の純利益の振り替え，親会社と子会社相互間の債権・債務の相殺消去，親会社と子会社相互間の仕入と売上の相殺消去，未実現利益の消去，子会社の配当金の修正について理解させる。 ○　連結貸借対照表と連結損益計算書，連結株主資本等変動計算書のひな形を確認し，連結精算表から連結財務諸表を作成させる。		6
3月	総合記帳演習	○　１か月分の取引の記帳と決算を行う問題 ○　財務諸表の作成とそれを分析する問題	◇取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続の基本的な流れについて，理解している。	10

芝商業高校　平成２６年度　年間授業計画

教科：（商業）科目：（商品開発）　単位数：３単位　対象：（第２学年選択生徒）

使用教科書：商品開発（実教出版）

使用教材：なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目「商品開発」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第１章　商品と商品開発 序　節　第１章で学ぶこと １．　商品の多様化	○政治状況・法律制度，経済動向，社会・消費傾向，技術動向といったマクロ環境や，自社，競合企業，顧客といったミクロ環境などの，商品を取り巻く環境について理解させる。 ○環境分析の意義について認識させる。	◇商品の成り立ちやその範囲，商品を取り巻く環境と商品の関わりについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。	6
5月	２．商品開発の意義と手順	○商品開発の意義，商品のライフサイクルについて理解させる。 ○現代社会における商品開発の観点から，企業の社会的責任や法令遵守について認識させる。 ○販売後の商品の評価とそれに基づいて商品の改良を行うことの重要性について認識させる。 ○商品開発の手順と考え方について，その骨格を理解させる。	◇商品開発の意義と商品のライフサイクル，および企業の社会的責任についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品販売後の評価および改良，商品開発の基本的な手順と考え方について理解しているか。	6
	第２章　商品の企画 序　節　第２章で学ぶこと １．環境分析	○政治状況・法律制度，経済動向，社会・消費傾向，技術動向といったマクロ環境や，自社，競合企業，顧客といったミクロ環境などの，商品を取り巻く環境について理解させる。 ○環境分析の意義について認識させる。	◇商品を取り巻くマクロ環境およびミクロ環境についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇環境分析の意義について理解しているか。	4
6月	２．商品開発の意思決定と開発テーマの決定	○環境の分析結果をもとに，企業が自社の特徴を踏まえて商品開発に関する意思決定を行う過程について理解させる。 ○4W1Hにより開発テーマを整理・検討し，市場細分化によって標的市場を設定すること，またその意義について理解させる。	◇商品開発に関する意思決定を行う過程についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇開発テーマの決定と標的市場の設定，またその意義について理解しているか。	3
	３．市場調査	○市場調査の内容を認識させ，資料調査と実態調査の二つの市場調査の方法について理解させる。 ○市場調査の五つの手順について理解させる。	◇市場調査についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇市場調査の方法およびその手順について理解しているか。	6
	４．商品コンセプトの立案と商品企画書の作成	○商品コンセプトを考案することの重要性について認識させる。 ○企業内の企画会議で提案することを想定して市場調査を行い，ブレーンストーミングやKJ法などを用いて商品コンセプトを考案する実習をさせる。 ○商品名・商品コンセプト・キャッチコピー・商品イメージ・開発背景・競合商品に対する優位性を含めた，具体的な商品企画書を作成する実習をさせる。 ○商品企画書に基づき，社内向けのプレゼンテーションを行う実習をさせる。	◇商品コンセプトの立案および商品企画書の作成についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品コンセプトを考案することの重要性，および商品企画書作成の意義について理解しているか。	10
7月	第３章　商品の開発 序　節　第３章で学ぶこと １．商品の仕様と詳細設計	○商品仕様と仕様書に基づいた詳細設計，およびコンピュータによる設計とその評価について理解させる。 ○商品仕様に関する具体的な事例を取り上げ，開発者のねらいについて考察させる。	◇商品の仕様と詳細設計についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品の仕様および詳細設計を決定する目的について理解しているか。	4
	２．試作品の作成と評価	○詳細設計に基づき，試作品を作成し，評価の項目と基準を設定して試作品を評価し，設計・仕様の変更を行う過程について理解させる。	◇試作品の作成についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇試作品を作成する目的，および試作品を評価して設計・仕様の変更を行う過程について理解しているか。	3
9月	３．開発商品のテスト	○機能テストや消費者テスト，市場テストなど開発商品に関するテストの方法について理解させる。 ○開発商品のテストによって，商品コンセプトの仮説検証を行うことの重要性について理解させる。	◇開発商品のテストに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇開発商品のテストによって商品コンセプトの仮説検証を行うことの重要性について理解しているか。	3
	４．事業計画の立案	○生産計画，マーケティング計画，財務計画といった事業計画の流れとその内容について理解させる。 ○事業計画をまとめ，社外向けの事業計画書を作成し，プレゼンテーションを行う実習をさせる。 ○販売後の市場調査に基づく事業計画の再検討の重要性について理解させる。	◇事業計画の流れとその内容，および事業計画書の作成についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇事業計画書作成の目的および販売後の市場調査に基づく事業計画の再検討の重要性について理解しているか。	10
10月	第４章　商品開発とデザイン 序　節　第４章で学ぶこと １．デザインの基礎	○商品開発においてデザインが果たす役割について理解させる。 ○デザインの種類と，商品開発と関わりの深いデザインについて認識させる。 ○配色や構成などデザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。	◇商品開発に関わるデザインについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品開発においてデザインが果たす役割，および商品開発に関わりの深いデザインについて理解しているか。	3
	２．パッケージデザイン	○パッケージデザインの機能や種類，制作上の重視点について認識させる。 ○パッケージデザインの具体的な事例を取り上げ，その効果について考察させる。 ○パッケージデザインの技法を習得させ，実際にパッケージデザインを作成する実習をさせる。	◇パッケージデザインについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇パッケージデザイン制作上の重視点について理解しているか。 ◇コンピュータを活用したパッケージデザインについての知識を身に付けているか。	6
11月	３．グラフィックデザイン	○グラフィックデザインの目的と社会性，種類について理解させる。 ○グラフィックデザインの具体的な事例を取り上げ，その効果について考察させる。 ○グラフィックデザインの技法を習得させ，実際にPOP広告や広告ポスターを作成する実習をさせる。	◇グラフィックデザインについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇グラフィックデザインの目的や効果について理解しているか。 ◇コンピュータを活用したグラフィックデザインについての知識を身に付けているか。	5
12月	第５章　商品開発と知的財産権 序　節　第５章で学ぶこと １．知的財産権の内容	○知的財産の保護の重要性について，偽ブランドや偽キャラクター商品など知的財産権の侵害に関する具体的な事例の考察を通して認識させる。 ○特許権，実用新案権，意匠権，著作権，商標権の概要とビジネスにおける活用の意義を理解させる。 ○不正競争防止法の目的について認識させる。	◇知的財産権および不正競争防止法についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇知的財産の保護の重要性および不正競争防止法の目的について理解しているか。	5
	２．知的財産権の取得	知的財産の権利化の意義について理解させる。 ○特許権，実用新案権，意匠権，商標権について，取得手続きの概要を理解させる。	◇特許権，実用新案権，意匠権，商標権の取得手続きについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇知的財産の権利化の意義について理解しているか。	4
1月	第６章　商品流通と流通を支える活動 序　節　第６章で学ぶこと	○取得した知的財産権について，独占的販売やライセンス取得など，その活用方法について理解させる。	◇取得した知的財産権の活用方法についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇取得した知的財産権を活用することの意義について理解しているか。	2
	１．流通の仕組みと市場	○流通の役割，流通の仕組みとその変化，および流通系列化について理解させる。 ○商品流通における市場の役割と課題について，具体的な事例を取り上げて理解させる。 ○卸売業と小売業の主要な形態や特性について理解させる。 ○業態ごとの流通戦略について，具体的な事例を取り上げて理解させる。	◇流通の役割，流通の仕組みとその変化，および流通系列化についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品流通における市場の役割と課題，卸売業と小売業の主要な形態や特性，業態ごとの流通戦略について理解しているか。	4
	２．売買業者の商品計画	○卸売業と小売業における商品計画の重要性について理解させるとともに，卸売業と小売業の今後の方向について考察させる。 ○プライベートブランド商品の開発の意義について理解させる。	◇卸売業と小売業における商品計画の重要性についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇プライベートブランド商品の開発の意義について理解しているか。	2
2月	３．流通手段の多様化	○ダイレクト・マーケティング，通信販売，電子商取引などの無店舗販売を例に，多様化した流通手段について理解させる。 ○商品の特性に応じた流通手段の選択について，具体的な事例を取り上げて理解させる。	◇無店舗販売をはじめとした，多様化した流通手段についての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇商品の特性に応じた流通手段を選択することの意義について理解しているか。	4
	４．物流と流通を支えるその他の活動	○物流の働きと仕組み，また流通の支援機能である金融・保険の働きと仕組みについて理解させる。 ○合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について，具体的な例を取り上げて理解させる。	◇物流の働きと仕組み，また流通の支援機能である金融・保険の働きと仕組みについての基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇流通を支援する情報システムの概要について理解しているか。	5
3月	第７章　総合実習	○これまで学習した内容（特に第２～４章）に基づき，商品開発を行う実習をさせる。	◇これまで学習した，商品開発を行うための基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 ◇これまで学習した知識を組み合わせて，総合的な実習を行うことの意義について理解しているか。	10

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(情報処理)　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：最新情報処理（実教出版）

使用教材：全商情報処理検定模擬問題集１級（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「情報処理」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	表計算ソフトウエアの活用	表計算ソフトウエアの特色を理解し、ビジネス情報の処理に活用するための応用的な知識、技術を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	ハードウエアとソフトウエア	コンピュータの仕組みや個々のハードウエアの概要を理解し、目的に応じた機器の選択・利用ができる応用的な知識を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	表の作成、データ入力、計算、保存、印刷などの応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
５月	ハードウエアとソフトウエア	ソフトウエアの役割を理解するとともに、ソフトウエア利用のための応用操作を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（数学/三角関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	ビジネスとコンピュータ	ビジネス情報の処理におけるコンピュータの役割と情報システムの特徴を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
６月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワーク	主な情報通信ネットワークの構成や利用形態の概要を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワーク	インターネットの詳しい仕組みやビジネスにおける様々な利用方法について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
７月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワークの利用	情報通信ネットワークを利用した情報の収集や活用の方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
９月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（検索、行列、文字列操作関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	モラルとセキュリティ	情報化社会の課題を理解し、これに正しく対処する知識と利用者としての態度を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	絶対参照の考え方と利用法および相対参照との違いを理解する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報化社会の問題点とその対応	情報通信ネットワークにおいてセキュリティを高める方法、暗号化について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（グラフの作成）	グラフの種類と特色を理解し、表計算ソフトウエアを利用して様々なグラフを作成する方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
１０月	ビジネス情報とデータベース	データベースの特徴とビジネスへの活用の意義を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（整列、オートフィルタの利用）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベースの利用	データベースソフトウエアの構造を理解し、いろいろな操作方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１１月	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベースの設計	データベースの設計を理解し、正規化の概念を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（ビジネス文書の作成）	表計算ソフトを利用した発展的な報告書の作成方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	経営マネジメント	問題解決の手法（思考整理法、図表による分析、統計的分析、経営分析）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１２月	表計算ソフトウエアの活用	ソルバー、ゴールシークなど最適解を求める応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（挿入、更新、削除）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１・２月	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（ＳＥＬＥＣＴ　ＦＲＯＭ　ＷＨＥＲＥの応用的な使い方）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(原価計算)　単位数：3単位　対象:(第2学年選択生徒)

使用教科書:原価計算(実教出版)

使用教材:新検定用　反復式学習と検定　原価計算問題集全商1級(実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「原価計算」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	原価計算の基礎	○　工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 ○　工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ○　原価の意味（製造原価・総原価）を理解させる。 ○　原価要素の性格とその分類について理解させる。 ○　原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 ○　原価計算の四つの目的について理解させる。 ○　原価計算の手続きについて理解させる。 ○　原価計算期間について理解させる。 ○　原価計算の種類について理解させる。 ○　原価計算基準のあらましを理解させる。 ○　工業簿記における勘定の記入の特徴を理解させる。 ○　工業簿記に特有な勘定科目とそれぞれの記帳方法を理解させる。 ○　工業簿記の一連の記帳手続きを学習させることにより，全体的な構造を理解させる。 ○　工業簿記の帳簿組織を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	2
	原価の費目別計算 材料費の記録と記帳	○　棚卸減耗の意味とその処理方法を理解させる。 ○　材料の払出手続きと材料仕訳帳の記帳方法，原価元帳，製造間接費内訳表への記入方法について理解させる。 ○　材料の消費数量と材料消費単価の計算方法について理解させる。 ○　予定価格により，消費高を計算することの意味，予定価格を用いた二通りの記帳法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	4
5月	原価の費目別計算 労務費の記録と記帳	○　労務費の分類とその内容を理解させる。 ○　賃金支払高の計算方法と賃金支払帳の記帳方法を理解させる。 ○　賃金消費高の計算方法と賃金仕訳帳の記帳方法を理解させる。 ○　予定賃率による消費賃金の計算方法と記帳方法を理解させる。 ○　賃金以外の労務費の種類，その計算方法と記帳方法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	2
	中間テスト			
6月	原価の費目別計算 経費の記録と記帳	○　経費の意味とその分類を理解させる。 ○　経費の計算方法と経費仕訳帳の記帳方法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	2
	個別原価計算	○　原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 ○　製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 ○　価額法について理解させる。 ○　直接作業時間法による配賦，機械運転時間法による配賦を理解させる。 ○　実際配賦率による配賦の欠点を説明し，予定配賦率による配賦を理解させる。 ○　製造間接の差異分析の方法を理解させる。 ○　仕損品・作業くずの処理を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	4
7月	1学期期末考査 総合問題演習	○1学期に学んだ知識を活用し、材料の仕入から個別原価計算の計算・仕訳・記帳ができるように練習させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	4
	夏休み			
9月	部門別原価計算	○　部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ○　原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ，各部門の役割を理解させる。 ○　部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ○　部門費配分表，部門費振替表を作成させ，それぞれにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　製造部門費予定配賦表を作成させ，それにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	10
10月	部門別原価計算	○　部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ○　原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ，各部門の役割を理解させる。 ○　部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ○　部門費配分表，部門費振替表を作成させ，それぞれにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　製造部門費予定配賦表を作成させ，それにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	2
	2学期中間考査			
	単純総合原価計算	○　生産形態の違いから，原価計算の方法も異なることを理解させる。 ○　個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ○　総合原価計算の種類と全体的な手続きの流れを理解させる。 ○　月末仕掛品の種類と全体的な手続きの流れを理解させる。 ○　月末仕掛品完成品換算数量・加工費・仕上がり程度などの用語の意味を理解させる。 ○　平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の評価をマスターさせる。 ○　単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と単純総合原価計算のしくみを理解させ単純総合原価計算表の作成に習熟させる。 ○　等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解させ，等級別総合原価計算表の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	15
	等級別総合原価計算			
11月	組別総合原価計算	○　組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解させ組別総合原価計算表の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方	6
	工程別総合原価計算	○　工程別総合原価計算の意味と目的，手続きについて理解させる。 ○　工程別総合原価計算表の作成を通して，工程別総合原価計算のしくみを理解させる。 ○　工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 ○　半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 ○　副産物・作業くず・仕損品の意味と，それぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	6
12月	2学期期末考査			
	製品の完成・販売と決算	○　販売費および一般管理費の記帳方法を理解させる。 ○　月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ○　財務諸表の特色を理解させ，製造原価報告書の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度	9
	冬季休業			
1月	冬季休業			
	標準原価計算と直接原価計算	○　経営管理に役立つ原価計算の必要性を理解させる。 ○　標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知らせる。 ○　直接原価計算が利益計画に適している理由を知らせる。 ○　標準原価計算の意義と特色，全体的な流れを理解させる。 ○　原価標準の設定のしかたについて理解させる。 ○　完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 ○　原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 ○　標準原価計算の記帳方法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	15
	全商簿記検定１級受検			
2月	総合問題演習	○１月までに学んだ知識をより深く理解し、応用問題にも対応できるようになる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方	12
	日商簿記検定			
3月	記帳練習例題	○　正しく，きれいに記帳する習慣を身につけさせ，工業簿記全体の構造をしっかり把握させる。 ○　特殊仕訳帳の記帳，材料元帳などの補助元帳の記帳，予定賃率による賃金勘定への記入，製造間接費の予定配賦など，個別原価計算のしくみについて，しっかりと把握させる。 ○　総合原価計算のしくみと仕訳・記帳についてしっかりと理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	12
	学年末考査			
	記帳練習例題			
	記帳練習例題			
	記帳練習例題			

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(マーケティング)　単位数：2単位　対象:(第2学年選択生徒)

使用教科書：マーケティング（実教出版）

使用教材：商業経済検定模擬試験問題集１・２級（実教出版社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「マーケティング」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	現代市場とマーケティング	現代市場が生まれた背景とその特徴について理解させる。 マーケティングの意義や役割とその内容を理解させる。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート	8
５月	市場調査	市場調査の必要性や内容について理解を深める。 状況分析や調査についての手順についての方法を身に付ける。 実態調査の方法を学び市場調査の実習に関する知識について理解を深める。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	8
６月	消費者行動	消費者による問題解決行動としての購買や購買とマーケティング活動について学び購買意思決定に影響を及ぼす要因について考えを深める。 購買にいたる意思決定過程について学ぶ。 製品のライフサイクルと製品の普及や顧客層の変化について考える。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	3
７月	販売計画	合理的な企業活動のための的確な販売計画案について学ぶ。 販売計画の必要性について学び販売予測ができる力を養う。 販売計画の立案や実施について理解を深める。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	3
	製品計画	製品計画の概要として、製品計画の重要性や内容について学ぶ。 製品ミックスと製品政策について考える。 製品計画は常に消費者ニーズの把握が重要であることに留意させる。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	4
９月	仕入計画と商品管理	仕入計画の重要性と計画立案の手順を理解させる。 商品管理の意味や在庫管理について関心を持たせる。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	8
１０月	販売価格	販売価格の意味や種類・構成など販売価格を決定するまでの過程について学ぶ。 販売価格の決定にはどのような影響が要因として考えられるかについて考えを深める。 価格戦略の意味や卸価格政策、小売価格政策について学ぶ。 価格の維持・安定政策に関する問題点についても関心を持ち、社会の変化について自分の考えをまとめる力を養う。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	8
１１月	販売経路	販売経路と販売経路政策の意味について理解する。 販売経路の形態について調べる。 販売経路を設定する基準について学ぶ。 販売経路の強化の方向性を知り、販売経路の系列化や短縮化、効率化について考える。 販売経路の多様化を理解する。 商品によってさまざまな流通経路があることを認識させ、それぞれの特徴について理解を深め	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	6
１２月	販売促進	販売促進の重要性について学ぶ。特に販売促進の役割や販売促進の内容、進め方については具体的な事例で理解を促す。 身近な広告の意義を知り広告の計画と実施、種類について考える。 PR活動とパブリシティ戦略について学ぶ。		6
１月	販売促進	販売員活動について学ぶ。販売員活動の特質や手順について考える。 販売員に必要な資質と知識とは何か、あらゆる立場で視点を変えて理解を深める。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	4
	商業経済検定の対策	商業経済検定の対策を行う。		2
２月	販売促進	ブランドの意味や展開について知る。 ブランドのライフサイクルを身近な製品を使って理解する。 ブランドの機能とはどのようなことか考えを深める。	出席状況 授業への取り組み（意欲・関心・態度） ノート・定期考査	10

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(経済活動と法)　単位数：2単位　対象：(第2学年選択生徒)

使用教科書：（実教出版）

使用教材：経済活動と法　問題集　新訂版（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「経済活動と法」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第1章経済社会と法 ◎経済社会における法の役割、法の意義と体系	・授業ガイダンス ・経済活動における法の役割を理解させる。 ・法の意義と体系を理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・経済生活や市民生活における法の存在を具体的に示すことができ、学習しようとしているか。	2
	第1章経済社会と法 ◎経済環境など社会の変化と法、法の適用と解釈	・経済環境など社会の変化と法を理解させる。 ・法の適用と解釈を理解させる。	【技能・表現】 ・法の適用と解釈が具体例についてなしうることができるか。	2
	第2章　権利・義務と財産権 ◎権利と義務、権利・義務の主体 ◎自然人の権利能力	・権利と義務、権利・義務の主体を理解させる。 ・自然人の権利能力について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・われわれの生活の成り立ちが権利と義務にわけられ、その両面から考えられることを理解すること	1
	〃	第１章、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
5月	◎自然人の行為能力と制限行為能力者制度	・自然人の行為能力と制限行為能力者制度を理解させる。	【思考・判断】 ・なぜ制限能力者制度があり許されるのか、法の目指す正義の視点から説明できるか。	1
	◎法人	・法人についての内容を理解させる。	【知識・理解】 ・法人に関して、権利・義務についての考え方を学習しようとしているか。	1
	◎物	・物の種類について理解させる。 ・財産権とその種類（所有権、相隣関係、用益物権）について理解させる。	【知識・理解】 ・物の概念と範囲の理解が「経済活動と法」の学習の基礎的な大切な存在ととらえているか。	1
	◎財産権とその種類（所有権、相隣関係、用益物権）	・財産権とその種類（占有権、債権、知的財産権、有価証券）について理解させる。	【技能・表現】 ・財産権の内容として経済的利益が内包されるべきことを例示できるか。	2
6月	◎財産権とその種類（占有権、債権）	・財産権とその種類（占有権、債権）について理解させる。	【知識・理解】 ・財産権である、占有権、債権の意味を知り、考え方を学習しようとしているか。	2
	◎財産権とその種類（知的財産権、有価証券）	・財産権とその種類（知的財産権、有価証券）について理解させる。	【知識・理解】 ・財産権である、知的財産権、有価証券の意味を知り、考え方を学習しようとしているか。	2
	第3章　財産権と契約そしてその保護 ◎取引と契約、契約の一般原則 ◎真意でない意思表示	・取引と契約、契約の一般原則について理解させる。	【思考・判断】 ・なぜ契約は自由であるべきなのか、なぜそれが原則であるのか、自らの思考に基づき解答しうる	2
	◎契約と意思表示（瑕疵ある意思表示）	・契約と意思表示（瑕疵ある意思表示）について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・瑕疵ある意思表示について、その制度を理解し、関心が持てたか。	2
	◎意思表示の効力発生時期 ◎法律行為の無効と取り消し	・意思表示の効力発生時期について理解させる。 ・法律行為の無効と取り消しについて理解させる。	【知識・理解】 ・経済活動を起動させる契約、それを巡る諸事項を自分のものとなしえたか。	1
7月	◎条件、期限、および期間	・条件、期限、および期間について理解させる。 ・代理契約について理解させる。	【技能・表現】 ・契約の成立要件、条件、期限、瑕疵などの点から、表現できるか。	2
	◎代理契約	・代理契約についての内容を理解させる。	【知識・理解】 ・代理契約についの意味を知り、考え方を学習しようとしているか。	2
	〃	定期考査、第１章、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
9月	第3章　財産権と契約そしてその保護 ◎売買、不動産、動産の売買	・売買、不動産、動産、債権の売買について理解させる。	【思考・判断】 ・売買とビジネスの経済的意味について、的確な思考判断ができたか。	1
	◎売買契約の保証（売主の担保責任）	・売買契約の保証（売主の担保責任、同時履行の抗弁権、危険負担）について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・売買の実行行為に伴う法の存在を、経済活動の視点から理解し関心を示したか。	2
	◎売買契約の保証（同時履行の抗弁権、危険負担）	・売買契約の保証について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・売買契約の保証についての知識を知り、関心をもって学習することができたか。	1
	◎消費貸借、賃貸借の契約	・消費貸借、賃貸借、宅地の貸借について理解させる。	【技能・表現】 ・物の貸借とが一般に有償であること、金銭の貸借については特に法定利息の場合もあることの理	2
	◎宅地の貸借	・建物の貸借、使用貸借について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・貸借の種類とそれに伴う「相互作用」について関心をもつことができたか。	1
10月	◎建物の貸借（１）、（２）	・建物の貸借について学び理解させる。	【思考・判断】 ・建物の貸借について、具体的な事例を踏まえ、その法的な考え方を学ぶことができたか。	2
	◎使用貸借、事例研究	・使用貸借について学び理解させる。	【思考・判断】 ・使用貸借について、具体的な事例を踏まえ、その法的な考え方を学ぶことができたか。	2
	◎契約によらない財産権の変動 ◎時効の制度、	・契約によらない財産権の変動について理解させる。 ・時効の制度について理科させる。、	【技能・表現】 ・時効についてその制度と立法の趣旨に関心がもてたか。	1
	〃	定期考査、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
11月	◎所有権が取得できる特別な場合 ◎債権、債務が消滅する特別な場合	・所有権が取得できる特別な場合について理解させる。 ・債権、債務が消滅する特別な場合について理解させる。	【思考・判断】 ・所有権移転の時期やその対抗要件について、的確な思考判断ができたか。	1
	◎物権の保護 ◎債権の保護	・物権の保護について理解させる。 ・債権の保護について理解させる。	【思考・判断】 ・財産権の保護の一環として物的担保・人的担保が法として整備されることを理解できたか。	2
	◎債権者平等の原則と担保物権	・債権者平等の原則と担保物権について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・債権者平等の考え方について学び、関心をもつことができたか。	2
	◎約定担保物権	・約定担保物権について	【関心・意欲・態度】 ・約定担保物権の考え方について学び、関心をもつことができたか。	1
12月	◎譲渡物権、所有権留保	・譲渡物権について学び理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・譲渡物権の考え方について学び、関心をもつことができたか。	1
	◎人による債権の担保、保証債務	・人による債権の担保、保証債務について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・保証債務の考え方について学び、関心をもつことができたか。	1
	◎連帯債務 ◎連帯保証債務	・連帯債務について理解させる。 ・連帯保証債務について理解させる。	【知識・理解】 ・財産権の保護に関して理解するにあたり、PL法など関連する法を意識できたか。	1
	〃	定期考査、第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
1月	◎一般の不法行為	・一般の不法行為について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・一般の不法行為と特殊な不法行為について、関心・理解ができたか。	1
	◎特殊な不法行為	・特殊な不法行為について理解させる。	【知識・理解】 ・事例により不法行為の成立要件を学び理解できたか。	2
	◎不法行為と損害賠償	・不法行為と損害賠償について理解させる。	【思考・判断】 ・不法行為について、事例を考えることにより、損害賠償についても学ぶことができたか。	1
	〃	第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
2月	◎商人、商行為、商業使用人 ◎営業自由の原則と制限	・商人、商行為、商業使用人について学び理解させる。 ・営業自由の原則と制限について学び理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・商人についての学び、法的にどのように扱われるのかについて、関心・理解ができたか。	2
	◎サービス関連の企業活動と法	・サービス関連の企業活動と法について学び、理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・現代を取り巻く、サービス関連の企業について学び、関係する法について、関心・理解ができたか。	1
	◎株式会社と法 株式会社設立の手続き、株式の種類と譲渡	・株式会社設立の手続き、株式の種類と譲渡について理解させる。	【知識・理解】 ・株式会社に関する知識を学び理解できたか。	1
	◎株式と社債 ◎株式の会社の機関とその種類 ◎株主総会	・株式と社債、株式会社の機関とその種類、株主総会について理解させる。	【知識・理解】 ・株主総会について、その仕組みを学び、理解できたか。	2
	〃	第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	1
3月	◎手形・小切手の意義と性質 ◎手形行為と小切手行為	・手形・小切手の意義と性質について理解させる。 ・手形行為と小切手行為について理解させる。	【知識・理解】 ・手形と小切手について、その仕組みを学び、理解できたか。	1
	◎約束手形の振り出しと裏書、支払い	・約束手形の振り出しと裏書、支払いについて理解させる。	【思考・判断】 ・約束手形の振り出しについて、事例を考えることにより、そのしくみについて学ぶことができたか。	1
	◎為替手形の振り出し	・為替手形の振り出しについて理解させる。	【思考・判断】 ・為替手形の振り出しについて、事例を考えることにより、そのしくみについて学ぶことができたか。	1
	◎小切手、線引小切手 ◎小切手の遡求	・小切手、線引小切手について理解させる。 ・小切手の遡求について理解させる。	【思考・判断】 ・小切手の振り出しや、遡及の制度について、そのしくみについて学ぶことができたか。	1
	〃	定期考査	【知識・理解】 ・一年間を通して、法について興味をもち学習することができたか。	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(ビジネス情報)　単位数：2単位　対象:(第2学年選択生徒)

使用教科書：ビジネス情報（東京法令出版）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「ビジネス情報」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	オフィス業務と情報通信ネットワーク	業務の情報化	授業への取組状況	4
5月		情報通信ネットワークの導入と運用 データの保護	提出物 授業への取組状況	8
6月	表計算ソフトのウェアの活用	ビジネス計算 単利・福利の計算、年金・積立金・賦金の計算、債権の計算・株式の計算	提出物 授業への取組状況 小テスト	12
7月 9月		データの集計・分析　　データの集計・データの分析	授業への取組状況	10
10月		オペレーションズリサーチの基礎 手続きの自動化	提出物 授業への取組状況	10
11月 12月	データベースソフトウェアの活用	ビジネスとデータベース 基本的なデータベースの作成 ＳＱＬ	提出物 授業への取組状況 小テスト	12
1月 2月 3月	ソフトウェアを活用したシステム	アルゴリズム 表計算ソフトウェアの活用 システム開発	提出物 授業への取組状況	12

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(ビジネス実務)　単位数：3単位　対象:(第2学年選択生徒)

使用教科書：実教出版

使用教材：暁出版

	指導内容 【年間授業計画】	科目「ビジネス実務」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	珠算による計算 ・加減算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
5月	珠算による計算 ・乗算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
6月	珠算による計算 ・除算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
7月	珠算による計算 ・乗除定位法 ・補数計算 ・暗算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	4
9月	電卓による四則計算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
10月	電卓による金利計算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
11月	電卓による売買・損益計算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	8
12月	電卓による証券投資の計算	各生徒の計算能力にあった学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢 ・課題の計算量および正答率	4
1月	オフィス実務 ・企業の組織と人間関係	会社という組織を理解させ、社会人として望ましい心構えを考えさせる。 チームの一員としての自覚と心構えについて考える。	「ビジネス実務」 実教出版	1
	オフィス実務 ・ビジネスマナー	場面に応じた「挨拶」の必要性を理解させる。 名刺の交換などの実習をさせて、習得させる。		2
		電話の仕方と苦情処理のロールプレーリング 来客の対応		4
2月	「ビジネスコミュニケーション」	コミュニケーションとは。 コミュニケーションの取り方と心得		1
		ディスカッションの取り方と心得 ディスカッションの方法と練習		4
		プレゼンテーションの仕方・方法・ポイント プレゼンテーション作成		6
		プレゼンテーションの発表		1
3月	「オフィス実務」	業務進行の方法や受け方 スケジュール管理について		2
		オフィス環境について		2
		会議の意味と進め方		2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(総合実践)　単位数：3単位　対象:(第3学年A組～F組)

使用教科書：なし

使用教材：（総合実践の手引き）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「総合実践」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	総合実践全体の説明	座席の確認、手引、営業日誌、トレー、名札、印鑑等の配布 記名、日誌の書き方とメモの取り方	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	1
	総合実践全体の説明	指導教諭紹介 一般規定の説明と業務上の注意事項(押印・訂正・検印)　等	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	総合実践全体の説明	ビジネスマナー 記帳練習の続き　検印	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
5月	総合実践全体の説明	期首の財政状態　　帳簿開設について	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	総合実践全体の説明	期首の財政状態　　帳簿開設について	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	総合実践全体の説明	ビジネスマナー 帳簿開設・パソコン操作期首設定 帳簿開設の検印最終確認・当座取引・定期預金の説明	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	総合実践全体の説明	ビジネスマナー 帳簿開設・パソコン操作期首設定 帳簿開設の検印最終確認・当座取引・定期預金の説明	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
6月	総合実践全体の説明	帳簿開設の検印最終確認・パソコン操作期首設定	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	総合実践全体の説明	パソコン期首設定・当座取引・定期預金の説明 ビジネスマナー	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	他市場取引１回目	他市場取引１回目 （注文書と注文請書・商品の発送と仕入・代金決済） ４月分給料・諸経費の支払い	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの伝票送付	3
	４月分月末教務	４月分月末教務。４月分消耗品費支払い（5/1日付） 帳簿・書式類の提出と準備と１学期期末考査対策	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	４月分月末教務	４月分月末教務の完了。４月分消耗品費支払い（5/1日付） 帳簿・書式類の提出と準備と２学期期末考査対策	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
7月	他市場取引１回目	提出物の返却　期末考査返却　　営業日誌について 他市場取引・同一視上取引の続き	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	他市場取引１回目	他市場取引・同一取引のつづきを行う。	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
9月	他市場取引１回目	一学期からの継続事項の確認と約手満期日の処理→検印 月末業務の説明	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	他市場取引１回目	月末業務　4月分書式請求書【5/1日付処理】 ヒジネスマナー　　預り金の支払【5/5日付】　自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	自由取引	自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	自由取引	自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	諸経費支払い	５月分　給料・水道光熱費・通信費の支払い　自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
10月	月末業務	ビジネスマナー　　月末業務	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	月末業務	５月　月末業務	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	自由取引	現金引き出し ６月分　預り金等支払い　　自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	自由取引	自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
11月	自由取引	ビジネスマナー 自由取引 定期預金の預け入れ（仕入係）	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの伝票送付	2
	自由取引	ビジネスマナー 自由取引 ７月分　給料・水道光熱費・通信費の支払い	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの伝票送付	3
	自由取引	７月　月末業務末完成目指す（約束手形満期日の処理後） ７月分　照合表作成	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	月末業務	月末業務　→　７月分書式代支払【９／１日付】 帳簿・書式類の提出準備 二学期の反省・感想など	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
12月	月末業務	月末業務　→　７月分書式代支払【９／２日付】 帳簿・書式類の提出準備 二学期の反省・感想など	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	自由取引	提出物の返却 １日→書式代支払　５日→預り金等支払　　自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	自由取引	自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
1・2月	自由取引	自由取引	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	自由取引	９月分　給料・水道光熱費・通信費の支払い 自由取引 決算書式の配布と説明	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	3
	月末業務・決算業務	９月末業務・決算業務	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	2
	月末業務・決算業務	先生方の贈る言葉 決算業務　　提出準備	営業日誌・身だしなみ・ 帳簿記入・PCの入力	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔簿記演習総合〕)　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：（実教出版『新財務会計Ⅰ』･『原価計算』）

使用教材：（実教出版『反復式　学習と検定　会計問題集　全商１級会計』及び『反復式　学習と検定　原価計算問題集　全商１級原価計算』等）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（簿記演習総合）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	5
5月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	8
6月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	13
7月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	6
9月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	10
10月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	8
11月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	8
12月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	11
1･2月	・全商１級会計及び原価計算 ・日商簿記２級及び1級	生徒各自が目標と定めた検定の学習内容について理解を深めさせる。	授業への取り組み態度 課題の進捗状況	7

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔秘書実務〕)　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：

使用教材：プリント等

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（秘書実務）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	秘書の役割	秘書の役割と秘書の仕事内容について知り、秘書とは何かを理解する。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	6
	秘書の心得	秘書の心得と、求められる人柄について知る	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	6
5月	秘書のマナー	話し方・聞き方のマナーを知り、秘書にふさわしい話し方・聞き方を身に付ける。 指示の受け方・報告の仕方について知り、秘書にふさわしい指示の受け方・報告の仕方を身に付ける。 敬語・接遇用語について知り、ビジネスの場面にふさわしい言葉遣いを身に付ける。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	12
6月 7月		来客の応対について知り、相手や状況に合わせた応対の仕方について理解する。 電話の応対の仕方について知り、ビジネス電話の応対の仕方について理解する。 慶弔と贈答の習慣やマナーについて知り、交際や接待について理解する	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	18
9月	秘書の技能（定型業務について）	オフィスの環境整備やレイアウトについて知り、オフィスの維持・管理について理解する。 スケジュールの管理について知り、スケジュールの調整や緊急時の対応について理解する。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	12
10月	秘書の技能（会議について）	会議について知り、会議の開催に関わる業務について理解する。。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	6
	秘書の技能（文書・資料の扱い方）	ビジネス文書の形式や作成方法について知る。。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	6
月		文書の受信・発信とファイリングについて知り、ビジネスにおける文書管理の技法を理解する。 資料の管理について知り、ビジネスにおける資料管理の技法を理解する。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	12
12月	秘書の技能（郵便について）	郵便に関する知識を知り、活用する技術を身に付ける。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	6
1月 2月	ビジネスマナーについて	ビジネスの様々なシーンにおけるマナーについて理解し、職場で円滑なコミュニケーションが取れる能力を身に付ける。	観察（発言・発問） 演習課題の取組状況	21

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究[ビジネス実務])　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：

使用教材：「見てわかる 基本のビジネスマナー」(西東社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（ビジネス実務）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	コラムを読む	新聞のコラムを読み、分からない言葉を調べて趣旨を理解してパソコンでワードを利用して文章を入力し、趣旨をまとめるとともに自分の意見や感想などを文章化して入力し、一枚のレポートにまとめる作業を行う。	①形式をまとめる能力②文章を理解し、要約する能力③自分の意見を表現する能力など	4
	ペン書きの練習	ひらがな・カタカナの基本からペン書きの練習を行い、漢字までペン書きの練習を行い、自分の文字の癖を取り、基本的な楷書が書けるよう練習を重ねる。	①丁寧に課題に取り組む姿勢を評価。成果は、文字の丁寧さ・技術の上達で判断。	4
5月	コラムを読む	新聞のコラムを読み、分からない言葉を調べて趣旨を理解してパソコンでワードを利用して文章を入力し、趣旨をまとめるとともに自分の意見や感想などを文章化して入力し、一枚のレポートにまとめる作業を行う。	①形式をまとめる能力②文章を理解し、要約する能力③自分の意見を表現する能力など	2
	ペン書きの練習	ひらがな・カタカナの基本からペン書きの練習を行い、漢字までペン書きの練習を行い、自分の文字の癖を取り、基本的な楷書が書けるよう練習を重ねる。	①丁寧に課題に取り組む姿勢を評価。成果は、文字の丁寧さ・技術の上達で判断	4
	ビジネスマナー	ビジネスマナーの一般的なことについて、副教材を利用しながら学習する。 自分が理解していなかった分野をレポートにまとめ、理解を深める。	学習到達度をテストを実施して判断	4
6月	コラムを読む	新聞のコラムを読み、分からない言葉を調べて趣旨を理解してパソコンでワードを利用して文章を入力し、趣旨をまとめるとともに自分の意見や感想などを文章化して入力し、一枚のレポートにまとめる作業を行う。	①形式をまとめる能力②文章を理解し、要約する能力③自分の意見を表現する能力など	3
	ペン書きの練習	ひらがな・カタカナの基本からペン書きの練習を行い、漢字までペン書きの練習を行い、自分の文字の癖を取り、基本的な楷書が書けるよう練習を重ねる。	①丁寧に課題に取り組む姿勢を評価。成果は、文字の丁寧さ・技術の上達で判断	3
	名刺交換	ビジネスマナーの名刺交換について、実習して、体験しながら学習する。	①実習に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、テストを実施。	2
	自分を知る	「他人を知る・自分を知る」ということをテーマにいくつかの課題を提示してグループディスカッションを行い、自分を取り巻く人々をよりよく理解し、自分の持ち味を知り、自己表現力をつける一助とする。	①他人の前で自分を語り課題に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、レポートで確認	2
	ビジネスマナー	ビジネスマナーの一般的なことについて、副教材を利用しながら学習する。 自分が理解していなかった分野をレポートにまとめ、理解を深める。	学習到達度をテストを実施して判断	1
7月	ペン書きの練習	ひらがな・カタカナの基本からペン書きの練習を行い、漢字までペン書きの練習を行い、自分の文字の癖を取り、基本的な楷書が書けるよう練習を重ねる。	①丁寧に課題に取り組む姿勢を評価。成果は、文字の丁寧さ・技術の上達で判断	5
	ビジネスマナー	ビジネスマナーの一般的な項目について、学習の成果をテストを実施して確認する。	学習到達度をテストを実施して判断	3
9月	漢字の練習	熟語・都道府県などの課題に取り組み、一般常識を学習するとともに、進路活動に生かすことがねらいである。	①課題達成確認テストを実施し、成果を判断。	3
	通信文の作成	ビジネス文書の作成方法をワードを利用して学習する。	①課題の到達度	2
	ビジネスマナーのプレゼン	ビジネスマナーについて、生徒が自ら研究テーマを定めて副教材やインターネットを利用しながらテーマの内容を研究し、プレゼンテーションを目的とした準備をパワーポイントを利用して進める。。	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、発表でパワーポイントの技術・発表の内容・工夫など	5
10月	ビジネスマナーのプレゼン	ビジネスマナーについて、生徒が自ら研究テーマを定めて副教材やインターネットを利用しながらテーマの内容を研究し、プレゼンテーションを目的とした準備をパワーポイントを利用して進める。。	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、発表でパワーポイントの技術・発表の内容・工夫など	10
11月	漢字の練習	熟語・都道府県などの課題に取り組み、一般常識を学習するとともに、進路活動に生かすことがねらいである。	①課題達成確認テストを実施し、成果を判断。	3
	ビジネスマナー	ビジネスマナー講習	ビジネス実習	2
	ビジネスマナーのプレゼン	ビジネスマナーについて、生徒が自ら研究テーマを定めて副教材やインターネットを利用しながらテーマの内容を研究し、プレゼンテーションを目的とした準備をパワーポイントを利用して進める。。	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、発表でパワーポイントの技術・発表の内容・工夫など	4
12月	漢字の練習	熟語・都道府県などの課題に取り組み、一般常識を学習するとともに、進路活動に生かすことがねらいである。	①課題達成確認テストを実施し、成果を判断。	2
	毛筆の練習	ビジネスマナーの一環として、毛筆を使い基本的な文字の練習を行うと同時に、慶弔時のマナーについて学習する。	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価。成果は、文字の丁寧さで判断。	4
1・2月	自分史の作成	生まれてから現在までの自分を振り返り、レポートまたは新聞形式でA4版にまとめる。この課題を通して、自分が歩んできた人生を客観的に振り返り、卒業後の自己表現に生かせることがねらいである。	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価する。成果は、課題に	13
	コラムを読む	新聞のコラムを読み、分からない言葉を調べて趣旨を理解してパソコンでワードを利用して文章を入力し、趣旨をまとめるとともに自分の意見や感想などを文章化して入力し、一枚のレポートにまとめる作業を行う。	①形式をまとめる能力②文章を理解し、要約する能力③自分の意見を表現する能力など	12
	ビジネスマナー	敬語の学習	①課題に真剣に取り組む姿勢を評価する。成果は、テストを実施し、到達度を評価	10

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔観光事情研究〕)　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：（○○出版）

使用教材：（△□社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（観光事情研究）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	ガイダンス	授業内容の説明、日誌の書き方、パソコン利用について、図書館の利用など	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	関連資格	関連資格（総合旅行業務取扱管理者・国内旅行業務取扱主任者）について	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	観光とは 旅行業とは	歴史、定義、旅行業約款、契約、保証金など	【思考・判断】 【技能・表現】	4
５・６月	国際航空運送	国際航空運送約款、用語の定義、約款の適用、コードシェア、途中降機	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	国際航空運送	運賃および経路、経路の変更、運送不履行および接続不能	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	国際航空運送	予約、登場手続き、運送の拒否と制限、手荷物、航空便のスケジュール、延着および取り消し、払い戻し	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	国際航空運送	地上連絡輸送、宿泊、会社が行う手配および機内食	【思考・判断】 【技能・表現】	4
	国際航空運送	出入国手続き、相次運送人、運送人の責任、損害賠償請求期限および出訴期限	【思考・判断】 【技能・表現】	4
７月	国内旅客運送	国内旅客運送約款、定義、約款の適用、協同引受、会社と旅客との間の取扱い等の効力、旅客の同意	【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	国内旅客運送	旅客運送、航空券の発行と効力、有効期間、有効期間の延長、座席の予約、座席指定、集合時刻、運送の拒否および制限、航空券の紛失	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	国内旅客運送	旅客運賃および料金、適用運賃および料金、旅客都合による変更、旅客都合による払戻しと払戻手数料および取消手数料、払戻期間	【思考・判断】 【技能・表現】	4
９月	国内旅客運送	会社の都合による取消変更、会社および旅客の都合以外の事由による取消変更	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	国内旅客運送	不正搭乗、手荷物、手荷物の受託および持ち込み、手荷物の搭載、受託手荷物の搭載、手荷物の検査	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	国内旅客運送	受託手荷物の受け取りおよび引き渡し、引き渡し不能手荷物の処分、手荷物の禁止制限品目、持込手荷物、無料手荷物許容量	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	国内旅客運送	愛玩動物、、釣果手荷物および愛玩動物に適用される料金の払戻し、従価料金、過失相殺、会社の責任限度額	【思考・判断】 【技能・表現】	3
１０月	一般乗合旅客自動車運送約款	運送の引受けおよび継続の拒絶、運送の制限など、乗車券の発売と効力、通学定期乗車券、通勤通学定期乗車券、団体乗車券、定期回数乗車券	【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	一般乗合旅客自動車運送約款	運賃および料金、小児料金、運賃の割引、旅客の特殊取扱い、払戻し、割増運賃など、乗り越し、手回り品、連絡運輸、共通乗車	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	一般航路運送約款	旅客運送約款、総則、運送の引受け、運送および料金	【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	一般航路運送約款	乗船変更、変更時の払戻しおよび払戻し手数料、出航後の乗船変更の特例、賠償責任	【思考・判断】 【技能・表現】	3
１１月	ＪＲ	旅客営業規則 旅客運賃・料金	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	ＪＲ	旅客営業規則 乗車券類の効力	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	ＪＲ	旅客営業規則 乗車券類の様式	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	ＪＲ	旅客営業規則 乗車券類の改札及び引き渡し	【思考・判断】 【技能・表現】	3
１２月	ＪＲ	旅客営業規則 乗車変更の等の取扱い	【思考・判断】 【技能・表現】	3
	ＪＲ	旅客営業規則 入場券・オレンジカード・手回り品・一時預かり	【思考・判断】 【技能・表現】	3
１・２・３月	ツアーの企画実習	国内行動プランの作成①	【思考・判断】 【技能・表現】	5
	ツアーの企画実習	国内行動プランの作成②	【思考・判断】 【技能・表現】	5
	ツアーの企画実習	国内行動プランの作成③	【思考・判断】 【技能・表現】	5
	ツアーの企画実習	国内行動プランの作成④	【思考・判断】 【技能・表現】	6

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：（商業）科目：（課題研究〔芝翔Ⅱ〕）　単位数：3単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：ビジネス基礎、マーケティング、商品と流通、簿記、情報処理

使用教材：なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（模擬株式会社芝翔Ⅱ）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	マーケティングの概要	■市場環境がマーケティング理念に影響を与え、その変遷がマーケティングを発展させてきたこと、そして、現在では、顧客満足の実現が図られていることを認識させる。 ■マーケティングの全体像をつかませ、マーケティング計画策定の手順とマーケティング管理について概観させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	市場調査の意味	■市場調査はマーケティング活動の出発点であることを理解させ、その広範な内容を整理させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	市場調査の手順	■「状況分析→予備調査→本調査」という市場調査の手順を、「調査仮説の設定→絞り込み→本格的検証」という形で理解させる。 ■状況分析で用いられる内部資料と外部資料について、それぞれの特徴と使用法を理解させる。 ■財務諸表の分析について、実際に計算をさせ、数値の意味を理解させる。 ■予備調査の対象について理解させる。 ■予備調査の段階で調査完了となる場合もあることを認識させる。 ■本調査の計画立案手順について概観させる。 ■資料の収集・集計・分析・解釈の意味をそれぞれ正しく把握させる。 ■調査結果の報告手順を把握させ、追跡とフィードバックの必要性を認識させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
5月	実態調査の方法	■全数調査と標本調査の使い分けを理解させ、標本調査の手順を把握させる。 ■様々な標本抽出法の特徴、質問票作成上のポイント、質問の種類と仕方などを理解させる。 ■各種資料収集方法の特徴と変化をとらえる動態調査について理解させる。 ■ネットパネル調査の現状を認識させ、その有効性と限界について理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	市場調査の実習	■全体として「調査課題の設定→調査進行計画の策定→調査組織の編成→調査予算の計上→調査活動の実施→調査結果の報告」の手順を一通り体験させる。 ■調査活動は「状況分析→予備調査→本調査」の手順で進めさせる。 ■本調査は、標本調査を採用して「調査目標の具体化→質問票の作成→母集団の設定→標本の抽出→資料の収集・集計・分析・解釈」の手順で進めさせる。 ■調査結果の報告は「報告書の作成と配布→報告説明会の開催と発表」の手順で行わせる。 ■発表を体験させることにより、プレゼンテーションを実施するための基礎的な知識と技術を習得させる。 ■報告後、反省会を兼ねて調査の追跡を行う。 ■実習全体を通して、様々なソフトウエアや機器の操作を体験させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
	消費者行動と購買	■購買を消費者による問題解決行動として位置づけ、5段階からなるその意思決定過程を概観させる。 ■AIDASの理論を取り上げて、消費者が受けとる情報や刺激について認識させる。 ■購買意思決定過程に影響を及ぼす要因について、具体的に認識させながら、個人差要因と社会的環境要因に分けて整理させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
6月	購買意思決定過程	■生活上の問題認識から動機が生まれ、それが消費者を購買へと駆り立てることを理解させる。 ■購買動機を2つの基準で分類し、立体的かつ具体的に把握させる。その際、できればマズローの欲求段階説にも触れる。 ■身近な事例を設定し、選択肢の評価を生徒ひとりひとりにやらせて、2種類の評価方法が実際に存在することを認識させる。 ■態度の形成が購買意図に繋がっても、直ちに購買行動が生じるとは限らないことを理解させる。 ■購買後（使用・消費後）に消費者が満足を感じる状況について理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	商品開発の意義と手順	■商品開発の意義、商品のライフサイクルについて理解させる。 ■現代社会における商品開発の観点から、企業の社会的責任や法令遵守について認識させる。 ■販売後の商品の評価とそれに基づいて商品の改良を行うことの重要性について認識させる。 ■商品開発の手順と考え方について、その骨格を理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
	商品コンセプトの立案と商品企画書の作成	■商品コンセプトを考案することの重要性について認識させる。 ■企業内の企画会議で提案することを想定して市場調査を行い、ブレーンストーミングやKJ法などを用いて商品コンセプトを考案する実習をさせる。 ■商品名・商品コンセプト・キャッチコピー・商品イメージ・開発背景・競合商品に対する優位性を含めた、具体的な商品企画書を作成する実習をさせる。 ■商品企画書に基づき、社内向けのプレゼンテーションを行う実習をさせる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
7月	事業計画の立案	■生産計画、マーケティング計画、財務計画といった事業計画の流れとその内容について理解させる。 ■事業計画をまとめ、社外向けの事業計画書を作成し、プレゼンテーションを行う実習をさせる。 ■販売後の市場調査に基づく事業計画の再検討の重要性について理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	仕入計画	■仕入計画の立案においては、仕入優先ではなく、販売優先の考え方が重要であることを認識させる。 ■仕入計画は、まず、年間の計画を立て、それを月別に分けることを理解させる。 ■仕入計画の内容を把握させるとともに、「ストアコンセプトの設定→品ぞろえの検討→商品の検討」という手順についても理解させる。 ■仕入商品は、商品計画（マーチャンダイジング）の観点から分類されることを理解させる。 ■品ぞろえは、多様な商品を組み合わせて形成され、高回転率をめざす方向と豊富な品ぞろえをめざす方向があることを認識させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	価格戦略	■店舗に示されている販売価格には、様々な工夫や思惑が込められていることを実感させる。 ■価格の維持・安定政策について、企業側の狙いを理解させ、さらにその現状と方向性を、法的な規制と絡めながら説明する。 ■様々な小売価格政策に遭遇した体験を話させ、それらを理論的にまとめる形で理解させる。 ■小売価格政策の情緒性について認識させる。 ■消費者による売場での価格比較の困難性を認識させることで、単位価格表示の必要性を理解させる。 ■消費税の税率変更が価格表示にもたらす影響について考えさせる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
9月	販売促進の重要性	■販売促進をコミュニケーション活動として理解させたうえで、その説得機能を認識させる。 ■販売促進活動の全体像を概観させる。 ■プロモーションミックスの組合せ方と、2種類の販売促進戦略の基本的な構成を理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	広告	■広告の役割を、経済的なものと社会的なものに分けて理解させ、さらに、広告には公的規制に加え、多様な自主規制がなされていることを認識させる。 ■広告の計画と実施の手順を概観させ、効果測定の必要性、広告代理店の存在についても認識させる。 ■広告を主体・内容・メディアを基準にして分類し、それぞれの特徴を概観させる。 ■クーポン広告と比較広告を紹介し、日本での普及状況をアメリカと比較させながら認識させる。 ■広告とPR活動、PR活動とメセナ活動、広告とパブリシティの違いを、それぞれしっかりと認識させる。 ■インターネットによるコミュニケーションツールの発達・発展に伴い、今日の企業には、パブリシティ戦略に加え、クチコミ戦略の必要性が増していることを理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	広告の実習	■広告制作の詳細な手順を簡単に体験させるとともに、ビデオやコンピュータグラフィックス、音声関連などの機材にも触れさせる。 ■本格的な映像（CF）に限らず、ポスターやPOPなど、比較的手軽な作品を制作させることも考えられる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	4
10月	販売員活動	■販売促進における販売員活動の位置づけを理解させたうえで、店舗販売と訪問販売に分け、顧客の心理を分析させながら、手順と要点を把握させる。 ■セールスポイントを設定する能力を育成する。 ■販売員に必要とされる一般的な資質と知識を理解させ、さらに、業種や業態を指定して、どのような資質や知識が求められるか考察させる。 ■販売員管理の手順と訓練の方法を概観させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
	販売の実習	■ロールプレーイングの方法で販売の模擬体験をさせ、立ち居振る舞いやセールストーク、ラッピングの基本などを身につけさせる。 ■販売サービスについて、販売時に行われるものとアフターサービスに分け、それぞれの種類と意義（企業側の意図）を理解させる。 ■販売サービスの費用負担について検討させる。例えば「無料にすべきか有料にすべきか」というテーマで、ディベートを展開させることなどが考えられる。 ■販売サービスの費用は、売り手が負担する場合と価格に転嫁される場合があると考えられがちであるが、長期的・最終的には価格に転嫁されていることを認識させる。 ■各種のプレミアム販売を概観させ、景品表示法の規制について認識させる。また、消費者の組織化は、販売経路の究極の系列化として理解させる。 ■イベント開催の販売促進上の意義を理解させるとともに、社会的な意義についても認識させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	7
月	知的財産権の内容	■知的財産の保護の重要性について、偽ブランドや偽キャラクター商品など知的財産権の侵害に関する具体的な事例の考察を通して認識させる。 ■特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権の概要とビジネスにおける活用の意義を理解させる。 ■不正競争防止法の目的について認識させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	知的財産権の取得	■知的財産の権利化の意義について理解させる。 ■特許権、実用新案権、意匠権、商標権について、取得手続きの概要を理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
	知的財産権の活用	■取得した知的財産権について、独占的販売やライセンス取得など、その活用方法について理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
12月	デザインの基礎	■商品開発においてデザインが果たす役割について理解させる。 ■デザインの種類と、商品開発と関わりの深いデザインについて認識させる。 ■配色や構成などデザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	パッケージデザイン	■パッケージデザインの機能や種類、制作上の重視点について認識させる。 ■パッケージデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について考察させる。 ■パッケージデザインの技法を習得させ、実際にパッケージデザインを作成する実習をさせる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	4
	グラフィックデザイン	■グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解させる。 ■グラフィックデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について考察させる。 ■グラフィックデザインの技法を習得させ、実際にPOP広告や広告ポスターを作成する実習をさせる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	3
1・2月	流通の仕組みと市場	■流通の役割、流通の仕組みとその変化、および流通系列化について理解させる。 ■商品流通における市場の役割と課題について、具体的な事例を取り上げて理解させる。 ■卸売業と小売業の主要な形態や特性について理解させる。 ■業態ごとの流通戦略について、具体的な事例を取り上げて理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】	2
	売買業者の商品計画	■卸売業と小売業における商品計画の重要性について理解させるとともに、卸売業と小売業の今後の方向について考察させる。 ■プライベートブランド商品の開発の意義について理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	2
	流通手段の多様化	■ダイレクト・マーケティング、通信販売、電子商取引などの無店舗販売を例に、多様化した流通手段について理解させる。 ■商品の特性に応じた流通手段の選択について、具体的な事例を取り上げて理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3
	物流と流通を支えるその他の活動	■物流の働きと仕組み、また流通の支援機能である金融・保険の働きと仕組みについて理解させる。 ■合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について、具体的な例を取り上げて理解させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔珠算〕)　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：なし

使用教材：日商珠算検定試験１～３級　模擬問題集（朝日プリント社）　、　日珠連段位認定試験　模擬問題集（朝日プリント社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（珠算）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
5月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
6月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
7月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	6
9月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
10月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
11月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
12月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	6
1月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	12
2月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	6
3月	・日商珠算能力検定試験１級～３級取得 ・日珠連段位認定試験準初段以上取得	各生徒の計算能力にあった検定の学習内容について技術を向上させる。	・授業に取り組む姿勢　・課題プリントの計算量および正	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究[情報処理])　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：最新情報処理（実教出版）

使用教材：全商情報処理検定模擬問題集１級（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（情報処理）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	表計算ソフトウエアの活用	表計算ソフトウエアの特色を理解し、ビジネス情報の処理に活用するための応用的な知識、技術を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	ハードウエアとソフトウエア	コンピュータの仕組みや個々のハードウエアの概要を理解し、目的に応じた機器の選択・利用ができる応用的な知識を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用	表の作成、データ入力、計算、保存、印刷などの応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
５月	ハードウエアとソフトウエア	ソフトウエアの役割を理解するとともに、ソフトウエア利用のための応用操作を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（数学/三角関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	ビジネスとコンピュータ	ビジネス情報の処理におけるコンピュータの役割と情報システムの特徴を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
６月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	情報通信ネットワーク	主な情報通信ネットワークの構成や利用形態の概要を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	情報通信ネットワーク	インターネットの詳しい仕組みやビジネスにおける様々な利用方法について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
７月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	情報通信ネットワークの利用	情報通信ネットワークを利用した情報の収集や活用の方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
９月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（検索、行列、文字列操作関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	モラルとセキュリティ	情報化社会の課題を理解し、これに正しく対処する知識と利用者としての態度を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用	絶対参照の考え方と利用法および相対参照との違いを理解する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	情報化社会の問題点とその対応	情報通信ネットワークにおいてセキュリティを高める方法、暗号化について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用（グラフの作成）	グラフの種類と特色を理解し、表計算ソフトウエアを利用して様々なグラフを作成する方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
１０月	ビジネス情報とデータベース	データベースの特徴とビジネスへの活用の意義を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（整列、オートフィルタの利用）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	データベースの利用	データベースソフトウエアの構造を理解し、いろいろな操作方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
１１月	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	データベースの設計	データベースの設計を理解し、正規化の概念を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用（ビジネス文書の作成）	表計算ソフトを利用した発展的な報告書の作成方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	経営マネジメント	問題解決の手法（思考整理法、図表による分析、統計的分析、経営分析）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
１２月	表計算ソフトウエアの活用	ソルバー、ゴールシークなど最適解を求める応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（挿入、更新、削除）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
１・２月	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（ＳＥＬＥＣＴ　ＦＲＯＭ　ＷＨＥＲＥの応用的な使い方）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	3
	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	3

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔文書処理〕) 単位:3　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：（○○出版）

使用教材：（実教出版社　平成26年度ビジネス文書実務検定模擬試験問題集２級または1級）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（文書処理）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	速度練習 社内・社外文書の作成	各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 課題の設定について適切な助言を行う。	観察・印刷物	3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 設定した課題に取り組む習慣ができるようにする。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 課題に真摯に取り組むことができたかを意識させる。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 長期的な目標と短期の目標を確認する。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 課題の進捗がわかるように記録を取らせる		3
5月	速度練習 筆記問題 ビジネス実務検定試験対策	10分間で入力できる文字を数えさせ上達度を把握させる。 ポイントとなる部分を強調して説明する。 時間を計り効果的に演習ができるように指導する。	観察・印刷物・定期考査	3
		10分間で入力できる文字を数えさせ上達度を把握させる。 ポイントとなる部分を強調して説明する。 検定試験の問題を効果的に取り入れる。		3
		10分間で入力できる文字を数えさせ上達度を把握させる。 ポイントとなる部分を強調して説明する。 演習の時間を確保し実践的な力を高める。		3
		10分間で入力できる文字を数えさせ上達度を把握させる。 ポイントとなる部分を強調して説明する。 検定試験までの期間を意識させる。		2
		10分間で入力できる文字を数えさせ上達度を把握させる。 ポイントとなる部分を強調して説明する。 検定試験までの期間を意識させる。		1
6月	ビジネス文書実務検定対策	ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。	観察・印刷物	1
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 筆記対策を忘れないように指導する。		3
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を身に付けさせる。 興味のある他の資格についても調べさせる。		3
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は検定試験後について考えさせる。		2
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は検定試験後について考えさせる。 長期的な視野をもって課題に取り組む習慣を身に付けさせる。		1
7月	速度練習 社内・社外文書の作成 筆記問題	各自が設定した課題に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。	観察・印刷物・定期考査	3
		各自が設定した課題に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 当初設定した課題について振り返る。		3
		各自が設定した課題に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 当初設定した課題について振り返る。		3
		各自が設定した課題に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 当初設定した課題について振り返え り、２学期への目標を設定する。		1
9月	速度練習 社内・社外文書の作成	各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 7月に振り返った課題の反省を生かせるように助言する。	観察・印刷物	3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 7月に振り返った課題の反省を生かせるように助言する。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 7月に振り返った課題の反省を生かせるように助言する。		3
10月	速度練習 社内・社外文書の作成	各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。	観察・印刷物・定期考査	1
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 検定試験までの時間を意識させる。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 伸び悩む時期を乗り越えることの重要性を説く。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 実力が伸びなかった生徒には課題の変更も視野に入れ2月の検定を効果的に利用するよう指導す		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 課題を設定して半年経ったところで一度見直しを図る。		2
11月	ビジネス文書実務検定対策	今月末の検定試験に向けビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。	観察・印刷物	1
		速度問題、筆記問題を含むビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。 検定に対する意欲に乏しい生徒には文書処理の技術を特化させる教材を探す支援をする。		2
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。 検定に対する意欲に乏しい生徒には文書処理の技術を特化させる教材を探す支援をする。		2
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。 相手にとって読みやすい、わかりやすい文書を作成する心構えを持たせる。		2
		引き続きビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。 取り組んできた課題に対して結果が伴わない場合について改善点はないか考えさせる。		3
		ビジネス文書実務検定試験の問題を中心に取り組ませる。 合格に到達している生徒は筆記対策やさらに上級の力を高める。		2
12月	速度練習 社内・社外文書の作成	検定を終えて各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 1学期の反省を踏まえて課題に取り組むことができたか振り返る。 身に付けた技術を生かし年賀状やクリスマスカードなどに応用できる力を付ける。	観察・印刷物・定期考査	3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 1学期の反省を踏まえて課題に取り組むことができたか振り返る。		2
		引き続き各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 1学期の反省を踏まえて課題に取り組むことができたか振り返る。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 1学期の反省を踏まえて課題に取り組むことができたか振り返る。 2学期の反省から残りの高校生活と課題に対する考えを深める。		2
1月	速度練習 社内・社外文書の作成	まとめの３学期を自覚させ各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 高校生活のまとめとしての3学期のすごし方を考えさせる。	観察・印刷物・定期考査	1
		3年間を振り返る機会をつくる。各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 振り返りや新たな目標設定について学ぶ。		3
		引き続き各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 身に付けた技術が社会でどのように生かせるか考える。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 卒業後の自分について考える機会をつくる。		3
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 課題に真摯に取り組むことができたかを意識させる。		1
2月	速度練習 社内・社外文書の作成	終盤に向け各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 設定した課題の総括を行い課題研究についての考えを深めさせる。	観察・印刷物	2
		各自が設定した目標に対して計画的に取り組ませる。 キーボードを見ないで文章が打てる技術を身に付ける。 設定した課題の総括を行い課題研究についての考えを深めさせる。 ビジネス文書検定に取り組んだ反省とその他の検定に対して取得できるように指導する。		3
3月	まとめ	この授業を通して各自が設定した目標に対して計画的に取り組むことができたか振り返る。 1年間を通して付けた力を今後も伸ばす工夫を考えさせる。	観察・印刷物	1

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(課題研究〔調査･研究〕)　単位数：3単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：（○○出版）

使用教材：（△□社）　文書処理室にてワード・エクセル・パワーポイント等を利用しての調査

	指導内容 【年間授業計画】	科目「課題研究」（調査研究）の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	各自の研究テーマの確認と発表（1）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	各自の研究テーマの確認と発表（2）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	各自の研究テーマの確認と発表（3）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	各自の研究テーマの確認と発表（4）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	各自の研究テーマの確認と発表（5）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
5月	調査実習（1）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（2）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（3）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（4）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（5）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
6月	調査実習（6）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（7）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（8）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（9）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（10）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
7月	調査実習（11）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（12）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（13）	調査に必要な手段を自由な発想で、できるだけ多く出させ、方向性を提示させる。	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（14）	**学期の中間発表(1)**	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
9月	調査実習（1）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（1）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（2）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（2）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（3）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（3）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（4）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（4）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（5）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（5）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
10月	調査実習（6）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（6）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（7）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（7）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（8）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（8）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（9）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（9）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（10）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（10）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
11月	調査実習（11）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（11）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（12）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（12）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（13）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（13）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（14）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（14）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（15）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（15）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
12月	調査実習（16）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（16）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（17）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（17）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（18）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（18）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（19）	自己実現への方策を視野に入れた調査・研究（19）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（20）	**学期の中間発表(2)**	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
1月	調査実習（21）	プレゼンテーション技術向上の訓練（1）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	調査実習（22）	プレゼンテーション技術向上の訓練（2）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	調査実習（23）	プレゼンテーション技術向上の訓練（3）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	調査実習（24）	プレゼンテーション技術向上の訓練（4）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	調査実習（25）	プレゼンテーション技術向上の訓練（5）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5
2月	作品の発表（1）	作品に用いた調査・研究の手法の紹介（1）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	1
	作品の発表（2）	作品に用いた調査・研究の手法の紹介（2）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	2
	作品の発表（3）	作品に用いた調査・研究の手法の紹介（3）	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	3
	作品の発表（4）	**発表作品の製本作業と反省**	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	4
	まとめ・総括	**最終発表と今後の抱負**	・出席状況 ・授業中の態度 ・提出物	5

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(会計実務)　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「会計実務」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	現代の会計	変化する企業環境と会計実務 近年の企業環境の変化 会計実務の対応	学期を通じて数回の考査を行い、授業態度と併せて成績評価を行う。	6
5月	会計ビックバン	あらまし 具体的な会計基準の整備		4
	会計の国際化	会計の国際化の歴史 国際会計基準委員会の活動 国際会計基準審議会の発足		4
6月	会計の国際化	我が国における企業会計基準委員会の発足		2
	企業のグループと会計	企業のグループ化 連結財務諸表の必要性 連結財務諸表作成の手続き		6
7月	企業のグループと会計	連結貸借対照表の作成手続き 子会社の資産および負債の時価評価 投資と資本の相殺消去 連結決算の手続き		6
9月	連結財務諸表の作成	開始仕訳 当期分の連結仕訳 剰余金処分項目の修正 連結財務諸表の表示方法		8
月	連結情報の利用	連結情報を利用する目的 有価証券報告書 企業情報 経理の状況		8
月	外貨建取引の会計	外貨建取引 為替換算と為替差損益 外貨建て取引の基本的な会計処理		8
月	外貨建取引の会計	外貨建項目の決算時の会計処理 為替予約		4
1月	キャッシュフロー計算書	キャッシュフロー計算書の意義と必要性 キャッシュフロー計算書の表示区分 キャッシュフロー表示方法		8
2月	キャッシュフロー計算書	キャッシュフロー計算書の作成手続き 直接法によるキャッシュフロー計算書の作成例 間接法によるキャッシュフロー計算書の作成例		8

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(会計基礎演習A)　単位数：2単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「会計基礎演習Ａ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第１編　財務会計の基礎 第１章　企業と会計	企業会計の意味と役割を理解させる。 会計の機能と会計公準の内容について理解させる。 企業会計の発達の歴史について，その概略を明らかにする。 企業会計制度の意味を理解させる。	◇財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけ，財務会計の意義や制度について理解している。 ◇企業会計の基礎的内容を理解し，企業会計制度と会計法規に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	4
	第２章　企業会計制度と会計法規	会計法規の必要性を理解させ，その種類と内容について，概略を理解させる。 企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし，一般原則の内容について理解させる。 財務諸表の種類を明らかにする。		4
	第２編　貸借対照表 第３章　貸借対照表のあらまし	これから学ぶ貸借対照表の役割や区分表示，様式など，その概略について理解させる。 貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。	◇資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第４章　資産の意味・分類・評価	資産の意味・分類を理解させる。 資産評価の意味・基準を明らかにし，その重要性を理解させる。		2
	第５章　流動資産 （PART１）当座資産	当座資産の意味と種類を明らかにする。 現金預金・受取手形・売掛金・有価証券の評価と記帳方法について理解させる。		8
5月	第６章　流動資産 （PART２）棚卸資産・その他の流動資産	棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を理解させる。		10
6月	第７章　固定資産 （PART１）有形固定資産	有形固定資産の意味・種類を明らかにし，取得原価の計算について理解させる。 資本的支出と収益的支出の意味を理解させる。 有形固定資産の期末評価を理解させる。 減価償却の意味を明らかにし，計算方法に習熟させる。 固定資産の除却と買い換えの記帳方法に習熟させる。		8
	第８章　固定資産 （PART２）無形固定資産	無形固定資産の意味と種類を明らかにする。 無形固定資産の取得原価に触れ，特にのれんに関する計算と記帳に習熟させる。 無形固定資産の期末評価について理解させる。		8
7月	第９章　固定資産 （PART３）投資その他の資産	投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。 投資有価証券の期末評価について理解させ，その記帳に習熟させる。 子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解させる。		6
	第10章　負債の意味と分類	負債の意味と分類を明らかにし，分類基準を理解させる。	◇負債に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第11章　流動負債	流動負債の意味と種類を明らかにする。 引当金の意味を明らかにし，役員賞与引当金の記帳について理解をはかる。 保証債務の記帳法を理解させる。		4
9月	第12章　固定負債	固定負債の意味を明らかにし，その記帳に習熟させる。 社債の発行・利払い・期末評価・償還の記帳方法を理解させる。 長期借入金・退職給付引当金の記帳に習熟させる。 偶発債務の意味とその記帳法を理解させる。		6
	第13章　純資産の意味と分類	純資産の意味と分類を明らかにする。 株主資本とそれ以外の区分の概要を理解させる。		2
10月	第14章　資本金	株式会社の資本金について理解させる。 資本金の増加・減少の処理方法に習熟させる。	◇純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。 また，貸借対照表に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第15章　資本剰余金	資本剰余金の意味と分類を明らかにする。 資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法に習熟させる。 会社の合併の意味と記帳法に習熟させる。		4
	第16章　利益剰余金	利益剰余金の意味と分類を明らかにする。 利益準備金，任意積立金に関する基本的な記帳法を理解させる。 剰余金の配当の意味と記帳法について理解させる。		4
	第17章　自己株式	自己株式の意味を理解させる。 自己株式の取得・処分・消却の意味を明らかにし，それぞれの記帳に習熟させる。		2
	第18章　貸借対照表の作成	棚卸法と誘導法を理解させる。 貸借対照表作成上の原則や注記などについて理解させる。 貸借対照表の作成について，会社計算規則による場合を中心に習熟させる。	◇資産・負債・純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけ，会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。	4
11月	第３編　損益計算書 第19章　損益計算書のあらまし	損益計算書の役割・区分・様式など，その概略を明らかにする。	◇収益・費用に関する処理法や損益計算書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく損益計算書を作成することができる。 また，損益計算書に関する基本的な会計理論についても，理解している。 ◇収益・費用に関する処理法や損益計算書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに，会社計算規則に基づく損益計算書を作成することができる。 また，損益計算書に関する基本的な会計理論についても，理解している。	2
	第20章　損益計算の意味と基準	損益計算の意味を明らかにし，収益・費用の認識および測定基準，さらに，費用収益対応の原則について理解させる。		4
	第21章　売上高	売上高を計上する基準について理解させ，記帳や計算などに習熟させる。 工事収益の計算と記帳に習熟させる。		6
12月	第22章　売上原価，販売費及び一般管理費	売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。		2
	第23章　営業外収益・営業外費用	営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。 経常利益・経常損失の意味を明らかにする。		4
	第24章　特別利益・特別損失	特別利益・特別損失の意味・種類を理解させる。 損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解させる。		2
	第25章　損益計算書の作成	損益計算書作成上の原則や注記などを理解させる。 損益計算書の作成について，会社計算規則による場合を中心に習熟させる。		4
1月	第26章　その他の財務諸表	株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 注記表・附属明細書の記載内容に触れる。		2
	第４編　財務諸表の活用 第27章　財務諸表のディスクロージャー	企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。	◇ディスクロージャーのあり方について理解するとともに，財務諸表分析に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また，財務諸表の活用の仕方を理解している。	2
	第28章　財務諸表分析	財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 関係比率法・実数法による分析の種類を明らかにし，それぞれの計算方法について理解させる。		6
	５編　連結財務諸表 第29章　連結財務諸表のあらまし	連結財務諸表の意味や目的を明らかにし，連結財務諸表の概略を理解させる。 親会社と子会社の意味，さらに連結財務諸表の重要性を理解させる。		2
2月	学年末考査	1年間の習得状況を確認する		

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(情報処理)　単位数：2単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：最新情報処理（実教出版）

使用教材：全商情報処理検定模擬問題集１級（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「情報処理」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	表計算ソフトウエアの活用	表計算ソフトウエアの特色を理解し、ビジネス情報の処理に活用するための応用的な知識、技術を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	ハードウエアとソフトウエア	コンピュータの仕組みや個々のハードウエアの概要を理解し、目的に応じた機器の選択・利用ができる応用的な知識を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	表の作成、データ入力、計算、保存、印刷などの応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
５月	ハードウエアとソフトウエア	ソフトウエアの役割を理解するとともに、ソフトウエア利用のための応用操作を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（数学/三角関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	ビジネスとコンピュータ	ビジネス情報の処理におけるコンピュータの役割と情報システムの特徴を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
６月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワーク	主な情報通信ネットワークの構成や利用形態の概要を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（統計関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワーク	インターネットの詳しい仕組みやビジネスにおける様々な利用方法について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
７月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報通信ネットワークの利用	情報通信ネットワークを利用した情報の収集や活用の方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
９月	表計算ソフトウエアの活用	関数の利用法（検索、行列、文字列操作関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	モラルとセキュリティ	情報化社会の課題を理解し、これに正しく対処する知識と利用者としての態度を身につける。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	絶対参照の考え方と利用法および相対参照との違いを理解する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	情報化社会の問題点とその対応	情報通信ネットワークにおいてセキュリティを高める方法、暗号化について理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（グラフの作成）	グラフの種類と特色を理解し、表計算ソフトウエアを利用して様々なグラフを作成する方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
１０月	ビジネス情報とデータベース	データベースの特徴とビジネスへの活用の意義を理解する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（整列、オートフィルタの利用）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベースの利用	データベースソフトウエアの構造を理解し、いろいろな操作方法を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１１月	表計算ソフトウエアの活用（データの検索）	表から必要なデータを検索する方法（データベース関数）を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベースの設計	データベースの設計を理解し、正規化の概念を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用（ビジネス文書の作成）	表計算ソフトを利用した発展的な報告書の作成方法を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	経営マネジメント	問題解決の手法（思考整理法、図表による分析、統計的分析、経営分析）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１２月	表計算ソフトウエアの活用	ソルバー、ゴールシークなど最適解を求める応用操作を習得する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（挿入、更新、削除）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
１月	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2
	データベース言語	ＳＱＬの様々な構文（ＳＥＬＥＣＴ　ＦＲＯＭ　ＷＨＥＲＥの応用的な使い方）を習得する。	指導内容を十分理解し、説明することができる。	2
	表計算ソフトウエアの活用	今まで習った関数、操作方法をいかしてシステムを作成する。	表計算ソフトウエアをきちんと操作することができる。	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(文書デザイン)　単位数：2単位　対象:(第3学年A選択選択生徒)

使用教科書：文書デザイン（東京法令出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「文書デザイン」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	広報活動と文書	広報活動と文書	授業への取組状況	4
5月		広報の手法	授業への取組状況 提出物	8
5月	図形ソフトウェアの活用	図形情報の役割	授業への取組状況	4
6月		図形情報の作成と編集	実習への取組状況 提出物	12
7月				
9月	マルチメディアの活用	静止画像の利用 動画像の利用 音声の利用	実習への取組状況 提出物	8
10月		情報の統合	授業への取り組み状況	4
10月	情報通信ネットワークの活用	情報発信媒体 Ｗｅｂページの作成 電子メールの作成	実習への取り組み状況 提出物	12
11月				
12月		広告の規制	授業への取り組み状況 提出物	4
1月	プレゼンテーション	口頭による表現 文書による表現	授業への取り組み状況	4
2月		ソフトウェアの利用	実習への取り組み状況 提出物	10
3月				

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(商業技術)　単位数：2単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：商業技術（実教出版）

使用教材：ビジネス文書検定試験模擬問題集（１～3級）　（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「商業技術」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	文書がビジネス活動の中で果たしている役割を理解させ，ワープロ利用に関する知識と技術を習得させる。	文書情報がコミュニケーションの重要な手段として，ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解させる。	機器やソフトの使い方が適切か	2
	ビジネスの諸活動を円滑に行う能力を育てる。	基本的な社内文書や社外文書を取り上げて，作成に関する知識と技術を習得させる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
５月	商業文書に関する知識と技術を習得させ，ワープロを活用して基本文書や応用文書を作成する。	ワープロのいろいろな編集機能を学習する。	練習ができているか	2
		ワープロの効果的な文書の作成方法について理解させる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		校正記号の意味と使い方について理解させる。	指導内容を理解しているか	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	
６月	ビジネス文書検定試験の資格取得を目標にする。	ワープロの多様な機能を利用して，表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得させる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		計算機能やソート機能を利用した文書の作成方法を理解させる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		筆記・実技問題に真剣に取り組む。	資格取得に向けて実技・筆記試験の練習に励んでいるか。	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
７月	ワープロのさまざまな機能を使いこなす。	図形の作成、図の挿入機能を自由に使いこなすことができる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
９月	社外文書の構成やその分類，さらに，はがきや封筒の書き方について理解させる。	取引文書の種類と内容を理解する。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2
		取引文書の作成に関する知識と技術を習得させる。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2
		実際に、はがき、封筒を作成する。	指導内容を理解しているか	2
		はがき宛名印刷を習得させる。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
１０月	社外文書の構成やその分類，さらに，はがきや封筒の書き方について理解させる。	はがきや封筒の書き方、作成に関する知識と技術を習得させる。	例題がうまく仕上がっているか	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
１１月	ビジネス文書検定試験の資格取得を目標にする。	各自が合格目標としている検定試験の、筆記・実技問題に真剣に取り組む。	資格取得に向けて実技試験の練習に励んでいるか。	2
		タッチメソッドの技術を身につけさせる。	練習ができているか	2
		制限時間内に実技問題を仕上げる技術を身につけさせる。	資格取得に向けて実技試験の練習に励んでいるか。	2
		制限時間内に筆記問題で合格点がとれるように学習する。	資格取得に向けて筆記試験の勉強に励んでいるか。	2
１２月	ビジネス文書の受発信についての知識を深める。	ビジネスの諸活動における文書の受発信に関する基礎的な知識について理解させる	指導内容を理解しているか	2
		情報通信ネットワークを利用した文書の受発信に関する技術を実習を通して習得させる。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2
１・２月	ビジネス文書の受発信についての知識を深める。	文書の受発信，分類と整理・保管，保存と廃棄の方法について理解させる。	指導内容を理解しているか	2
		情報機器や情報通信ネットワークを利用した文書の受発信について理解させる。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2
		インターネットによる受発信に関する技術を習得させる。	知識と技術の習得に、意欲的に取り組んでいるか。	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(簿記演習Ⅱ)　単位数：2単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「会計演習Ⅱ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	全商協会１級演習	仕訳および決算問題の演習 財務諸表分析の演習	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	6
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
５月	全商協会１級演習	会計理論の演習 過去問題の演習	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	8
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
６月	会計実務検定 　　財務諸表分析	財務諸表の種類と入手方法 財務諸表の例示と読み方 財務諸表分析の目的と方法	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	8
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
７月	会計実務検定 　　財務諸表分析	企業管理と株主のための分析 　　収益性の分析 　　安全性の分析	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	6
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
９月	会計実務検定 　　財務諸表分析	投資のための分析 　　企業価値の分析 財務諸表分析の実際	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	8
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
１０月	会計実務検定 　　財務諸表分析	過去問題の演習	考査における素点とともに、生徒の興味・関心・態度等を考慮した評価を行う。	8
			資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	
１１月	やや高度な資産会計	棚卸資産 リース会計 減損会計	資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	8
１２月	やや高度な資産会計	為替換算会計 資産除去債務 特殊商品売買	資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	4
１月	やや高度な資産会計	連結会計 税効果会計	資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	8
２月	やや高度な資産会計	キャッシュフロー会計 税理士試験基礎問題演習	資格取得に対する取り組み（自習態度や補習への参加等）重視する。	6

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(会基礎演習B)　単位数：2単位　対象:(第3学年選択生徒)

使用教科書：なし

使用教材：実教模擬試験問題集

	指導内容 【年間授業計画】	科目「会計基礎演習Ｂ」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
４月	2年次「原価計算」未履修者の対象科目である 原価計算の基礎	○　工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 ○　工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ○　原価の意味（製造原価・総原価）を理解させる。 ○　原価要素の性格とその分類について理解させる。 ○　原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 ○　原価計算の四つの目的について理解させる。 ○　原価計算の手続きについて理解させる。 ○　原価計算期間について理解させる。 ○　原価計算の種類について理解させる。 ○　原価計算基準のあらましを理解させる。 ○　工業簿記における勘定の記入の特徴を理解させる。 ○　工業簿記に特有な勘定科目とそれぞれの記帳方法を理解させる。 ○　工業簿記の一連の記帳手続きを学習させることにより，全体的な構造を理解させる。 ○　工業簿記の帳簿組織を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
	原価の費目別計算 材料費の記録と記帳	○　棚卸減耗の意味とその処理方法を理解させる。 ○　材料の払出手続きと材料仕訳帳の記帳方法，原価元帳，製造間接費内訳表への記入方法について理解させる。 ○　材料の消費数量と材料消費単価の計算方法について理解させる。 ○　予定価格により，消費高を計算することの意味，予定価格を用いた二通りの記帳法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
５月	原価の費目別計算 労務費の記録と記帳	○　労務費の分類とその内容を理解させる。 ○　賃金支払高の計算方法と賃金支払帳の記帳方法を理解させる。 ○　賃金消費高の計算方法と賃金仕訳帳の記帳方法を理解させる。 ○　予定賃率による消費賃金の計算方法と記帳方法を理解させる。 ○　賃金以外の労務費の種類，その計算方法と記帳方法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
	中間テスト			
６月	原価の費目別計算 経費の記録と記帳	○　経費の意味とその分類を理解させる。 ○　経費の計算方法と経費仕訳帳の記帳方法を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
	個別原価計算	○　原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 ○　製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 ○　価額法について理解させる。 ○　直接作業時間法による配賦，機械運転時間法による配賦を理解させる。 ○　実際配賦率による配賦の欠点を説明し，予定配賦率による配賦を理解させる。 ○　製造間接の差異分析の方法を理解させる。 ○　仕損品・作業くずの処理を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
７月	1学期期末考査			
	総合問題演習	○1学期に学んだ知識を活用し、材料の仕入から個別原価計算の計算・仕訳・記帳ができるように練習させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・小テスト	
９月	部門別原価計算	○　部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ○　原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ，各部門の役割を理解させる。 ○　部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ○　部門費配分表，部門費振替表を作成させ，それぞれにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　製造部門費予定配賦表を作成させ，それにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	10
１０月	部門別原価計算 2学期中間考査	○　部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ○　原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ，各部門の役割を理解させる。 ○　部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ○　部門費配分表，部門費振替表を作成させ，それぞれにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　製造部門費予定配賦表を作成させ，それにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○　部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	2
	単純総合原価計算 等級別総合原価計算	○　生産形態の違いから，原価計算の方法も異なることを理解させる。 ○　個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ○　総合原価計算の種類と全体的な手続きの流れを理解させる。 ○　月末仕掛品の種類と全体的な手続きの流れを理解させる。 ○　月末仕掛品完成品換算数量・加工費・仕上がり程度などの用語の意味を理解させる。 ○　平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の評価をマスターさせる。 ○　単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と単純総合原価計算のしくみを理解させ単純総合原価計算表の作成に習熟させる。 ○　等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解させ，等級別総合原価計算表の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	15
	組別総合原価計算	○　組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解させ組別総合原価計算表の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査・小テスト　等	6
１１月				
	工程別総合原価計算	○　工程別総合原価計算の意味と目的，手続きについて理解させる。 ○　工程別総合原価計算表の作成を通して，工程別総合原価計算のしくみを理解させる。 ○　工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 ○　半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 ○　副産物・作業くず・仕損品の意味と，それぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・答案練習	6
１２月	2学期期末考査			
	製品の完成・販売と決算	○　販売費および一般管理費の記帳方法を理解させる。 ○　月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ○　財務諸表の特色を理解させ，製造原価報告書の作成に習熟させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・答案練習	9
	冬季休業			
１月	冬季休業			
	標準原価計算と直接原価計算	○　経営管理に役立つ原価計算の必要性を理解させる。 ○　標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知らせる。 ○　直接原価計算が利益計画に適している理由を知らせる。 ○　標準原価計算の意義と特色，全体的な流れを理解させる。 ○　原価標準の設定のしかたについて理解させる。 ○　完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 ○　原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 ○　標準原価計算の記帳方法を理解させる。 ○　直接原価計算の意義と特色，記帳方法を理解させる。 ○　直接原価計算による損益計算書の組み立て方を理解させる。 ○　損益分岐図表により，売上高・原価・利益の関係を理解させる。	・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・答案練習	15
	全商簿記検定１級受検			
２月	学年末考査		・授業に取り組む姿勢 ・発問に対する答え方 ・問題演習時の理解度 ・定期考査	

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(商品と流通)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：商品と流通（実教出版）

使用教材：商業経済検定模擬試験問題集　1・2級　商品と流通（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「商品と流通」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	我が国の産業の変化	商品選択の方法と多様化するまでの過程を理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	消費生活の変化	わが国の所得水準が向上し、消費生活が必需的消費から選択的消費へと変化していることを認識させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品の成り立ち	生産と消費の分離によって、流通過程が生まれ、商品が誕生したことを理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品の特性	商品の基本的特性には、有用性、収益性、環境性があることを理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品売買の成立要件	品質の意義や要素、並びに価格の形成や構成について理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
5月	商品のソフト化	現代市場における商品は、多品種少量生産に移行しており、付加価値を高めることにより、ソフト化を促進させていることを認識させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品発達の基本的な考え方	商品開発のための観点として、市場の動向や商品への評価、また、消費者の多様化する欲求などがあることを理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	流通の仕組みと市場	流通が成立・発展していく過程を理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	小売商と卸売商	流通機構における小売商と卸売商の役割および働きについて認識させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	環境変化と流通	消費者の欲求の多様化、規制緩和の進展、情報化に及ぼす影響について理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
6月	物流	物流の動きとその重要性、および物流を構成する活動について理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	金融	流通を支える金融活動の働きと仕組みについて理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	保険	保険の働きと仕組みについて理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	情報通信システム	情報や通信の果たす役割を流通活動の面からとらえ、その機能を理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	新しいサービス産業	経済の発展にともなって、出現した新しいサービス業の役割と、その特徴について理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
7月	ベンチャービジネス	ベンチャービジネスの役割や特徴について理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品研究の進め方	４つのステップがあることを理解させ、これにこだわらず、自由な発想の展開もあることを認識させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	情報の集め方	さまざまな情報収集方法があることを認識させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品研究の具体的な事例	具体的な事例を理解させながら、基本的４つのステップに当てはめて「商品研究」の仕方を理解させる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
9月	ソフト化社会への要因	生活水準の向上	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	大量生産・大量消費	大衆消費社会の到来	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	商品のソフト化	消費者の多様な欲求に応じて、知識や情報などに価値をおいた生産を行う社会で実現可能	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	サービス経済化	産業構造が第３次産業に重点を置いた状況	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	生活様式に関わる多様なサービス	新しいサービス業	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
10月	女性の社会進出とその背景	女性の年齢別比率で比較した労働力人口比較	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	電子商取引	ネットワークを通じて行われる商取引	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	情報技術	ＩＴ技術の総称	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	グローバル化	世界的なエリアでの活動・領域	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	モバイル化	持ち運びが自由で、動きやすい、稼働的な状況になる。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
11月	携帯電話の多様化	さまざまな情報収集方法として、機能重視の機種が開発されている。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	金融取引の迅速化	金融機関おける処理方法の高度化	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	多様な金融商品	外国債券、がん保険、純金積み立てなど	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	情報産業	インターネット商品販売業、放送産業	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	国際化	経済活動において、生産品を諸外国に輸出することで成長を維持する。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
12月	ビジネスモデル	より利益を上げるための企業活動の仕組みの理解	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	コンビニエンスストア	便利、便宜、好都合の小規模店舗	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	集積回路の小型化	ICの高度開発	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	バイオテクノロジー	生命工学の領域	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
1月	ナノテクノロジー	超微細な原子や分子を操作して応用加工する。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	燃料電池	水の電気分解の逆反応を利用した化学電池	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	リニアモーターカー	電気抵抗がゼロ	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	人間の欲求	欲求の５段解説	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	家庭内生産	生活に必要なものを家庭内で生産すること	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
2月	必需的消費	生活する上で欠かせない商品の消費をいう。	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	選択的消費	品目の中から、自分の好みにあったものを選び、消費すること	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	エンゲル係数	消費支出総額に占める食料費の割合	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	内食	材料を購入してきて、家庭内で調理し、それを食べる	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	個食	家族成員が別々のメニューでとる食事	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
3月	高い日本の地価	狭い領土の中での生活	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	建築費の動向	人件費の高騰による建築費の上昇	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	持ち家比率	住宅保有状況や住宅着工数の水準	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2
	携帯電話の普及	飛躍的な増加と普及	・授業中の態度 ・出席率 ・考査および提出物の 出来具合	2

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(経済活動と法)　単位数：2単位　対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：（実教出版）

使用教材：経済活動と法　問題集　新訂版（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「経済活動と法」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	第1章経済社会と法 ◎経済社会における法の役割、法の意義と体系	・授業ガイダンス ・経済活動における法の役割を理解させる。 ・法の意義と体系を理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・経済生活や市民生活における法の存在を具体的に示すことができ、学習しようとしているか。	2
	第1章経済社会と法 ◎経済環境など社会の変化と法、法の適用と解釈	・経済環境など社会の変化と法を理解させる。 ・法の適用と解釈を理解させる。	【技能・表現】 ・法の適用と解釈が具体例についてなしうることができるか。	2
	第2章　権利・義務と財産権 ◎権利と義務、権利・義務の主体 ◎自然人の権利能力	・権利と義務、権利・義務の主体を理解させる。 ・自然人の権利能力について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・われわれの生活の成り立ちが権利と義務にわけられ、その両面から考えられることを理解することがで	2
	〃	第１章、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
5月	◎自然人の行為能力と制限行為能力者制度 ◎法人	・自然人の行為能力と制限行為能力者制度を理解させる。 ・法人の内容を理解させる。	【思考・判断】 ・なぜ制限能力者制度があり許されるのか、法の目指す正義の視点から説明できるか。	2
	◎物 ◎財産権とその種類（所有権、相隣関係、用益物権）	・物の種類について理解させる。 ・財産権とその種類（所有権、相隣関係、用益物権）について理解させる。	【知識・理解】 ・物の概念と範囲の理解が「経済活動と法」の学習の基礎的な大切な存在ととらえているか。	2
	◎財産権とその種類（占有権、債権、知的財産権、有価証券）	・財産権とその種類（占有権、債権、知的財産権、有価証券）について理解させる。	【技能・表現】 ・財産権の内容として経済的利益が内包されるべきことを例示できるか。	2
	〃	定期考査、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	3
6月	第3章　財産権と契約そしてその保護 ◎取引と契約、契約の一般原則	・取引と契約、契約の一般原則について理解させる。	【思考・判断】 ・なぜ契約は自由であるべきなのか、なぜそれが原則であるのか、自らの思考に基づき解答しうるか。	2
	◎契約と意思表示（瑕疵ある意思表示）	・契約と意思表示（瑕疵ある意思表示）について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・瑕疵ある意思表示について、その制度を理解し、関心が持てたか。	2
	◎意思表示の効力発生時期 ◎法律行為の無効と取り消し	・意思表示の効力発生時期について理解させる。 ・法律行為の無効と取り消しについて理解させる。	【知識・理解】 ・経済活動を起動させる契約、それを巡る諸事項を自分のものとなしえたか。	2
	◎条件、期限、および期間 ◎代理契約	・条件、期限、および期間について理解させる。 ・代理契約について理解させる。	【技能・表現】 ・契約の成立要件、条件、期限、瑕疵などの点から、表現できるか。	2
7月	〃	定期考査、第２章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	5
9月	第3章　財産権と契約そしてその保護 ◎売買、不動産、動産、債権の売買	・売買、不動産、動産、債権の売買について理解させる。	【思考・判断】 ・売買ビジネスの経済的意味について、的確な思考判断ができたか。	2
	◎売買契約の保証（売主の担保責任、同時履行の抗弁権、危険負担）	・売買契約の保証（売主の担保責任、同時履行の抗弁権、危険負担）について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・売買の実行行為に伴う法の存在を、経済活動の視点から理解し関心を示しえたか。	2
	◎消費貸借、賃貸借、宅地の貸借	・消費貸借、賃貸借、宅地の貸借について理解させる。	【技能・表現】 ・物の貸借とが一般に有償であること、金銭の貸借については特に法定利息の場合もあることの理解がで	2
	◎建物の貸借、使用貸借	・建物の貸借、使用貸借について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・貸借の種類とそれに伴う「相互作用」について関心をもつことができたか。	2
10月	◎契約によらない財産権の変動 ◎時効の制度、	・契約によらない財産権の変動について理解させる。 ・時効の制度について理科させる。、	【技能・表現】 ・時効についてその制度と立法の趣旨に関心がもてたか。	2
	◎所有権が取得できる特別な場合 ◎債権、債務が消滅する特別な場合	・所有権が取得できる特別な場合について理解させる。 ・債権、債務が消滅する特別な場合について理解させる。	【思考・判断】 ・所有権移転の時期やその対抗要件について、的確な思考判断ができたか。	2
	◎物権の保護 ◎債権の保護	・物権の保護について理解させる。 ・債権の保護について理解させる。	【思考・判断】 ・財産権の保護の一環として物的担保・人的担保が法として整備されることを理解できたか。	2
	〃	定期考査、第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	3
11月	◎債権者平等の原則と担保物権 ◎約定担保物権	・債権者平等の原則と担保物権について理解させる。 ・約定担保物権について	【知識・理解】 ・債権者平等の原則を理解し、事例の問題にあたることができたか。	2
	◎譲渡物権、所有権留保 ◎人による債権の担保、保証債務	・譲渡物権、所有権留保について理解させる。 ・人による債権の担保、保証債務について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・財産はどのようにして保護されるのか、関心を持つことができたか。	2
	◎連帯債務 ◎連帯保証債務	・連帯債務について理解させる。 ・連帯保証債務について理解させる。	【知識・理解】 ・財産権の保護に関して理解するにあたり、PL法など関連する法を意識できたか。	2
	〃	第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	2
12月	〃	定期考査、第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	5
1月	◎一般の不法行為 ◎特殊な不法行為	・一般の不法行為について理解させる。 ・特殊な不法行為について理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・一般の不法行為と特殊な不法行為について、関心・理解ができたか。	2
	◎不法行為と損害賠償	・不法行為と損害賠償について理解させる。	【知識・理解】 ・事例により不法行為の成立要件を学び理解できたか。	2
	◎検定対策問題	・検定対策として過去問題の学習を通して、内容を理解させる。	・私たちを取り巻く法について考え、その知識をもって検定問題を解くことができたか。	2
	〃	定期考査、第３章　事例研究	【知識・理解】 ・事例にあたることで、法の趣旨を理解し、考え方を学習しようとしているか。	4

芝商業高校　平成26年度　年間授業計画

教科：(商業)科目：(文書デザイン)　単位数：2単位　対象:(第3学年B選択選択生徒)

使用教科書：文書デザイン（東京法令出版）

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目「文書デザイン」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	広報活動と文書	広報活動と文書	授業への取組状況	4
5月		広報の手法	授業への取組状況 提出物	8
6月	図形ソフトウェアの活用	図形情報の役割	授業への取組状況	4
7月		図形情報の作成と編集	実習への取組状況 提出物	12
9月	マルチメディアの活用	静止画像の利用 動画像の利用 音声の利用	実習への取組状況 提出物	8
10月		情報の統合	授業への取り組み状況	4
11月	情報通信ネットワークの活用	情報発信媒体 Ｗｅｂページの作成 電子メールの作成	実習への取り組み状況 提出物	12
12月		広告の規制	授業への取り組み状況 提出物	4
1月	プレゼンテーション	口頭による表現 文書による表現	授業への取り組み状況	4
2月		ソフトウェアの利用	実習への取り組み状況 提出物	10
3月				